SONY

リファレンスマニュアル
Personal Communicator COM-2

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

本書と「スタートアップガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**本書と「スタートアップガイド」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

my life online

3-213-855-**01**(1)

お使いになる前に必ずお読みください

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

電波法に基づく認証について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧 JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

無線の周波数について

本製品は2.4GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1）本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認して下さい。
2）万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）して下さい。
3）不明な点その他お困りのことが起きたときは、ネットコミュニケーションカスタマーリンクまでお問い合わせ下さい。

2. 4DS/OF4

この表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40mです。

次のページにつづく

ワイヤレスネットワーク機能について

本機内蔵のワイヤレスネットワーク機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

内蔵メモリーおよび“メモリースティック デュオ”のバックアップについて

データ転送中にパソコンとの接続ケーブルを外したり、アクセスインジケーター点灯中にバッテリーや“メモリースティック デュオ”を取り出したりしないでください。内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”のデータが壊れることがあります。データ保護のため、必ずバックアップをお取りください。

液晶ディスプレイおよびレンズ部（カメラ）についてのご注意

液晶ディスプレイおよびレンズ部は非常に精密度の高い技術で作られていますが、ごくわずかの画素欠け等があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイやレンズ部の構造によるもので、故障ではありません。交換、返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

液晶ディスプレイやレンズ部（カメラ）を太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

ACアダプター使用上のご注意

- 容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- 本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険を避けるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

著作権について

- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

付属のソフトウェア使用許諾について

本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。

次のページにつづく

第三者から提供されるサービスに関するご注意

本製品でご利用頂けるサービスには、Skype、Google Talkのように第三者から提供されるサービスが含まれます。当社は、これらのサービスに関して如何なる保証(これらのサービスの機能、性能、継続性に関する保証を含みますが、これに限定されません。)も致しません。これらのサービスは、予告なく変更されることがありますので、予めご了承ください。

ワイヤレスネットワーク製品使用時のセキュリティーに関するご注意

ワイヤレスネットワークではセキュリティーの設定をすることが非常に重要です。セキュリティー対策を施さず、あるいはワイヤレスネットワークの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

緊急電話サービスに関するご注意

インターネット電話は本来の電話サービスに取って代わるものではありません。緊急電話には使用できませんので、あらかじめご了承ください。

記録内容や機会損失などの補償はできません

- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 万一、本機や記録メディアなどの不具合により、撮影・保存や再生などができなかった場合、記録内容の保証については、ご容赦ください。
- 本機の保証条件については、付属の「スタートアップガイド」の「保証書とアフターサービス」をご参照ください。

ソフトウェアのアップデートおよびmyloの最新情報について

最新のソフトウェアにアップデートすることをお勧めします。アップデートにより、セキュリティーやパフォーマンスが改善されることがあります。
最新のソフトウェアについては、以下のサポートサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/mylo/support

また、myloに関する最新情報は、以下のサイトでご確認ください。
http://www.sony.co.jp/mylo

本書について

- 本書で使用している画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- 本書の内容の全部または一部を複製すること、および賃借することを禁じます。

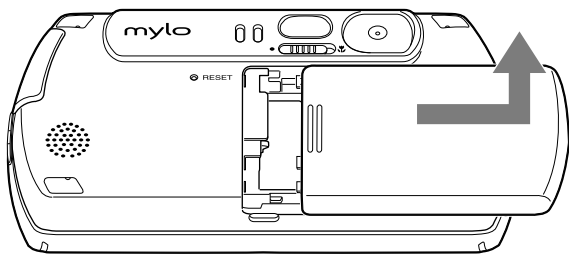
目次

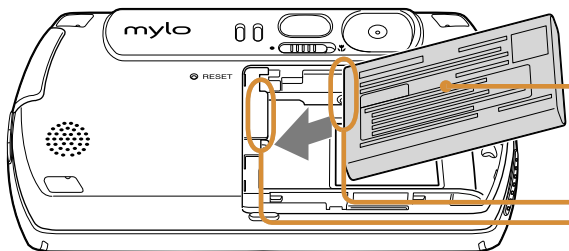
電源

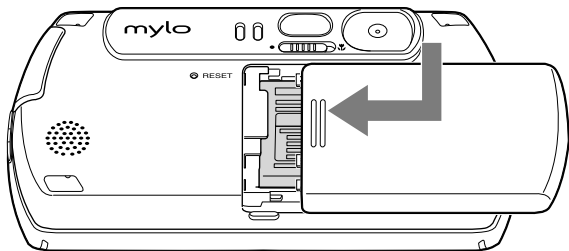
バッテリーを入れる

本機を使用する前に、バッテリーが入っていることを確認します。

1 バッテリーカバーを開く。

バッテリーカバーの突起部の上に指を置き、矢印の方向へスライドすると開きます。

2 バッテリーを入れる。

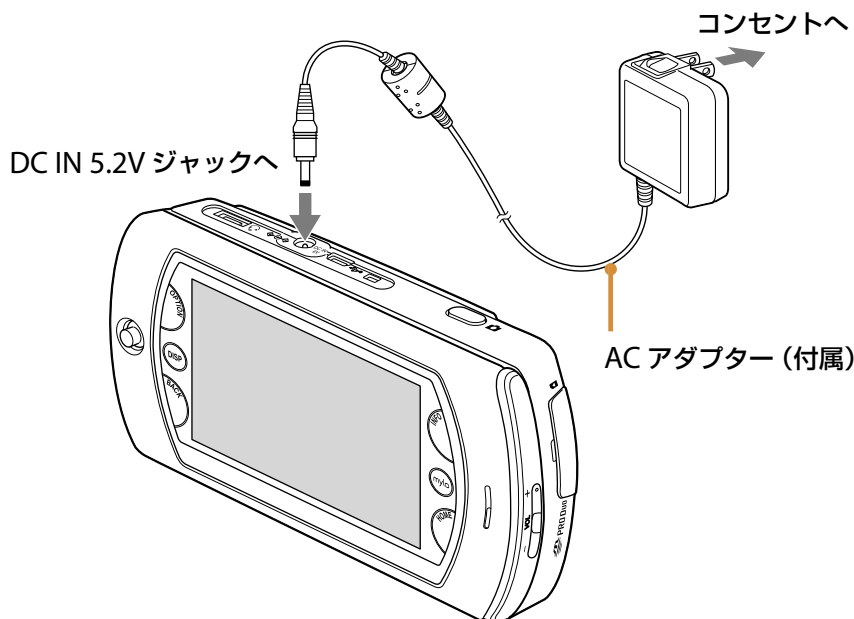
ラベル面を上にし、バッテリーの金属部が、本体の金属部と重なるように入れます。

3 バッテリーカバーを閉める。

カチッと音がするまでスライドします。

ご注意

- バッテリーの交換は、必ず本機の電源を切った状態で、30秒以内に行ってください。電源を入れた状態でバッテリーを取り出すと、データの破損や、本機の故障の原因となります。
- 付属のACアダプター、またはUSBケーブルを接続して使用するときも、必ずバッテリーを入れて使用してください。バッテリーを入れずに使用することは非推奨かつサポート対象外です。
- 専用のバッテリー以外は入れないでください。

バッテリーを充電する

ACアダプターで充電する

1 ACアダプター（付属）を、本機のDC IN 5.2Vジャック、コンセントの順で接続する。

充電が始まります。
CHARGEインジケーターが点灯し、電源が入っているときは液晶画面のバッテリーインジケーター（ ）が充電中のアニメーション表示になります。
充電が完了するには、約2.5 ～ 6.5時間*かかります。
充電が完了すると、CHARGEインジケーターが消灯します。

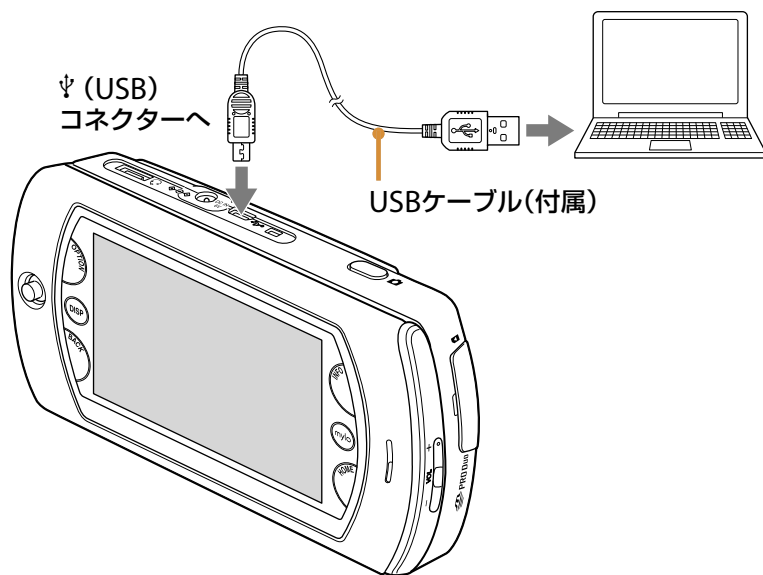
* 充電中に操作を行うと、充電にかかる時間は長くなります。

ご注意

- 「オートパワーオフ」を「無効」に設定している場合、充電が完了するまでに6.5時間以上かかることがあります。
- 周囲の温度によって、充電にかかる時間は変わります。また、周囲の温度が5 ～ 35℃以外の環境では、充電ができないことがあります。
- 本機のスピーカーから音楽やビデオの音が出ている状態のときは、ACアダプターを接続しても充電されません。
- ACアダプターを接続するときは、充電用クレードルコネクター（☞ 14ページ）の端子をショートさせないように気をつけてください。

次のページにつづく

USBケーブルで充電する

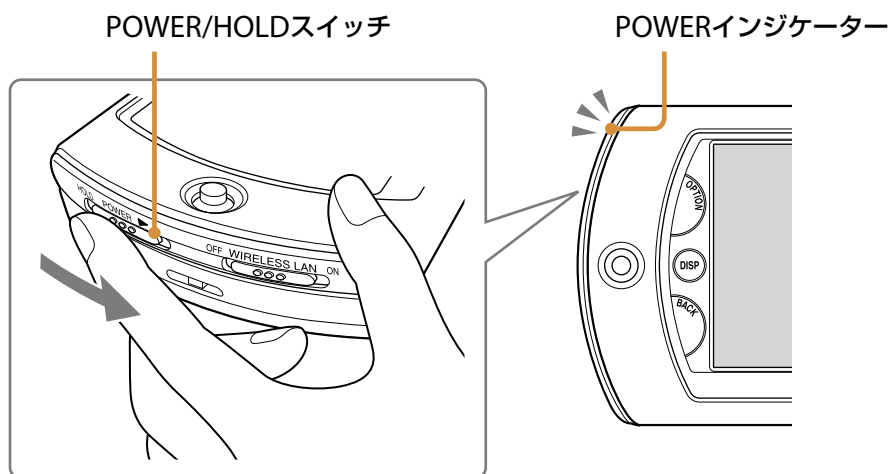
1 USBケーブル(付属)を、本機の ⧫ (USB)コネクター、パソコンの ⧫ (USB)コネクターの順で接続する。

自動的に本機の電源が入り、充電が始まります。
CHARGEインジケーターとPOWERインジケーターが点灯します。
充電が完了するには、約3.5 ～ 6時間*かかります。
充電が完了すると、CHARGEインジケーターが消灯します。

* ファイル転送などを連続して行っている場合、充電時間が変動します。

ご注意

- バッテリーが消耗しているときは、ACアダプターで充電してください。
- パスワードを設定しているときは、パスワードを入力してロックを解除してください。ロックを解除しないとUSBケーブルでの充電はできません。
- USBケーブルで接続中に、パソコンがパワーセーブモード(スタンバイ状態、スリープ状態、休止状態など)に入ると、本機のバッテリー残量は減っていきます。
- AC電源に接続していないノートパソコンに長時間接続したままにしないでください。パソコンのバッテリー残量が減っていきます。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続しても自動的に本機の電源が入らない場合、数分間待ってから、本機のPOWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドして電源を入れてください(☞ 14ページ)。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。
- 周囲の温度によって、充電にかかる時間は変わります。また、周囲の温度が5 ～ 35℃以外の環境では、充電ができないことがあります。
- パソコンとのUSB接続中は、本機の操作はできません。

電源を入れる － POWER/HOLDスイッチ

まず、バッテリーが充電されていることを確認します。充電のしかたは、☞ 8ページをご覧ください。

❶ **POWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドする。**
電源が入り、POWERインジケーターが緑色に点灯します。
お買い上げ後、はじめて使用するときは、起動画面が約1分30秒表示され、続けて初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って初期設定を行います。
通常は、前回電源を切ったときに表示していた画面が表示されます。

電源を切るには

POWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドします。電源が切れ、POWERインジケーターが消灯します。

ご注意

- 起動画面表示中は、ACアダプターを抜かないでください。
- 本機の電源を8日以上入れていない、またはバッテリー消耗後にはじめて電源を入れたときは、起動画面が約1分30秒表示された後、Homeメニューが表示されます。
- 起動画面表示中は、電源を切ることはできません。
- 本機動作中に、上記以外の方法（バッテリーを抜いたり、RESETボタンを押したりするなど）で電源を切ると、一部のデータが破損または消去される場合があります。必ず上記の方法で電源を切ってください。

ヒント

- 出荷時の設定では、音楽やビデオの再生中や、ACアダプターを接続しているときなどを除き、約5分間操作をしないと、自動的に電源が切れるように設定されています（オートパワーオフ機能）。
  オートパワーオフ機能を解除したり、設定を変更したりする方法については、☞ 137ページをご覧ください。
- 初期設定の方法については、☞ 30ページをご覧ください。

バッテリー残量を確認する

バッテリーの残量は、ステータスバーに表示されます。バッテリー残量が減るに従って、インジケーターの点灯部分が小さくなります。
バッテリー残量がなくなると、「充電してください」と5秒間表示され、自動的に電源が切れます。バッテリーを充電してから、電源を入れ直します（☞ 10ページ）。

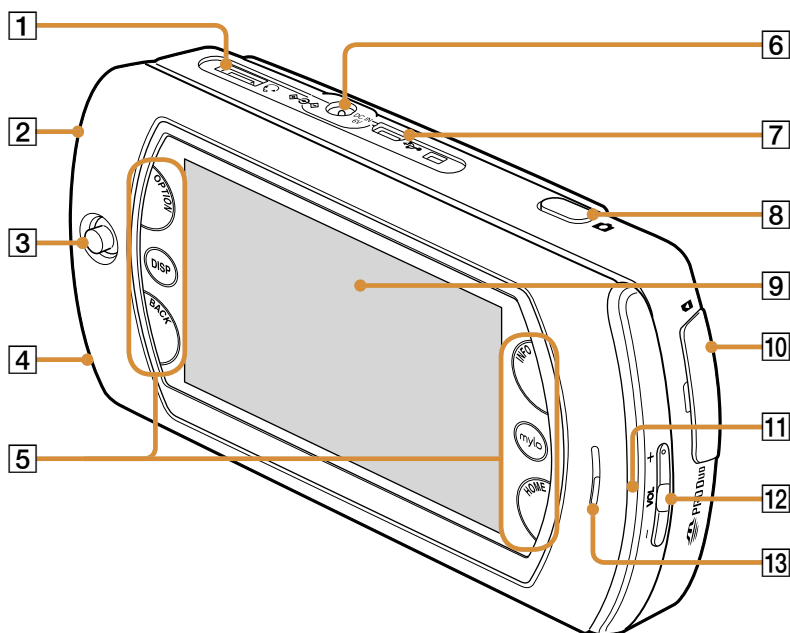
→ → → → → 「充電してください」

ご注意

- 液晶画面のバッテリーインジケーターは目安です。「 」の表示が、バッテリー残量がちょうど半分であることを指しているわけではありません。
- 液晶画面のバッテリーインジケーターは、使用状況や周囲の環境によって正確でないことがあります。
- バッテリー残量が少ないときは、ACアダプターで充電してください。

各部の名前と使いかた

本体各部の名前

前面

1 (ヘッドセット)ジャック(☞ 27ページ)
マイク・着信スイッチ付接続コード(付属)を接続します。

2 POWER(パワー)インジケーター (☞ 10ページ)
電源が入っているときは、インジケーターが緑色に点灯します。
CHARGE(チャージ)インジケーター (☞ 8ページ)
本機の充電中は、インジケーターがオレンジ色に点灯します。バッテリーが完全に充電されると消灯します。

3 オペレーションキー (☞ 15ページ)
上下左右に傾けて項目を選択し、押して項目を決定します。

4 WIRELESS(ワイヤレス) LAN(ラン)インジケーター (☞ 33ページ)
ワイヤレスネットワーク機能を有効にすると、インジケーターが緑色に点灯します。

5 タッチボタンエリア(☞ 16ページ)
押すと、各機能が働きます。

6 DC IN 5.2V ジャック(☞ 8ページ)
ACアダプター (付属)を接続します。

7 (USB)コネクター (☞ 9、93、103、112、127ページ)
本機をパソコンに接続します。

8 シャッターボタン (☞ 120ページ)
内蔵カメラで写真を撮影します。

9 液晶画面(タッチパネル)(☞ 15ページ)
スタイラスや指で画面をタッチ(タップ)して操作します。

10 "メモリースティック デュオ"スロット(☞ 28ページ)
カバーを開いて、"メモリースティック デュオ"を抜き差しします。
カバーの中に"メモリースティック デュオ"アクセスインジケーターがあり、"メモリースティック デュオ"にデータを書き込んだり読み込んだりしているとき点滅します。

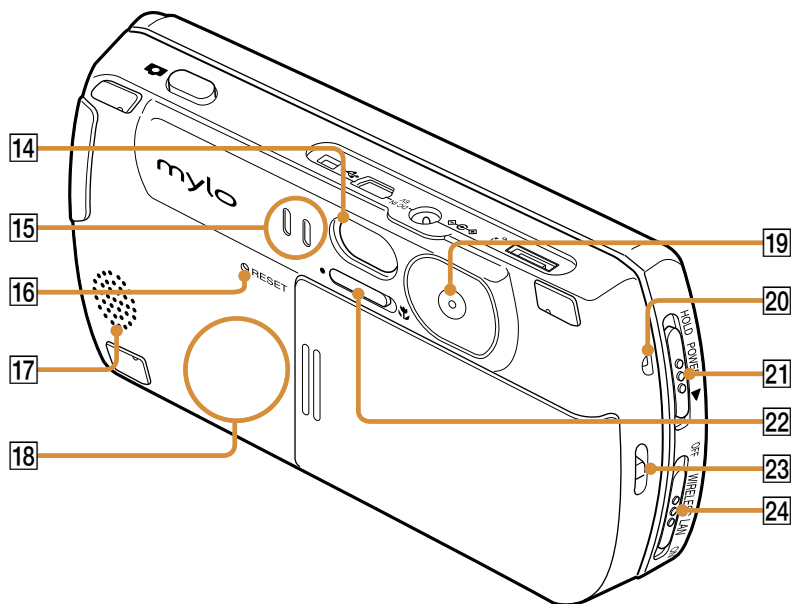
次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

11 **ステータスインジケーター**
ワイヤレスネットワークに接続しているときや、インスタントメッセンジャーのメッセージが届いたときなどは、インジケーターが青色に点滅します。
mylo Widgetからのお知らせがあるときは、オレンジ色に点滅します。

12 **VOL（ボリューム） +/－ボタン**
音量を調節します。

13 **スピーカー**
インターネット電話中、相手の声が聞こえます。

裏面

14 **ミラー**
カメラで自分撮りをするときに使います。

15 **充電用クレードルコネクター**
クレードル（別売）で本機の充電をするときに使います。
ACアダプターを接続しているときは、この端子をショートさせないように気をつけてください。

16 **RESET（リセット）ボタン**
スタイラス（付属）で押すと、本機が再起動します。
本体の動作中にRESETボタンを押すと、一部のデータが破損または消去される場合があります。

17 **スピーカー**
音楽やビデオ、インターネット電話の着信音などが出力されます。

18 **アンテナ内蔵部**
ワイヤレスネットワーク接続用のアンテナが内蔵されています。

19 **レンズ部（カメラ）**
カメラのレンズです。

20 **マイク（☞ 69ページ）**
インターネット電話に使用します。

21 **POWER（パワー）/HOLD（ホールド）スイッチ（☞ 10ページ）**
本機の電源を入／切します。HOLDに合わせると本機の操作をロックします。

22 **マクロスイッチ**
被写体に近づいて撮影するときに、🌷に切り換えます。

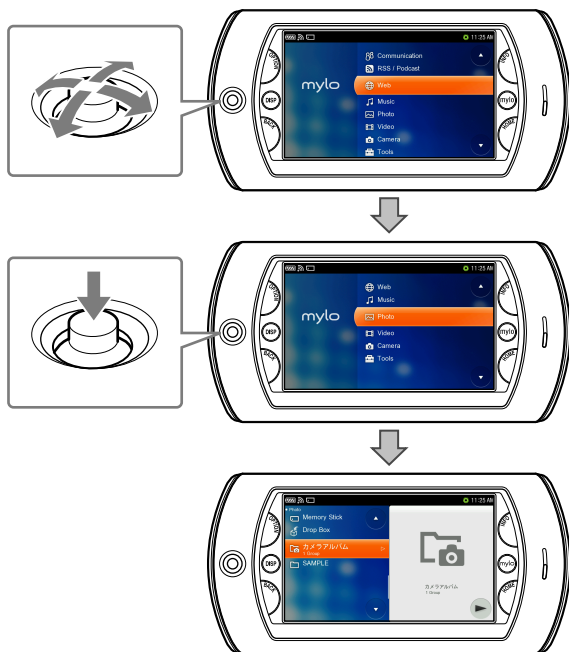
23 **ストラップ取り付け部**
落下防止のため、ストラップ（付属）を取り付けます。

24 **WIRELESS（ワイヤレス） LAN（ラン）スイッチ（☞ 33ページ）**
ワイヤレスネットワーク機能を有効にします。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

選択する／決定する

オペレーションキーを使う場合

選択したい項目をオペレーションキーを4方向に傾けて選択し、オペレーションキーを押して決定します。

タッチパネルを使う場合

液晶画面（タッチパネル）上の項目をスタイラスまたは指で軽くタッチ（タップ）すると、選択と決定が同時に行えます。

タッチボタンを使う

1 OPTIONボタン

OPTIONボタンを押すと、その画面で使用できる機能の一覧(OPTIONメニュー)が表示されます。
表示されるメニュー項目は、OPTIONボタンを押した画面によって異なります。
OPTIONメニュー表示中に押すと、OPTIONメニューが閉じます。

2 DISPボタン

DISP（ディスプレイ）ボタンを押すと画面の表示を切り換えられます。表示内容はDISPボタンを押した画面によって異なります。
Web（☞ 49ページ）
Photo（☞ 107、108ページ）
Video（☞ 117ページ）
Camera（☞ 120、121ページ）

3 BACKボタン

BACKボタンを押すと、1つ前の画面に戻ります。
画面によっては、アプリケーションが終了します。

4 INFOボタン

INFOボタンを押すと、ネットワーク設定や、メッセージや登録リクエストなどの新着情報、再生中の音楽の情報を確認するためのINFOパネルが表示されます。
INFOパネルの項目を選択すると、そのアプリケーションが表示されます。
INFOパネル表示中に押すと、INFOパネルが閉じます。

5 myloボタン

myloボタンを押すと、mylo Widgetが並んでいるmylo Screen（☞ 35ページ）が表示されます。
mylo Screen表示中に押すと、mylo Screen表示前の画面に戻ります。

6 HOMEボタン

HOMEボタンを押すと、Homeメニューが表示されます。
Homeメニューでアプリケーションを選択すると、アプリケーションが起動します。

ご注意

- 画面によっては、ボタンが動作しないことがあります。

ステータスバー

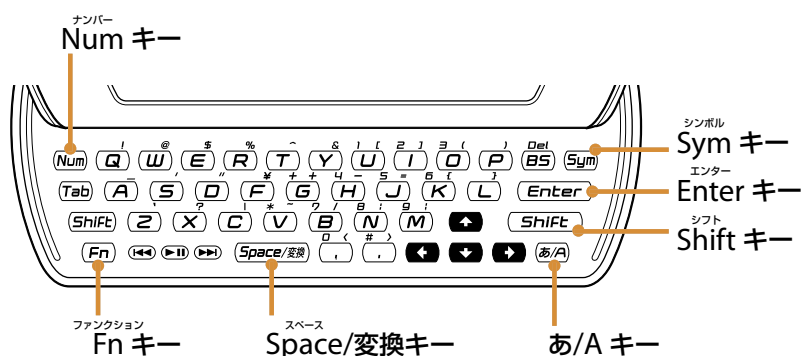
液晶画面の上部にあるステータスバーには、本機の状態を表すアイコンが表示されます。

アイコン	意味
	バッテリー残量の目安（☞ 11ページ）
/ / OFF	ワイヤレスネットワークの接続状態・強度（☞ 33ページ）
	"メモリースティック デュオ"の状態（☞ 28ページ）
Shift / Num / Sym / Fn	キーボードの修飾キーの状態（☞ 19ページ）
あ / ア / A / ｱ / A	文字入力モード（☞ 18ページ）
HOLD	HOLD状態（☞ 14ページ）
AUDIO	音量バー
AUDIO AVLS	AVLS（☞ 138ページ）
	Skypeの状態／新着情報（☞ 64ページ）
	Google Talkの状態／新着情報（☞ 85ページ）
	RSS/Podcastの状態（☞ 53ページ）
	Webの状態（☞ 47ページ）
	Musicの状態（☞ 98ページ）
	PlaceEngineの状態（☞ 133ページ）
11:25 AM	時計（☞ 137ページ）

キーボードを使う

本機での文字入力には、全角ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナ、全角英数字、半角英数字の5つの入力モードがあります。
ひらがなやカタカナを入力するときは、ローマ字で入力します。かな入力には対応していません。

ヒント

- キーボード上にない記号を入力したいときは、「きごう」と入力してSpace/変換キーを押します。変換候補に入力可能な記号が現れたら、入力したい記号を選びます。

入力モードを変更するには

あ/Aキーを押すたびに、以下の順序でモードが切り替わります。

全角ひらがな → 全角カタカナ → 全角英数字 → 半角カタカナ → 半角英数字 → 全角ひらがな…

希望のモードを選択したら、入力を始めます。

ヒント

- Fnキー＋Space/変換キーでも入力モードを切り換えることができます。
- あ/AキーまたはFnキー＋Space/変換キーを押した後、←/→キーで入力モードを切り換えることもできます。
- Fnキー＋「,」キーを押すと、全角ひらがなモードと半角英数モードを直接切り換えられます。

ご注意

- 入力できる文字が制限されている場合は、上記の操作を行っても入力モードを変更できない場合があります。

予測変換機能を使うには

予測変換機能を使うと、全角ひらがなモードのとき、入力した文字から始まる変換候補が画面下部に表示されます。
変換候補を選択するには、Space/変換キーか↑/↓キーを押します。
予測変換機能を使う方法については、☞ 139ページをご覧ください。

ご注意

- 本機のTabキーはWebページの一部以外ではフォーカスの移動には使えません。テキストメモではタブ記号が入力されます。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

アルファベットの大文字、数字、記号を入力するには

修飾キー（Shiftキー、Numキー、Symキー）を押してから、特定のキーを押します。それぞれのキーの割り当てについては、☞ 21ページから☞ 26ページの表をご覧ください。
修飾キーを押すと、以下のアイコンがステータスバーに表示されます。
修飾キーをロックするには、2回押します。解除するには、もう一度押します。

修飾キー	1回押したときのアイコン	2回押したときのアイコン
Shift	Shift	Shift（アルファベットを大文字に固定）
Num	Num	Num
Sym	Sym	Sym

ショートカットを使うには

Fnキーを1回押してから、以下の表にあるキーを押します。

キー	機能
A	すべて選択
X	切り取り（カット）
C	コピー
V	貼り付け（ペースト）
Space/変換	文字入力モードの切り換え
,（カンマ）	全角ひらがなモードと半角英数字モードの切り換え
R *	全角ひらがなへ変換
T *	全角カタカナへ変換
Y *	半角カタカナへ変換
U *	全角英数字へ変換
I *	半角英数字へ変換

* 全角ひらがなモードのときのみ有効なショートカットです。文字を入力した後、確定前にこの操作を行うと、各文字種に変換できます。

Fnキーを押すと、Fn がステータスバーに表示されます。
2回押すとFnキーがロックされ、ステータスバーの Fn が Fn に変わります。
解除するには、もう一度押します。

ヒント

- Web、Video、テキストメモでは、アプリケーション固有のショートカットキーが割り当てられています。各アプリケーションのOPTIONメニューから「ヘルプ」を選択すると、説明が表示されます。

ご注意

- 画面によっては、ショートカットが使えない場合があります。

次のページにつづく

キーボードで音楽を再生するには

以下のキーは、音楽再生中に、音楽再生用のキーとして働きます。

こんなときは	操作
音楽を一時停止／再生する	►IIを押す。
再生中の曲の先頭に戻る	I◄◄を押す。
前の曲の先頭に戻る	希望の曲になるまで何度かI◄◄を押す。
次の曲の先頭に進む	►►Iを押す。
先の曲の先頭に進む	希望の曲になるまで何度か►►Iを押す。
早戻しする	I◄◄を押したままにする。
早送りする	►►Iを押したままにする。

ご注意

- Video機能利用時は、ビデオ再生用のキーとなります。
- 上記の I◄◄、►II、►►I で操作できるのはMusicとVideoのみです。アプリケーションが起動している状態のときに使用できます（☞ 99、116ページ）。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

キーの割り当て

全角ひらがなモード

キーボード上の表示	通常押したとき	Shiftキーと組み合わせて押したとき	Numキーと組み合わせて押したとき	Symキーと組み合わせて押したとき
Q	q	Q	q	!
W	w	W	w	@
E	え	E	え	$
R	r	R	r	%
T	t	T	t	^
Y	y	Y	y	&
U	う	U	1	「
I	い	I	2	」
O	お	O	3	(
P	p	P	p	)
A	あ	A	あ	_
S	s	S	s	'
D	d	D	d	"
F	f	F	f	¥
G	g	G	+	+
H	h	H	4	-
J	j	J	5	=
K	k	K	6	{
L	l	L	l	}
Z	z	Z	z	`
X	x	X	x	?
C	c	C	c	|
V	v	V	*	~
B	b	B	7	·
N	n	N	8	:
M	m	M	9	;
,	、	、	0	<
.	。	。	#	>

次のページにつづく

全角カタカナモード

キーボード上の表示	通常押したとき	Shiftキーと組み合わせて押したとき	Numキーと組み合わせて押したとき	Symキーと組み合わせて押したとき
Q	q	Q	q	！
W	w	W	w	＠
E	エ	E	エ	＄
R	r	R	r	％
T	t	T	t	＾
Y	y	Y	y	＆
U	ウ	U	1	「
I	イ	I	2	」
O	オ	O	3	（
P	p	P	p	）
A	ア	A	ア	＿
S	s	S	s	’
D	d	D	d	”
F	f	F	f	￥
G	g	G	＋	＋
H	h	H	4	－
J	j	J	5	＝
K	k	K	6	｛
L	l	L	l	｝
Z	z	Z	z	‘
X	x	X	x	？
C	c	C	c	｜
V	v	V	＊	～
B	b	B	7	・
N	n	N	8	：
M	m	M	9	；
,	、	、	0	＜
.	。	。	＃	＞

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

半角カタカナモード

<table>
<tr><th>キーボード上の表示</th><th>通常押したとき</th><th>Shiftキーと組み合わせて押したとき</th><th>Numキーと組み合わせて押したとき</th><th>Symキーと組み合わせて押したとき</th></tr>
<tr><td>Q</td><td>q</td><td>Q</td><td>q</td><td>!</td></tr>
<tr><td>W</td><td>w</td><td>W</td><td>w</td><td>@</td></tr>
<tr><td>E</td><td>ｴ</td><td>E</td><td>ｴ</td><td>$</td></tr>
<tr><td>R</td><td>r</td><td>R</td><td>r</td><td>%</td></tr>
<tr><td>T</td><td>t</td><td>T</td><td>t</td><td>^</td></tr>
<tr><td>Y</td><td>y</td><td>Y</td><td>y</td><td>&</td></tr>
<tr><td>U</td><td>ｳ</td><td>U</td><td>1</td><td>｢</td></tr>
<tr><td>I</td><td>ｲ</td><td>I</td><td>2</td><td>｣</td></tr>
<tr><td>O</td><td>ｵ</td><td>O</td><td>3</td><td>(</td></tr>
<tr><td>P</td><td>p</td><td>P</td><td>p</td><td>)</td></tr>
<tr><td>A</td><td>ｱ</td><td>A</td><td>ｱ</td><td>_</td></tr>
<tr><td>S</td><td>s</td><td>S</td><td>s</td><td>'</td></tr>
<tr><td>D</td><td>d</td><td>D</td><td>d</td><td>"</td></tr>
<tr><td>F</td><td>f</td><td>F</td><td>f</td><td>¥</td></tr>
<tr><td>G</td><td>g</td><td>G</td><td>+</td><td>+</td></tr>
<tr><td>H</td><td>h</td><td>H</td><td>4</td><td>-</td></tr>
<tr><td>J</td><td>j</td><td>J</td><td>5</td><td>=</td></tr>
<tr><td>K</td><td>k</td><td>K</td><td>6</td><td>{</td></tr>
<tr><td>L</td><td>l</td><td>L</td><td>l</td><td>}</td></tr>
<tr><td>Z</td><td>z</td><td>Z</td><td>z</td><td>`</td></tr>
<tr><td>X</td><td>x</td><td>X</td><td>x</td><td>?</td></tr>
<tr><td>C</td><td>c</td><td>C</td><td>c</td><td>|</td></tr>
<tr><td>V</td><td>v</td><td>V</td><td>*</td><td>~</td></tr>
<tr><td>B</td><td>b</td><td>B</td><td>7</td><td>･</td></tr>
<tr><td>N</td><td>n</td><td>N</td><td>8</td><td>:</td></tr>
<tr><td>M</td><td>m</td><td>M</td><td>9</td><td>;</td></tr>
<tr><td>,</td><td>､</td><td>､</td><td>0</td><td><</td></tr>
<tr><td>.</td><td>｡</td><td>｡</td><td>#</td><td>></td></tr>
</table>

次のページにつづく

全角英数字モード

キーボード上の表示	通常押したとき	Shiftキーと組み合わせて押したとき	Numキーと組み合わせて押したとき	Symキーと組み合わせて押したとき
Q	q	Q	q	!
W	w	W	w	@
E	e	E	e	$
R	r	R	r	%
T	t	T	t	^
Y	y	Y	y	&
U	u	U	1	[
I	i	I	2	]
O	o	O	3	(
P	p	P	p	)
A	a	A	a	_
S	s	S	s	'
D	d	D	d	"
F	f	F	f	¥
G	g	G	+	+
H	h	H	4	-
J	j	J	5	=
K	k	K	6	{
L	l	L	l	}
Z	z	Z	z	`
X	x	X	x	?
C	c	C	c	｜
V	v	V	*	~
B	b	B	7	/
N	n	N	8	:
M	m	M	9	;
,	,	,	0	<
.	.	.	#	>

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

半角英数字モード

キーボード上の表示	通常押したとき	Shiftキーと組み合わせて押したとき	Numキーと組み合わせて押したとき	Symキーと組み合わせて押したとき
Q	q	Q	q	!
W	w	W	w	@
E	e	E	e	$
R	r	R	r	%
T	t	T	t	^
Y	y	Y	y	&
U	u	U	1	[
I	i	I	2	]
O	o	O	3	(
P	p	P	p	)
A	a	A	a	_
S	s	S	s	'
D	d	D	d	"
F	f	F	f	¥
G	g	G	+	+
H	h	H	4	-
J	j	J	5	=
K	k	K	6	{
L	l	L	l	}
Z	z	Z	z	`
X	x	X	x	?
C	c	C	c	|
V	v	V	*	~
B	b	B	7	/
N	n	N	8	:
M	m	M	9	;
,	,	,	0	<
.	.	.	#	>

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

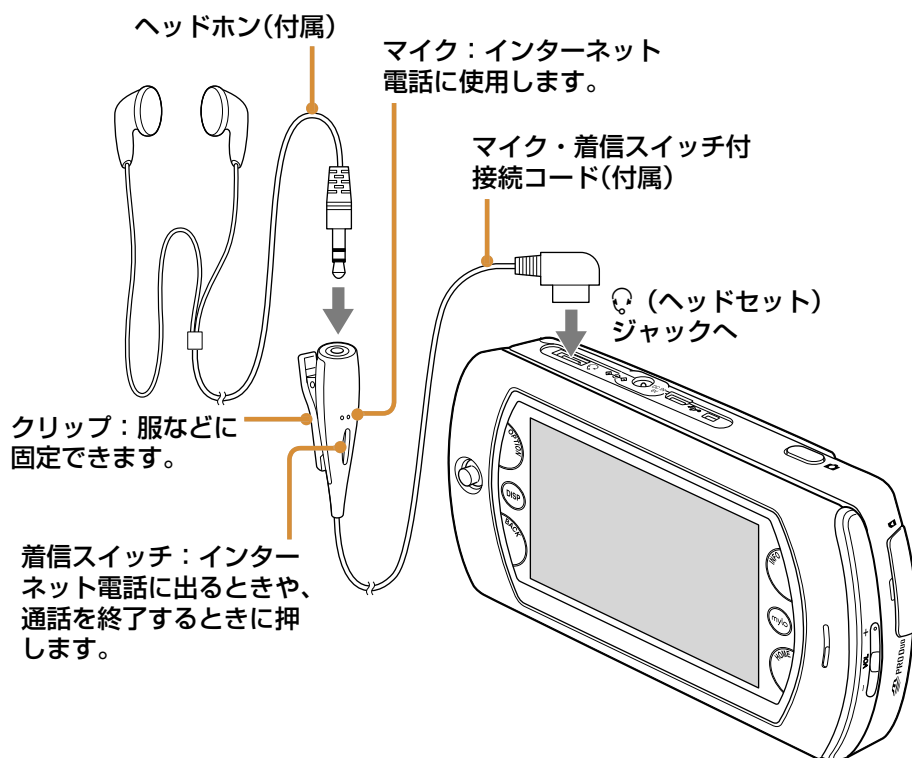
全入力モード共通

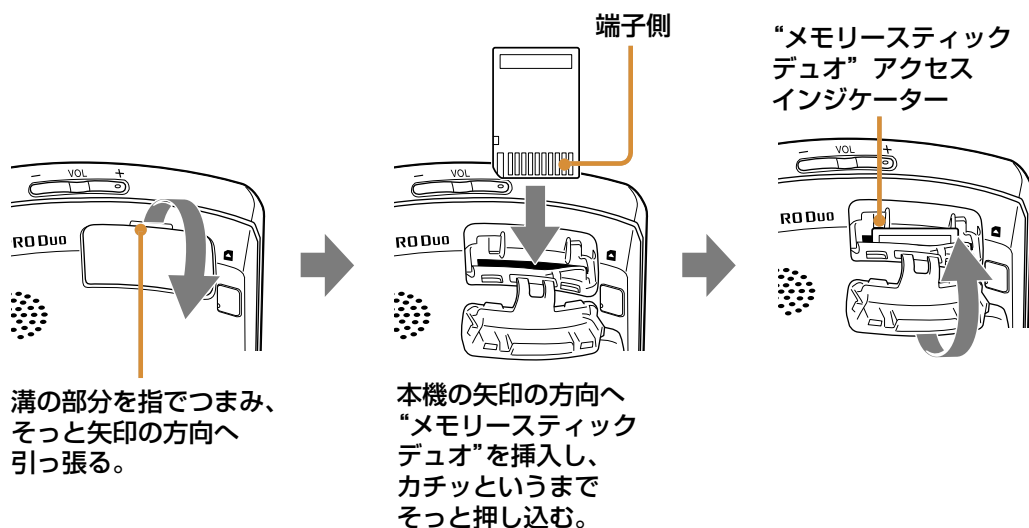
キーボード上の表示	通常押したとき	Shiftキーと組み合わせて押したとき	Numキーと組み合わせて押したとき	Symキーと組み合わせて押したとき
↑	↑	テキストを選択	↑	↑
↓	↓	テキストを選択	↓	↓
←	←	テキストを選択	←	←
→	→	テキストを選択	→	→

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ヘッドセットをつなぐ

下図のようにヘッドセットを本機と接続します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

“メモリースティック デュオ”を出し入れする

下図のように“メモリースティック デュオ”(別売)を挿入します。
“メモリースティック デュオ”のデータを読み込み中や書き出し中は、“メモリースティック デュオ”アクセスインジケーターが点滅します。

“メモリースティック デュオ”を取り出すときは、“メモリースティック デュオ”をカチッというまで押し込んでから離します。

ご注意

- データが破損するおそれがあるため、“メモリースティック デュオ”アクセスインジケーター点滅中は、“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

サンプルデータについて

本機は、内蔵メモリーにサンプルデータを保存しています。データをより多く保存したいときは、以下のデータを削除します。

サンプルデータを削除するには

サンプルデータ	削除に使うメニュー
音楽ファイル	ファイルマネージャーのOPTIONメニュー （「MUSIC」フォルダ内の「SAMPLE」フォルダ内）
画像ファイル	PhotoのOPTIONメニュー
ビデオファイル	VideoのOPTIONメニュー
テキストファイル	テキストメモのOPTIONメニュー
デモ用ビデオファイル	ファイルマネージャーのOPTIONメニュー （「DEMOCONTENTS」フォルダ内の「VIDEO」フォルダ内）

ヒント

- サンプルデータは付属のCD-ROMにも入っています。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

初期設定

お買い上げ後、初めて電源を入れると、初期設定ウィザードが表示されます。画面の指示に従って、以下の項目を設定します。

- タッチパネル調整
- タイムゾーン
- 日付と時刻

ご注意

- 日付と時刻が正しく設定されていないと、Webページが正しく表示されなかったり、ワイヤレスネットワーク接続時のオートログインに失敗したりすることがあります。
- バッテリー残量がなくなってから長期間放置すると、日付と時刻の設定がリセットされます。

ヒント

- ここで行う各設定は、「Tools」の「設定」でも変更できます（☞ 137ページ）。

ワイヤレスネットワーク接続

ワイヤレスネットワークに接続する前に

本機で接続できるワイヤレスネットワークの環境

- 自宅のワイヤレスネットワーク
- 会社や学校のワイヤレスネットワーク
- 駅やファストフード店などの公衆ワイヤレスLAN

規格	IEEE 802.11b IEEE 802.11g
セキュリティー	WEP（128ビット/64ビット、オープンシステム/共有キー） WPA-PSK（TKIP/AES）
通信範囲	約50m （通信範囲は、本機の使用条件や設定によって異なることがある）

ご注意

- 設定内容（☞ 132ページ）は、自宅や会社／学校のワイヤレスネットワークに接続する場合はアクセスポイントを設定した方や管理者に、公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントに接続する場合はプロバイダーにご確認ください。
- 本機は、アクセスポイント機器独自の自動セキュリティー設定機能には対応していません。詳しくは、アクセスポイント機器の取扱説明書をご覧ください。
- 病院内や航空機内などでは、WIRELESS LANスイッチを「OFF」にしてください。
- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webを使うなどの方法でログインが必要になることがあります。選択されたアクセスポイントが、Webなどでのログイン操作が必要かどうかを確認するために、本機は自動的に以下のサイトへの接続を行います。
  http://www.sony.net/Products/mylo/check/index.html
  このサイトへの接続により、本機からお客様の個人情報やネットワーク情報などが送信されることはありません。このサイトは、本機に登録された情報、その他ユーザーに関するいかなる情報も収集するものではありません。

ワイヤレスネットワークを登録する

WIRELESS LANスイッチを「ON」にし、INFOパネルから「ワイヤレス接続」を選択して、登録したいワイヤレスネットワークを選択します（☞ 130ページ）。
暗号キーなどの入力が必要なときには、下記の画面が表示されます。

ヒント

- ワイヤレスネットワークの設定を変更するときは、ワイヤレス接続画面で変更したいワイヤレスネットワークにフォーカスを合わせ、OPTIONメニューから「編集」を選択します。
- ワイヤレスネットワークを選択した場合、WEP/WPAの項目はそのワイヤレスネットワークに合わせて自動設定されます。ただし、そのワイヤレスネットワークがWEP（共有キー）のときは自動判別できないため、その場合のみ手動で設定を変更してください。

設定内容がわからないときは

アクセスポイントを設定した方や管理者、またはプロバイダーにご確認ください。

ご注意

- WIRELESS LANスイッチ（☞ 14ページ）が「OFF」になっていると、ワイヤレスネットワークに接続できません。

ヒント

- WIRELESS LANスイッチを「ON」にすると、登録されているワイヤレスネットワークの中から、接続できるワイヤレスネットワークを定期的に探し、自動的に接続します。
- 登録したいワイヤレスネットワークが一覧に表示されていないときは、ワイヤレス接続画面で「手動登録」を選択し、設定を入力して登録します。
- ワイヤレスネットワークの登録は、Homeメニューから「Tools」を選択し、「ネットワーク設定」を選択して、「ワイヤレス接続」を選択することでも行えます。
- 本機は、一部のプロバイダーが提供するサービスに自動でログインすることができます（☞ 146ページ）。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

mylo Widget

mylo Screenを表示する

myloボタンを押します。

mylo Screen ／ mylo Widgetとは

mylo Screenは､パソコンでWidgetを使うのと同じように、mylo Widgetを配置できる画面です。
あらかじめ用意されているmylo Widgetには､ウェブ検索ができるものや更新情報を表示するものなどがあり､ワイヤレスネットワーク接続中にさまざまな情報を取得します。
コンテンツを表示する際、Webを使用するmylo Widgetもあります。
mylo Widgetは、mylo Screenに自由に配置できます（☞ 36ページ）。

本機に搭載されていないmylo Widgetをネットからダウンロードして、mylo Screenに追加することもできます（☞ 36ページ）。

ワイヤレスネットワーク接続の準備をするには

mylo Widgetの種類によっては､事前にワイヤレスネットワーク接続の準備をする必要があります（☞ 32ページ）。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

mylo Screenを設定する

mylo Widgetをmylo Screenに追加／配置する

本機にインストールされているmylo Widgetをmylo Screen上に追加／配置できます。

OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、mylo Widget配置画面を表示します。

OPTIONメニューから「追加」を選択します。

追加したいmylo Widgetを選択し、「選択」を選択します。

他のmylo Widgetと重ならないように、mylo Widgetの左上の か四隅のボタン以外の部分をドラッグします。

OPTIONメニューから「設定モードの終了」を選択すると、mylo Screenにmylo Widget が追加されます。

ご注意

- ダウンロードした新しいmylo Widgetをmylo Screenに追加／配置するときは、あらかじめ本機にインストールしておいてください（☞ 39ページ）。
- mylo Widgetは、10個まで追加／配置できます。

ヒント

- 同じmylo Widgetを画面に複数表示したい場合は、その数だけWidgetインストーラーでコピーしてから追加／配置します（☞ 41ページ）。

次のページにつづく

mylo Widgetを移動する

OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、移動させるmylo Widgetの左上の ![] か四隅のボタン以外の部分をドラッグします。

OPTIONメニューから「設定モードの終了」を選択すると、設定が変更されます。

ご注意

- mylo Widget同士が重なった状態のままでは保存できません。

mylo Widgetの大きさを変える

OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、大きさを変えるmylo Widgetの右下の ![] を液晶画面上でドラッグします。

OPTIONメニューから「設定モードの終了」を選択すると、設定が変更されます。

ご注意

- 大きさを変えられないmylo Widgetもあります。

次のページにつづく

mylo Widgetの設定を変更する

OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、設定を変更するmylo Widgetの左下の を押します。

例：mixi Widgetの設定画面

設定後、「OK」を押すと変更が保存されます。

mylo Widgetをmylo Screenから削除する

OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、mylo Screenから消去するmylo Widgetの右上の を押します。
OPTIONメニューから「設定モードの終了」を選択すると、設定が変更されます。

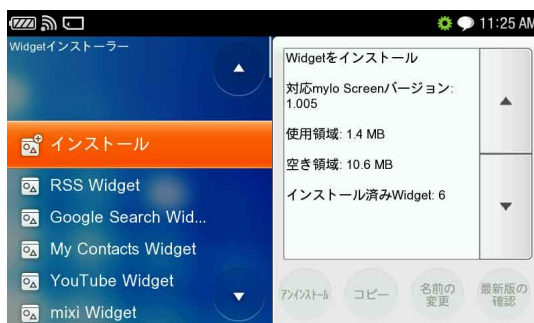
ヒント

- mylo Screenから削除してもmylo Widgetは本機の中に残っています。本機からmylo Widgetをアンインストールする方法については、☞ 40ページをご覧ください。

ご注意

- mylo Widgetをmylo Screenから削除しても、そのWidgetの設定値・配置位置などは消えません。Widget設定モードでOPTIONメニューから「追加」を選択してWidgetを追加すると、記憶していた設定値・配置位置でそのWidgetが再び表示されます。

mylo Widgetをインストールする／アンインストールする

mylo Screenで、OPITONメニューから「Widgetインストーラー」を選択し、mylo Widgetのインストーラー画面を表示します。

mylo Widgetを本機にインストールする

インストール用の新しいmylo Widgetファイルをネットからダウンロードするなどして、入手しておきます。
「インストール」を選択し、インストールするmylo Widgetファイルを選択します。
画面の指示に従ってmylo Widgetをインストールすると、mylo Screenに配置できるようになります（☞ 36ページ）。

ヒント

- インストール用のmylo Widgetファイルは、ファイルマネージャーなどで削除すると、空き容量が増えます。
- mylo Widgetは、20個までインストールできます。
- 同じmylo Widgetを複数インストールしたときは、表示名を変更しておくと便利です（☞ 41ページ）。
- 同じmylo Widgetを画面に複数表示したい場合は、その数だけWidgetインストーラーでコピーしてから追加／配置します（☞ 41ページ）。

ご注意

- インストールしたmylo Widgetは、mylo Screenに追加すると使用できるようになります（☞ 36ページ）。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

mylo Widgetをアップデートする

ワイヤレスネットワークに接続した状態で、mylo Widgetをフォーカスし、「最新版の確認」を選択します。
インターネット上にそのmylo Widgetのアップデートファイルがあるかどうかチェックし、最新のアップデートファイルがある場合は、画面の指示に従ってアップデートします。

ヒント

- 新しいバージョンのmylo Widgetがある場合、mylo Widgetの一覧画面に表示されるアイコンが変わります。
- すでにアップデートの確認が終わっていて、新しいバージョンのmylo Widgetファイルがあるときは、「最新版の確認」の代わりに「最新版の取得」が表示されます。
- すべてのmylo Widgetのアップデートを確認するときは、OPTIONメニューから「すべての最新版を確認」を選択します。
- OPTIONメニューから「最新版の取得」を選択した場合、インストールされているmylo Widgetを、インターネット上のアップデートファイルでアップデートするか、本機内のアップデートファイルでアップデートするか選べます。

ご注意

- 上記の方法ではアップデートできないmylo Widgetもあります。「最新版の確認」の機能に対応しているmylo Widgetのみが上記の方法でアップデートできます。

mylo Widgetを本機からアンインストールする

mylo Widgetをフォーカスし、「アンインストール」を選択します。
画面の指示に従ってアンインストールします。

ヒント

- 工場出荷時にインストールされていたmylo Widgetのインストール用ファイルは、付属のCD-ROMにも入っています。

ご注意

- mylo Widgetをアンインストールすると、このmylo Widgetが作成した一時ファイルも削除されます。
- インストール用のmylo Widgetファイルは、アンインストールしても削除されません。ファイルマネージャーなどで削除してください（☞ 125ページ）。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

mylo Widgetを整理する

mylo Widgetをフォーカスし、それぞれの項目を選択します。
または、OPTIONメニューからそれぞれの項目を選択します。

選択項目	意味
コピー	mylo Widgetを複製する。
名前の変更	mylo Widgetの表示名を変更する。
作者ページを開く [1]	mylo Widgetの作者のサイトをWebで表示する。[2]
キャッシュの削除 [1]	mylo Widgetが作成した一時データを削除する。[3]

[1] OPTIONメニューでのみ選択できます。
[2] Widgetの作者のサイト情報が記録されているmylo Widgetの場合のみ動作します。
[3] 選択したmylo Widgetだけではなく、すべてのmylo Widgetの一時データが削除されます。

mylo Widget紹介

My Contacts Widgetを使う

My Contacts Widgetには、友人のSkypeなどのインスタントメッセンジャーのIDを割り当てることで、オンライン状態を一覧したり、接続が簡単に行えるボックスが90個あります。
例えば、友人が複数のIDを持っている場合、それらのIDを1つのボックスにまとめて登録しておくと、そのボックスから接続したいIDを選択できます。
ボックスにIDを登録すると、以下のような画面が表示されます。

ボックスにIDを登録するには

Skypeなどのインスタントメッセンジャーにサインインしたあとでmylo ScreenでOPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、My Contacts Widgetの左下の を押します。
ボックスを選択して、「IDを追加」を選択します。
Skypeなどのインスタントメッセンジャーを選択し、登録したいIDを選択して、「追加」を選択します。

ヒント
- すでにIDが設定されているボックスを選んだときは、ボックスに表示される画像を変更するかどうか選択し、ボックスに表示される名前を変更するかどうか選択します。
- 1つのボックスには5つまでのIDを登録できます。

ボックスにすべてのIDを登録するには

Skypeなどのインスタントメッセンジャーにサインインしたあとでmylo ScreenでOPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、My Contacts Widgetの左下の を押します。
画面左下にある「すべて追加」を選択します。
Skypeなどのインスタントメッセンジャーを選択すると、そのインスタントメッセンジャーに登録されているコンタクトが左上から順に空いているボックスに1IDずつ登録されます。

次のページにつづく

ボックスの登録内容を編集するには

mylo Screenで、OPTIONメニューから「Widget設定モード」を選択し、My Contacts Widgetの左下の を押します。
ボックスを選択して、「編集」を選択します。

設定項目	設定内容
名前	ボックスに表示される名前を変更する。
ID	• 削除：ボックスに登録されているIDを削除する。 • IDを追加：ボックスにIDを追加する。
画像変更	ボックスに表示される画像を変更する。

ヒント

- ボックスの登録内容を丸ごとコピーするときは、ボックスを選択したあと、「コピー」を選択します。貼り付けたいボックスを選択し、「ペースト」を選択してください。
- ボックスの登録内容を丸ごと削除するときは、ボックスを選択したあと、「カット」を選択します。

My Contacts Widgetを使うには

オンライン中のIDがあるボックスは明るく表示されています。それを選択すると、ボックスに登録されている全IDの一覧が表示されます。（オンライン中のIDがないボックスを選択した場合、IDは表示されません。）
通信したいIDを選択すると、選んだインスタントメッセンジャー上でIDが選択されます。（IDを選択してもインスタントメッセンジャーの画面が表示されない場合、そのIDはオフラインです。他のIDを選択してください。）

ご注意

- インスタントメッセンジャーの画面が表示されたあとは、BACKボタンを押してもmylo Screen画面には戻りません。mylo Screen画面に戻るには、myloボタンを押します。

次のページにつづく

その他のmylo Widget

RSS Widget

Widget設定モードの設定にしたがってRSSフィードを表示します。
登録できるのは、RSS/Podcastで対応しているフィードです。

Google Search Widget

Googleのサービスを用いて検索ができます。
Webが起動して、検索結果がモバイル端末用のレイアウトで表示されます。

mixi Widget

mixiの更新情報を表示します。
項目を選択すると、Webが起動して、新着日記の一覧などが表示されます。

YouTube Widget

YouTubeの「最近のおすすめ」などのRSSフィードをサムネイルつきで表示します。
Widget設定モードで、サムネイルを切り換える間隔や、更新の間隔を変更できます。

PetaMap Widget

PlaceEngineで現在地を取得し、緯度経度と住所を表示します。
「地図」を選択すると、Webが起動して、PetaMapで現在地の地図が表示されます。（あらかじめ、PlaceEngineを起動しておく必要があります（☞ 133ページ）。）

ご注意

- プリインストールされているmylo Widgetの種類、個数、機能は、予告なく変更されることがあります。
- Widget上の各サービスのロゴを押すと、Webが起動して、そのサービスを提供しているサイトが表示されます。

Web

Webを楽しむ前に

本機で楽しめるWebの機能

- Adobe Flashを用いたページを閲覧する
- ファイルをダウンロード／アップロードする
- mylo Widget（☞ 39ページ）をダウンロードする

ご注意

- お客様個人として楽しむ以外の目的で、他人の著作物を許可なく転送することは、著作権法上禁止されています。
- 日付と時刻が正しく設定されていないと、Webページが正しく表示されないことがあります（☞ 137ページ）。
- ダウンロードした音楽ファイルは、Musicのファイルリストに表示されないことがあります。その場合は、Musicを起動し直すなどの方法でAVデータベースを更新してください。
- ダウンロード中は、オートパワーオフを有効にしていても、電源が切れません。
- 本機は、インターネットの音楽ダウンロードサービスには対応していません。音楽ファイルは、必ずパソコンから転送してください。
- Webサイト、Flashコンテンツによっては正しく表示または動作しない場合があります。
- Flash動画はCPU負荷などの制約でパソコン同等のスムーズな再生はできません。
- 本機の使用条件や設定、ネットワークの状況により正しく表示または動作しない場合があります。

ヒント

- 工場出荷時の設定では、ダウンロードしたファイルは「DROPBOX」フォルダに保存されます。
- 「DROPBOX」フォルダに保存されたファイルは、Music、Photoなどの各アプリケーションの「Drop Box」から直接開くことができます。

ワイヤレスネットワーク接続の準備をする

Webを楽しむには、事前にワイヤレスネットワーク接続の準備をする必要があります（☞ 32ページ）。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webを使うなどの方法でログインが必要になることがあります（☞ 32ページ）。
- 日付と時刻が正しく設定されていないと、ワイヤレスネットワーク接続時のオートログインに失敗することがあります。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Webサイトを見る

Homeメニューから「Web」を選択します。
Webページ読み込み中は、ステータスバーの 🌐 が点滅します。

ヒント
- OPTIONメニューの「Web設定」の中の「詳細設定」や「プライバシー設定」で、Cookieの許可／禁止／削除ができます。
- Flashコンテンツの音が出ないときは、そのコンテンツをタップしてください。

現在のページをブックマークする

ブックマークしたいWebページを表示しているときに、OPTIONメニューから「ブックマークに追加」を選択し、ブックマークを保存するフォルダを選択して、「ここに追加」を選択します。

現在のページを保存する

保存したいWebページを表示しているときに、OPTIONメニューから「保存」を選択し、以下のいずれかの項目を選びます。

項目	意味
ページを保存	そのWebページを、HTML/MHT形式または画像（スクリーンショット）で保存する。
画像を保存	画像を選択する画面が表示される。画像を選んで保存する。 ヒント • 画像にフォーカスがある状態のときに「画像を保存」を選択すると、その画像が直接保存されます。
対象を保存	フォーカスがあるリンク先のWebページを保存する。
RSS/Podcast へ追加	フォーカスがあるアイコンのフィードをRSS/Podcastに登録する。

保存の形式を選び、保存先のフォルダを選んで保存します。
保存先選択時に、上位のフォルダへ移動するときはBACKボタンを押します。

ご注意
- 「対象を保存」で保存したWebページは、Webの「保存したページ」には表示されません。ファイルマネージャーを使って、保存先に指定したフォルダから対象のファイルを選択する必要があります。

ホームページを変更する

OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、「ホームページ」の欄に、ホームページにしたいWebページのアドレスを入力します。

ヒント
- ホームページにしたいWebページを表示中に、OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、「現在のページを使用」を選択することでも変更できます。

Webの基本操作

こんなときは	タッチパネル操作	キーボード操作
前のページを表示する	を押す。	Fn+"N"キーを押す。
次のページを表示する	を押す。	Fn+"M"キーを押す。
ページの読み込みを中止する	を押す。	Fn+"."(ピリオド)キーを押す。
ページを再読み込みする	を押す。	Fn+"R"キーを押す。
ブックマークを表示する	OPTIONメニューから「ブックマーク」を選択し、登録済みサイトを選択する。	—
メニュー画面に戻る	を押す。	—
ページの先頭へ行く	—	Fn+"O"キーを押す。
ページの終わりへ行く	—	Fn+"K"キーを押す。
スクロールする	/ / / / / を押す。*	Fn+↑/↓/←/→キーを押す。
1ページ分上にスクロールする	—	Fn+"P"キーを押す。 Shift+スペースキーを押す。
1ページ分下にスクロールする	—	Fn+"L"キーを押す。 スペースキーを押す。
数行分上にスクロールする	—	Fn+"I"キーを押す。
数行分下にスクロールする	—	Fn+"J"キーを押す。
1行分上にスクロールする	—	Fn+"U"キーを押す。
1行分下にスクロールする	—	Fn+"H"キーを押す。
縮小する	を押す。	Sym+↓キーを押す。
拡大する	を押す。	Sym+↑キーを押す。
リンク先を表示する(スクロールモードが「リンク移動」または「タッチでスクロール」のときに有効)	リンクを押す。	↑/↓/←/→キーを押してリンクをフォーカスし、Enterキーを押す。
最小文字サイズを変える	—	Sym+←/→キーを押す。
文字を切り取る(カット)(テキストボックス内で有効)	—	切り取りたい範囲をShift+↑/↓/←/→キーで選択し、Fn+"X"キーを押す。
文字をコピーする(テキストボックス内で有効)	—	コピーしたい範囲をShift+↑/↓/←/→キーで選択し、Fn+"C"キーを押す。

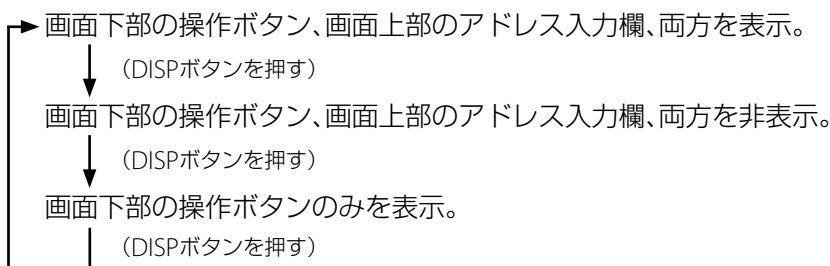
次のページにつづく

こんなときは	タッチパネル操作	キーボード操作
文字を貼り付ける （ペースト） （テキストボックス内で有効）	—	切り取り／コピーした文字を貼り付けたい場所にカーソルを移動し、Fn＋“V”キーを押す。
改行する （テキストボックス内で有効）	—	EnterキーまたはFn＋Enterキーを押す。

* スクロールする量は、設定によって変わります（☞ 50ページ）。

画面表示を切り換える

DISP（ディスプレイ）ボタンを押すと、以下のように画面の表示が切り替わります。

画面下部の操作ボタン、画面上部のアドレス入力欄、両方を表示。
↓（DISPボタンを押す）
画面下部の操作ボタン、画面上部のアドレス入力欄、両方を非表示。
↓（DISPボタンを押す）
画面下部の操作ボタンのみを表示。
（DISPボタンを押す）→ 最初に戻る

スクロールモードを変更する

スクロールモードを変更するには、OPTIONメニューから「スクロールモード」を選択し、スクロールモードを選択します。

スクロールモード	タッチパネル操作	オペレーションキー操作
リンク移動	• リンクを押すと、リンク先を開く。 • Fnキーを押しながらページ内のリンクを押すと、カーソルが移動する。 • Webページ上の文字列をコピーするときは、指かスタイラスでドラッグして選択し、Fn＋“C”キーを押す。	上下左右に傾けると、リンクのフォーカスが移動する。
ページスクロール		上下左右に傾けると、スクロールする。
タッチでスクロール	ページ内を押しながら上下左右に動かす（ドラッグする）と、スクロールする。	上下左右に傾けると、リンクのフォーカスが移動する。

ヒント

• 一部のWebサイトでは、うまく動作しないことがあります。その場合は、他のスクロールモードを試してください。

次のページにつづく ⟶

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

画面表示を変更する

最小文字表示サイズを変更するには

OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、最小文字サイズを変更します。

ヒント

- キーボード操作でも変更できます（☞ 48ページ）。

スクロールする量を変更するには

OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、スクロール幅を変更します。

横スクロールさせない表示設定にするには

OPTIONメニューから「表示モード」を選択し、「画面にフィット」を選択します。

RSS/Podcast

RSS/Podcastを楽しむ前に

本機で楽しめるRSS/Podcastの機能

- 登録したフィードの記事を更新したり、WebページやPodcastコンテンツをダウンロードしたりする
- ダウンロードしたWebページを閲覧したり、Podcastコンテンツを再生したりする（オフライン状態でも行えます）

ヒント

- 本アプリケーションでは、RSS（Rich Site Summary）のしくみを使って配信されるWebページのタイトルや要約などの情報を「記事」と呼び、その「記事」の本文となるWebページ自体やPodcastコンテンツのことを「コンテンツ」と呼びます。

ワイヤレスネットワーク接続の準備をする

RSS/Podcastを楽しむには、事前にワイヤレスネットワーク接続の準備をする必要があります（☞ 32ページ）。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webを使うなどの方法でログインが必要になることがあります（☞ 32ページ）。

フィードを登録する

Webページからフィードを登録するには

登録したいフィードのWebページを表示し、フィードのリンク、またはバナーアイコン（ RSS 、 XML 、 RDF など）を選択します。

ヒント

- 本機にはサンプルフィードが登録されています。更新すると最新の記事を閲覧できます。

ご注意

- 本機は、URLが「https://」から始まるフィード、Basic認証が必要なフィードには対応していません。
- フィードを登録したら、まず更新を行ってください。フィード名・記事は更新を行わないと表示されません。

フィードのURLを直接入力するには

OPTIONメニューから「フィード新規登録」を選択します。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

フィードの巡回方法などを確認する

登録されたフィードの記事は、フィードごとの設定に従って更新されます。

フィードの巡回方法を確認するには

フィードまたはフォルダを選択し、OPTIONメニューから「巡回設定」を選択します。

設定項目	設定内容
保存先	• ダウンロードしたコンテンツの保存先を以下から選択できる。<Memory Stick / 内蔵メモリー> • ダウンロード容量の上限を設定する。
コンテンツ削除	ダウンロードされているWebページやPodcastコンテンツ(音楽ファイル、ビデオファイル、画像ファイル)を削除する。 **ご注意** • 選択したフィードやフォルダのコンテンツだけではなく、ダウンロードしたすべてのWebページとPodcastコンテンツ(音楽ファイル、ビデオファイル、画像ファイル)が削除されます。 • ダウンロードされている記事は削除されません。
コンテンツのダウンロードを無効にする。	チェックすると、巡回中にコンテンツをダウンロードしない。

フィードの巡回結果を確認するには

ステータスバーのアイコンで確認できます。
巡回中はアイコンが点滅します。

ステータスバーアイコン	意味
	まだ巡回していない。巡回したが、更新された記事がない。
	更新された記事がある。[1) 2)]
	巡回に失敗し、更新された記事を1件も取得していない。[1) 3)]
	巡回に失敗したが、更新された記事を1件以上取得している。[1) 2) 3)]

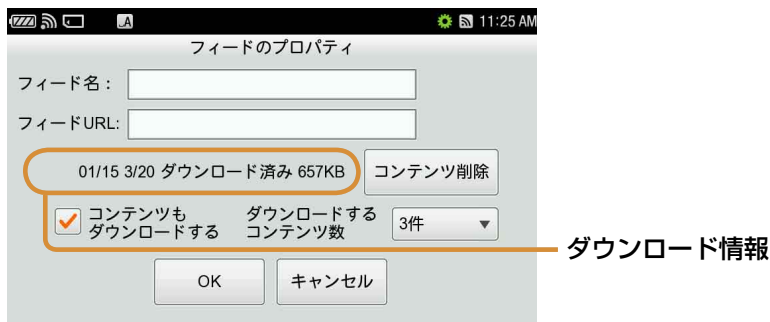
1) コンテンツのダウンロードが成功しているかどうかは、ステータスバーのアイコンでは確認できません。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

2) すべての記事を既読にするか、RSS/Podcastを再起動すると、アイコンの右上の印が消えます。
3) 更新に失敗したフィードのサブタイトルには「Not Supported」と表示されます。RSS/Podcastを再起動すると、アイコンの右下の印が消えます。

フィードの設定を確認するには

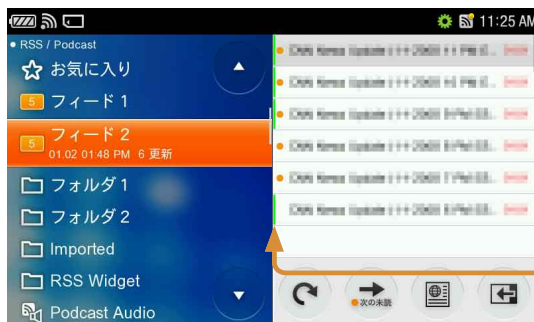
フィードを選択し、OPTIONメニューから「フィードのプロパティ」を選択します。

設定項目	設定内容
フィード名	フィード一覧に表示される名前を入力する。
フィード URL	フィードのURLを入力する。
ダウンロード情報	最後に更新した日付、ダウンロードしているコンテンツの数と容量が表示される。
コンテンツ削除	ダウンロードされているWebページやPodcastコンテンツ（音楽ファイル、ビデオファイル、画像ファイル）を削除する。 **ご注意** • ダウンロードされている記事は削除されません。
コンテンツもダウンロードする	• チェックすると、フィード巡回時に更新されたWebページやPodcastコンテンツをダウンロードする。 • ダウンロードするコンテンツ数：ダウンロードするWebページやPodcastコンテンツの件数を以下から選択できる。 <1件 / 3件 / 5件 / 10件 / 20件 / 最大>

ヒント

- 「コンテンツもダウンロードする」をチェックすると、巡回時に更新されたWebページやPodcastコンテンツが自動的にダウンロードされます。WebページやPodcastコンテンツのダウンロードは、記事の更新が終わったあとに始まります。ダウンロードされているWebページの閲覧をするときや、ダウンロードされているPodcastコンテンツの再生をするときは、ワイヤレスネットワークに接続する必要はありません。

ご注意

- 巡回設定画面で「コンテンツのダウンロードを無効にする。」をチェックしているときは、「コンテンツもダウンロードする」と「ダウンロードするコンテンツ数」は設定できません。
- コンテンツのダウンロード済み件数が、指定の件数を超えている場合、次回更新時に最新の記事から指定件数を超えたダウンロード済みのコンテンツは削除されます。更新時に削除されるのを避けるには、保存件数を増やすか、お気に入りに登録する必要があります。

記事を読む／コンテンツを再生する

ボタン	意味
	記事やPodcastコンテンツを更新し、最新の状態にする。
次の未読	フィード内の次の未読記事をフォーカスする。
	記事の元となっている本文（Webページ）を表示する。
	全画面表示する。

ヒント

- 空き容量が足りずダウンロードできないときは、不要なデータを削除してください（☞ 56ページ）。

ご注意

- WebでサポートしていないWebページは、ダウンロードしても正しく表示できません。

記事やコンテンツを保存するには

フィードの更新時、記事やコンテンツの元となっているフィードから記事やコンテンツが削除されていると、本機に保存されている記事やコンテンツも削除されます。記事やコンテンツを保存しておきたい場合は、OPTIONメニューから「お気に入り登録」を選択すると、更新時に削除されなくなります。

ご注意

- Podcastコンテンツをお気に入りに追加するときは、ダウンロードが済んでから行ってください。お気に入りからPodcastコンテンツをダウンロードすることはできません。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

記事やPodcastコンテンツを更新するには

フィードやフォルダがフォーカスされている状態で を押すと、そのフィードやフォルダ内の全フィードの記事やPodcastコンテンツが更新され、最新の状態になります。
登録しているすべてのフィードを更新したいときは、OPTIONメニューから「全フィード更新」を選択します。

更新された記事／コンテンツを既読／未読にするには

記事を読んだり、Podcast（音声）コンテンツを再生したりすると既読になります。
記事を読まずに既読にするには、OPTIONメニューから「既読にする」を選択します。
フォーカスされているフィードやフォルダの記事のみ既読するときは「選択中のフィード」または「選択中のフォルダ」を、登録しているすべてのフィードの記事を既読にするときは「すべて」を選択します。
読んだ記事や再生したPodcastコンテンツを未読にするには、画面右の記事をフォーカスし、OPTIONメニューから「未読にする」を選択します。

フィードを整理する

「新聞」「日記」などのフォルダを作成し、フィードを整理することができます。
フィードまたはフォルダをフォーカスし、OPTIONメニューから以下の項目を選択します。

項目	意味
フォルダ名変更 *	フォルダ名を変更する。
フォルダ作成	フォルダを作成する。
削除	フィードやフォルダを削除する。
カット	フィードやフォルダを切り取る。
ペースト	フィードやフォルダをペーストする。

* フォルダがフォーカスされているときのみ表示されます。

ヒント
- フォルダは4階層まで作成できます。

フィードやフォルダを移動するには

移動したいフィードまたはフォルダをフォーカスし、OPTIONメニューから「カット」を選択します。
移動先をフォーカスし、OPTIONメニューから「ペースト」を選択します。

全フィードのコンテンツを削除するには

OPTIONメニューから「巡回設定」を選択し、「コンテンツ削除」を選択します。
ダウンロードしたコンテンツがすべて削除されます。

ヒント
- この操作をしても、フィードや記事は削除されません。

次のページにつづく

任意のフィードのコンテンツを削除するには

コンテンツを削除するフィードをフォーカスし、OPTIONメニューから「フィードのプロパティ」を選択して「コンテンツ削除」を選択するか、「コンテンツもダウンロードする」のチェックをはずします。
ダウンロードしたコンテンツが削除されます。

ヒント
- この操作をしても、フィードや記事は削除されません。

任意のフィードのダウンロードコンテンツ件数を減らすには

コンテンツ件数を減らしたいフィードをフォーカスし、OPTIONメニューから「フィードのプロパティ」を選択して、「ダウンロードするコンテンツ数」を選択し、件数を減らします。
指定した件数を超えるコンテンツが削除されます。

ヒント
- この操作をしても、フィードや記事は削除されません。

任意のフィードやフォルダを削除するには

削除するフィードやフォルダをフォーカスし、「削除」を選択します。

ご注意
- フォーカスしたフィードやフォルダの全コンテンツが、フィードや記事を含め、すべて削除されます。

フィードをインポート／エクスポートする

他のRSSリーダーからインポートするには

本機では、他のRSSリーダーからエクスポートされたファイルが使用できます。
インポートしたいファイルを本機か“メモリースティック デュオ”にコピーします。
画面左にフォーカスがあるときに、OPTIONメニューから「インポート」を選択し、コピーしたファイルを選択します。
フィードは、「Imported」フォルダにインポートされます。

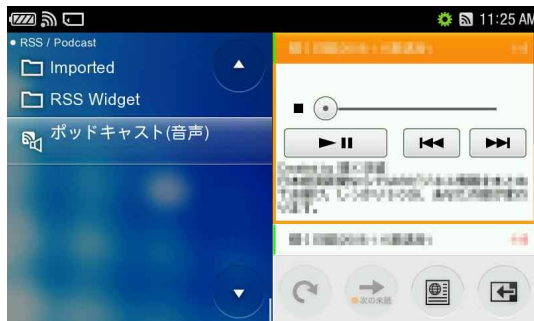
他のRSSリーダーにエクスポートするには

画面左のフィードやフォルダにフォーカスがあるときに、OPTIONメニューから「エクスポート」を選択します。

ご注意
- 「お気に入り」の内容はインポート／エクスポートできません。
- 本機はOPML形式以外のインポートには対応していません。
- 第1階層にある「ポッドキャスト（音声）」に登録されている情報はエクスポートされません。

次のページにつづく

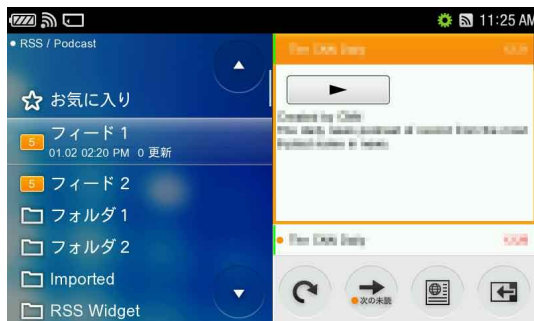
Podcastコンテンツを再生する

Podcastコンテンツは、ダウンロードすると再生できます。

ダウンロードしたPodcast（音声）コンテンツを再生するときは、リストの第1階層にある「ポッドキャスト（音声）」を選択し、一覧から再生するコンテンツを選択します。「ポッドキャスト（音声）」でPodcast（音声）コンテンツを再生すると、登録されているコンテンツが連続再生できます。
ダウンロードしたPodcast（音声）コンテンツは、Podcast（音声）コンテンツの記事にフォーカスがあるときにOPTIONメニューから「Musicプレーヤーに登録」を選択すると、Musicでも再生できるようになります。

ご注意

- ダウンロードをしている最中に他の画面を表示したり、BACKボタンを押したりすると、ダウンロードは中止されます。
- 再生／表示できるのは、本機のMusic／Videoが対応しているフォーマットのコンテンツのみです（☞ 244、245ページ）。
- MusicでPodcast（音声）コンテンツを再生するには、「Musicプレーヤーに登録」で登録したあとに、Musicを起動し直すなどの方法でAVデータベースを更新する必要があります。

Podcastビデオの場合は、ダウンロードしたコンテンツを選択し、[►]を押すと、Videoが起動して再生が始まります。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Communication
— Skype

Skypeを楽しむ前に

本機で楽しめるSkypeの機能

- 他のSkypeユーザーと電話する
- 他のSkypeユーザーとチャットする
- 一般回線に電話する(SkypeOut)
- 一般回線からの電話を受ける(SkypeIn)
- 他のSkypeユーザーとファイルの送受信をする
- 他のSkypeユーザーとボイスメールの送受信をする

ご注意

- 本機では、コンタクトリストに301人以上のコンタクトが登録されているSkype名は使えません。コンタクトリストが300人以下のSkype名を使うか、本機用に新しいSkype名を登録してください。
- SkypeOutやSkypeIn、ボイスメールを使うには、あらかじめSkypeクレジットを購入しておくかSkypeサービスオプションを利用する必要があります。Skypeクレジット購入、Skypeサービスオプションについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
  http://www.skype.com/
- お客様個人として楽しむ以外の目的で、他人の著作物を許可なく転送することは、著作権法上禁止されています。
- 本機は「Skype Video」には対応していません。
- 登録されているコンタクトのオンライン状態がすぐに反映されない場合があります。しばらく待つか、ログインし直してください。

ワイヤレスネットワーク接続の準備をする

Skypeを楽しむには、事前にワイヤレスネットワーク接続の準備をする必要があります(☞ 32ページ)。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webを使うなどの方法でログインが必要になることがあります(☞ 32ページ)。

Skypeに登録する

Skype名をすでにお持ちの場合は、「Skypeを起動する」(☞ 61ページ)に進みます。お持ちでない場合または新たに登録する場合は、サインイン画面で「新規作成」を選択し、Skype名を新規作成します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Skypeを起動する

サインインする

サインイン画面で、Skype名とパスワードを入力し､「サインイン」を選択します。

自動的にSkypeにサインインするには

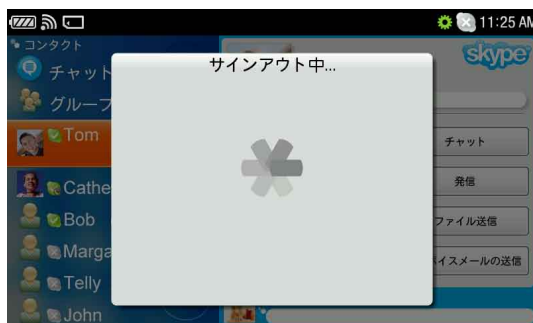
サインイン画面で「Skype起動時に自動サインイン」と「パスワードの保存」をチェックします。

ワイヤレスネットワークに接続すると､自動的にSkypeにサインインします。

ヒント

- 一度使用したSkype名は本機に3件まで記憶されます。Skype名のプルダウンメニューを使って選びます。
- Homeメニューから「Tools」を選択し､「設定」を選択して､「システム」で「設定のリセット」を実行すると､記憶されたSkype名はすべて削除されます（☞ 141ページ）。
- プロキシの設定が必要なときは､サインイン画面でOPTIONメニューから「接続設定」を選択して設定します。

サインアウトする

サインアウトするには、OPTIONメニューから「サインアウト」を選択します。

ご注意

- ワイヤレスネットワークとの接続を切断しても、Skypeからはサインアウトされません。

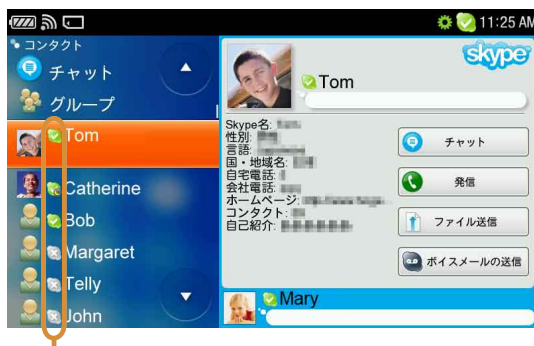
終了する

終了するには、OPTIONメニューから「終了」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Skypeの主な画面とアイコン

コンタクト画面とアイコン

Skypeにサインインすると、コンタクト画面が表示されます。
この画面には、登録してあるコンタクト（☞ 67ページ）がすべて表示されます。
フォーカスするとコンタクトの詳細が表示されます。

ステータスアイコン

ステータスアイコン	意味
（オンライン）	Skypeにサインインしている。
（Skype Me ™）	Skypeにサインインしており、他のユーザーと積極的にコミュニケーションしたいときに設定する。（知らないユーザーや未承諾のユーザーからも話しかけられることがある。）
（一時退席中）	Skypeにサインインしているが、しばらく操作していない。
（退席中）	Skypeにサインインしているが、長時間操作していない。
（取り込み中）	Skypeにサインインしているが、忙しくて応答できない。
（オフライン）	Skypeにサインインしていない。または、ステータスを「ログイン状態を隠す」か「オフライン」に設定している。
（転送設定中）	他のSkype名や一般回線に転送設定をしている。
（未承認）	まだ相手に承認されていない（☞ 67ページ）。
（SkypeOut）	SkypeOut（Skypeで一般回線と通話できるサービス）を設定している。
（ボイスメール受信可能）（オフライン）	ボイスメール（☞ 77ページ）を契約しているユーザーで、Skypeにサインインしていない。または、ステータスを「オンライン状態を隠す」か「オフライン」に設定している。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

チャット画面とアイコン

コンタクト画面で、「チャット」を選択すると、チャット画面が表示されます。
この画面には、現在進行中のチャットがすべて表示されます。
現在進行中のチャットが99件を超えたときは、古いチャットから削除されます。
チャットをフォーカスすると、そのチャットの内容が表示されます。

新着アイコン

チャットアイコン

チャットアイコン	意味
	進行中のチャット
	ブックマークしているチャット
	新着チャット

イベント画面とアイコン

コンタクト画面で、「イベント」を選択すると、イベント画面が表示されます。
この画面には、発信・着信履歴、不在着信履歴、ボイスメールの受信履歴、他のユーザーからの登録リクエストなどの履歴が表示されます。

新着アイコン

イベントアイコン

次のページにつづく

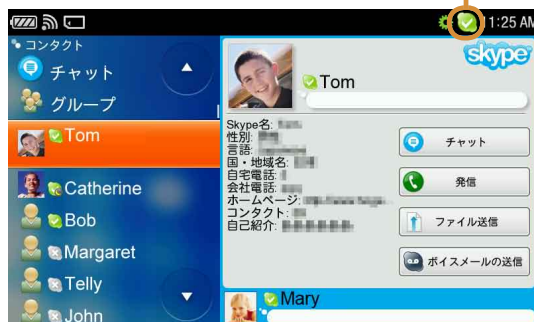
目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

イベントアイコン	意味
	不在着信
	発信したコール
	受信したコール
	送信履歴
	受信履歴
	再生済みのボイスメール
	新着ボイスメール
	登録リクエスト
	ファイル受信リクエスト

ヒント

- 未読のイベントには、(新着アイコン)が表示されます。

ステータスバーとアイコン

Skypeにサインインすると、(オンライン)がステータスバーに表示されます。
なにかイベントが起こると、(オンライン)が下表のアイコンに変わります。
他のアプリケーションが表示されているときに未読チャット数と未読イベント数を確認したいときは、INFOパネルを開きます。
Skypeからサインアウトすると、(オフライン)が表示されます。

ステータスバーアイコン	意味
	コール受信中
	新着チャット
	不在着信、登録リクエスト受信、ファイル受信、ボイスメール受信

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

自分のステータスを設定する

自分のオンライン状態やマイピクチャーを設定する

マイステータスバーエリアを押すか、OPTIONメニューから「自分のステータス」を選択し、設定後「保存」を選択します。

次のページにつづく

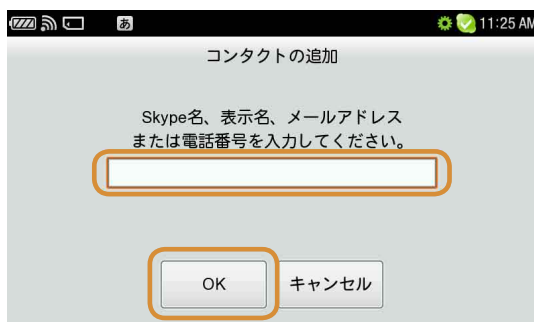
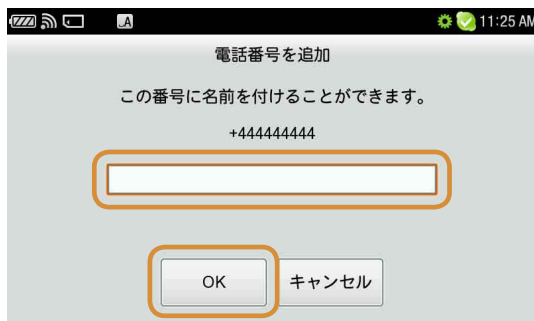
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">意味</th></tr>
<tr><td>画像変更</td><td colspan="2">マイピクチャーを変更する。*</td></tr>
<tr><td>表示名</td><td colspan="2">相手のコンタクトリストに表示されるコンタクト名を入力する。</td></tr>
<tr><td rowspan="9">ステータス</td><td colspan="2">自分のステータスを選択する。</td></tr>
<tr><th>アイコン</th><th>意味</th></tr>
<tr><td>(オンライン)</td><td>Skypeにサインインしている。</td></tr>
<tr><td>(Skype Me ™)</td><td>通話やチャットをしたいと他のユーザーに知らせる。(知らないユーザーや未承諾のユーザーから話しかけられることがある。)</td></tr>
<tr><td>(一時退席中)</td><td>Skypeにサインインしているが、しばらく本機を操作していない。</td></tr>
<tr><td>(退席中)</td><td>Skypeにサインインしているが、長時間本機を操作していない。</td></tr>
<tr><td>(取り込み中)</td><td>Skypeにサインインしているが、応答できない。</td></tr>
<tr><td>(ログイン状態を隠す)</td><td>他のユーザーから自分が「オフライン」状態に見えるようにする。(オンラインのときと同様にSkypeを使える。)</td></tr>
<tr><td>(オフライン)</td><td>Skypeにサインインしていない。</td></tr>
<tr><td>ムードメッセージ</td><td colspan="2">自己紹介や友人へのメッセージなど簡単なコメントを入力する。入力したメッセージは、他のユーザーに公開される。</td></tr>
<tr><td>曲タイトルの表示</td><td colspan="2">チェックすると、再生している曲のタイトルがムードメッセージとして他のユーザーに公開される。</td></tr>
</table>

* PhotoのOPTIONメニューにある「マイピクチャー一覧に追加」を利用することで、ここで選択できる画像を追加できます。

Skypeコンタクトリストに他のユーザーを登録する

他のSkypeユーザーをコンタクトリストに登録すると、コンタクト画面でそのユーザーのオンライン状態を確認できたり、電話やチャットなどを開始できるようになります。

登録リクエストを送信する

コンタクト画面で、OPTIONメニューから「コンタクトの追加」を選択し、追加したいユーザーの情報を入力後、「OK」を選択します。

ユーザーの検索が始まり、結果が表示されます。
「追加」を選択するとユーザーに登録リクエストが送られます。
相手が承認すれば、コンタクトリストに相手が設定している情報が表示されます。
一般回線の電話番号を入力した場合は、名前入力画面が表示されます。

登録リクエストを再送するには

(未承認)が表示されているコンタクトは、登録リクエストをまだ承認していません。コンタクト画面で、コンタクトを選択し、OPTIONメニューから「登録リクエストの送信」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

他のSkypeユーザーからの登録リクエストに回答する

他のユーザーが登録リクエストを送ってきたとき、 がステータスバーに表示されます（☞ 64ページ）。
イベント画面から新しい登録リクエストを選択します。

回答	意味
追加	相手のユーザーをコンタクトリストに追加する。
無視	登録リクエストを無視する。
ブロック	相手のユーザーをブロックリストに追加し、その相手からのリクエストを受け付けないようにする。

ブロックを解除するには

ブロックリストに登録してあるユーザーと通話やチャットなどをできるようにするには、「ブロックリストの管理」機能（☞ 78ページ）を使って、ブロックリストから、そのユーザーを解除します。

コンタクトの削除／ブロック状態の変更／表示名の変更をする

コンタクト画面で、コンタクトを選択し、OPTIONメニューの中から機能を選択します。

ご注意

- グループの編集（追加、削除、グループ名の変更）は、パソコンでSkypeにサインインして行ってください。

電話をかける／受ける

Skypeでの通話には、本体のスピーカーとマイク（☞ 14ページ）を使うことも、ヘッドセット（☞ 27ページ）を使うこともできます。

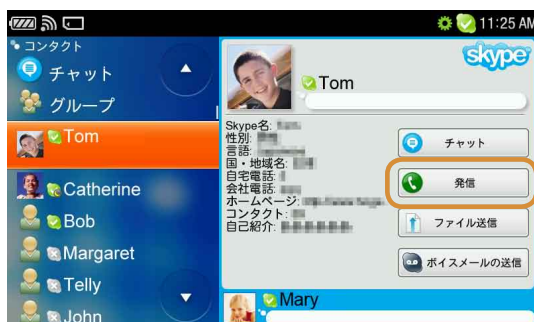
ヒント

- 音量を調節するときは、通話中にVOL +/−ボタンを押します。
- 音楽ファイルやビデオファイル、画像ファイルのスライドショーを再生しているときに通話すると、通話が終わるまで再生が一時停止します。通話が終わると、停止した場所から再生が再開します。

ご注意

- ネットワークの状態により、通話品質が悪くなることがあります。
- ネットワークの状態により、「コールが切れました」というエラーが表示され、通話が切断されることがあります。

Skypeユーザーに電話をかける

コンタクト画面またはイベント画面で、通話したいユーザーを選択し、「発信」を選択します。

Skype名を入力して電話をかけるには

コンタクト画面で、「ダイヤル」を選択すると、ダイヤル画面が表示されます。
通話したい相手のSkype名を、キーボードまたは画面上のボタンを使って入力後、「発信」を選択します。

ヒント

- チャット画面、ブックマークしたチャット画面で、OPTIONメニューから「発信」を選択しても電話をかけられます。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

一般回線に電話をかける（SkypeOut）

コンタクト画面で、「ダイヤル」を選択すると、ダイヤル画面が表示されます。
国・地域を選択し、通話したい電話番号をキーボードまたは画面上のボタンを使って入力後、「発信」を選択します。
ダイレクトに国・地域の番号からダイヤルするときは、「+1 ～」のように最初に「+」を押してから、国・地域の番号、相手の番号を入力します。

ヒント

- 日本国内へダイレクトに国・地域の番号からダイヤルする場合は、「+81 ～」になります。

ご注意

- Skypeから一般回線に電話をかけるには、あらかじめSkypeクレジットを購入しておくかSkypeサービスオプションを利用する必要があります。SkypeOutやSkypeクレジット購入、Skypeサービスオプションについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
http://www.skype.com/
- 受信先によっては発信者番号が通知されない場合があります。

電話を受ける

着信すると、着信音が鳴り、ステータスインジケーターが点滅し、着信画面が表示されます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

選択項目	意味
消音	着信時に着信音を消す。ただし、着信は続く。
応答	通話する。
拒否	着信を切る。

ご注意

- 一般回線からの電話を受けるには、あらかじめSkypeInの番号を入手しておく必要があります。SkypeInやSkypeIn番号について詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
  http://www.skype.com/
- 通話中は、他のユーザーからの通話は着信できません。
- 発信元によっては発信者番号が通知されない場合があります。

通話を保留するには

通話画面で「保留」を選択すると、通話が保留されます。
通話に戻るには、「保留解除」を選択します。

消音機能を使うには

通話画面で「消音」を選択すると、こちらの声が相手に聞こえなくなります。
相手の声は聞こえます。

ヘッドセットの使用中に通話に出るには

ヘッドセットの着信スイッチを押します。

ヒント

- 他のアプリケーションの使用中でも、着信があると着信画面が表示され、電話を受けることができます。
- 着信音や通話相手の声の大きさの初期値は、Skypeの設定画面で調節できます。

電話を切る

通話画面で、「終了」を選択するか、ヘッドセットの着信スイッチを押します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

チャットを楽しむ

チャットを開始する

コンタクト画面またはイベント画面で、チャットしたいユーザーを選択し、「チャット」を選択します。

メッセージを送信する

メッセージ入力部に送信したいメッセージを入力し、Enterキーを押すと、相手にメッセージが送信されます。

ヒント

- チャット中にエモーティコンを使うときは ☺ を押し、エモーティコン画面でエモーティコンを選択します。
- 改行するときは、Fnキーを押してからEnterキーを押します。
- ⧉ を押すと、チャット画面が全画面で表示され、チャットしている相手の画像が画面左に表示されます。
- チャット履歴にURLが表示されているときは、そのURLをタップするとWebが起動し指定したWebページが表示されます。
- チャット履歴の一部をコピーしたいときは、コピーしたい範囲をドラッグして反転させ、ポップアップメニューから「コピー」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

チャットに答える

他のユーザーが新しくメッセージを送ってくると、 がステータスバーに表示されます（☞ 64ページ）。
チャット画面で、新しいチャットを選択します。

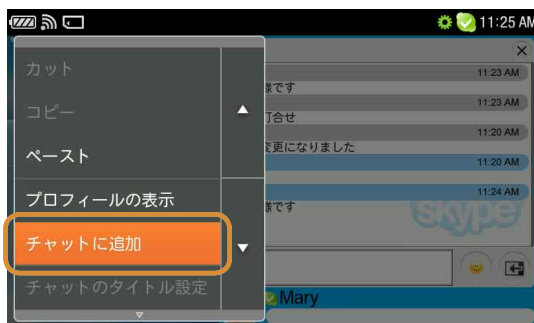
進行中のチャットを開く

コンタクト画面で、「チャット」を選択し、開きたいチャットを選択します。

チャットをブックマークする

チャット画面で、 OPTIONメニューから「ブックマークに追加」を選択します。
ブックマークしたチャットは、チャット画面で「ブックマークしたチャット」を選択し、開きたいチャットを選択すると開けます。

マルチチャットする

進行中のチャットに、他のコンタクトを招待することができます。
チャット画面で、 OPTIONメニューから「チャットに追加」を選択し、招待したいコンタクトを選択します。

ヒント

- マルチチャットはブックマークしておくと、再開するときに便利です。
- ブックマークしたマルチチャットは、ブックマークしたチャット画面から再開できます。
- 終了したマルチチャットに参加するには、相手からもう一度メッセージを受け取るか、事前にブックマークしておく必要があります。
- マルチチャットでは、自分を含めて50人まで参加できます。
- 進行中のマルチチャットを全画面で表示すると、参加しているユーザーを確認できます。（一度に最大4ユーザーまで表示できます。）
- 5人以上とマルチチャットしているときは、画面左下の矢印ボタンを押してください。参加しているユーザーを確認できます。

次のページにつづく

マルチチャットから退席するには

チャット画面で、OPTIONメニューから「チャットを退席」を選択します。

ご注意

- マルチチャットから退席すると、メッセージが届かなくなります。

ヒント

- チャットに参加している他のユーザーに自分がチャットから退席したことが通知され、自分の名前がチャットから消えます。
- 同じマルチチャットにまた参加するには、他のユーザーに招待してもらう必要があります。

チャットを終了する

チャット画面の ✕ を押します。

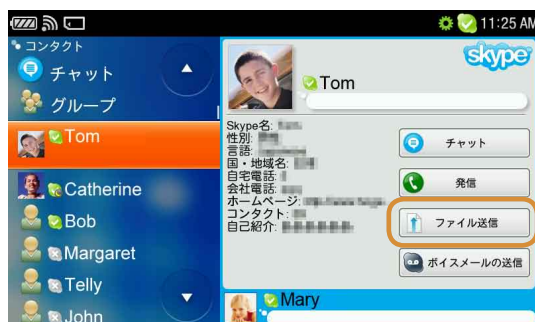
ファイルを転送する

他のユーザーに本機に保存しているファイルを送信したり、他のユーザーからファイルを受信できます。

ご注意

- お客様個人として楽しむ以外の目的で、他人の著作物を許可なく転送することは、著作権法上禁止されています。

ファイルを送信する

コンタクト画面、イベント画面、チャット画面で、ファイルを送信したいユーザーを選択し、「ファイル送信」を選択します。

送信するファイルを選択すると、相手にファイル受信リクエストが送られます。
相手が受信を許可すると、送信が始まります。

ご注意

- 送信できるのは、内蔵メモリーのファイルのみです。

転送を中止するには

ファイル転送中に「キャンセル」を選択します。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ファイルを受信する

他のSkypeユーザーがあなたにファイルを送信しようとすると、 がステータスバーに表示され（☞ 64ページ）、イベント画面に受信リクエストが表示されます。
受信リクエストを選択すると、ファイルを受信するかどうか確認する画面が表示されます。

選択項目	意味
受信	ファイル転送が始まる。転送されたファイルは、「DROPBOX」フォルダに保存される（☞ 126ページ）。ファイルの種類に応じて、それぞれのアプリケーションから開く。 「DROPBOX」フォルダに同じ名前のファイルがすでにあるときは、メッセージが表示される。画面の指示に従って、ファイルの名前を変更する。
拒否	送り手にはファイル転送が拒否されたことを知らせるメッセージが届き、ファイル転送がキャンセルされる。

ヒント

- 受信したファイルは、Homeメニューから「Tools」を選択し、「Drop Box」を選択して、受信したファイルを選択するとアプリケーションが起動して開きます。

ご注意

- ダウンロードした音楽ファイルは、Musicのファイルリストに表示されないことがあります。その場合は、Musicを起動し直すなどの方法でAVデータベースを更新する必要があります。

他のアプリケーションが表示されているときは

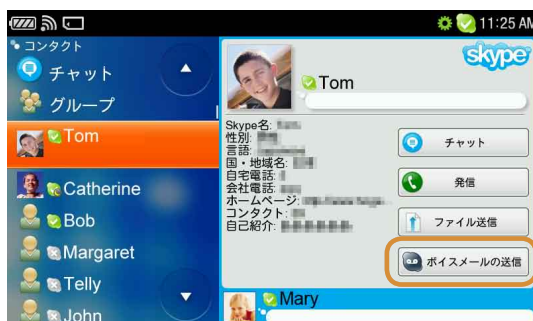
他のSkypeユーザーがあなたにファイルを送信しようとすると、 がステータスバーに表示されます（☞ 64ページ）。
INFOパネルから「Skype」を選択し、「イベント」を選択したあと受信リクエストを選択します。

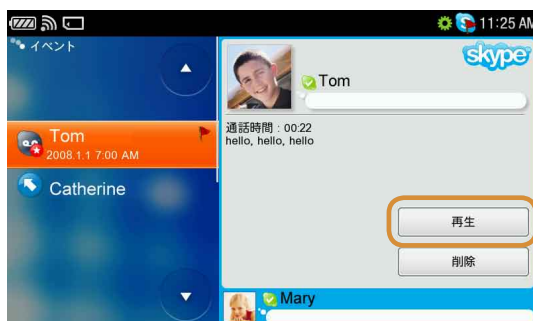
ボイスメールを使う

ご注意

- ボイスメールを使うには、受信側または送信側のユーザーが、あらかじめSkypeボイスメールを購入する必要があります。Skypeボイスメールの購入について詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
  http://www.skype.com/

ボイスメールを送信する

コンタクト画面、イベント画面、チャット画面で、ボイスメールを送りたいユーザーを選択し、「ボイスメールの送信」を選択します。

ボイスメールを受信する

ボイスメールが届くと、ステータスバーに が表示されます。
コンタクト画面で、「イベント」を選択し、ボイスメールを残したユーザーを選択して、「再生」を選択すると再生されます。

他のアプリケーションが表示されているときは

他のSkypeユーザーからボイスメールが届くと、 がステータスバーに表示されます（☞ 64ページ）。
INFOパネルから「Skype」を選択し、「イベント」を選択したあとボイスメールを選択します。

Skypeの設定を変更する

コンタクト画面で、「ツール」を選択し、設定したい項目を選択します。

設定項目	設定内容
設定 - サウンド	• 着信音：着信音を以下から選択できる。 ＜OFF / Bubbly / Old Phone / Bounce / Boing / Sing-a-Long＞ • 着信音量：着信音の音量を、0（消音）から5（最大音量）まで調節できる。 • 受話音量：通話時の相手の音量を1（最小音量）から5（最大音量）まで調節できる。 • 効果音：チェックすると、イベント発生時、チャット受信時に効果音が鳴る。
設定 - チャット	• チャット履歴を削除：チャットの履歴を削除する。 • エモーティコンの表示：チェックすると、チャット中にエモーティコンがグラフィックとして表示される。 • タイムスタンプの表示：チェックすると、チャット中にメッセージを送受信した時刻がメッセージごとに表示される。
設定 - ボイスメール	• ボイスメールへ自動転送：チェックすると、呼び出しから約10秒後に、自動的にボイスメールに切り替わる。 **ご注意** • この設定は、ボイスメールが有効なSkype名でサインインした場合にのみ選択できます。
設定 - プライバシーの設定	• 通話を許可：コールを受け取れるユーザーを以下から選択できる。 ＜すべてのユーザー / コンタクトのみ＞ • チャットを許可：チャットを受け取れるユーザーを以下から選択できる。 ＜すべてのユーザー / コンタクトのみ＞ • SkypeInの着信許可：SkypeInを受け取れるユーザーを以下から選択できる。 ＜すべてのユーザー / 番号通知のみ / コンタクトのみ＞ **ご注意** • この設定は、SkypeInが有効なSkype名でサインインした場合にのみ選択できます。 • ブロックリストの管理：ブロックリスト画面が表示される。

次のページにつづく

設定項目	設定内容
設定 - 接続設定	• ポート［　］を着信の接続に使用する：Skypeが使用する受信用のポート番号を設定する。 • 上記のポートに代わりポート80と443を使用する：チェックすると、ポート番号80番と443番を代替使用する。 • プロキシ：プロキシ設定画面が表示される。 　• プロキシ：プロキシの設定を以下から選択できる。＜自動 / 設定しない / HTTPS / SOCKS5＞ 　• ホスト：ホストのアドレスを設定する。 　• ポート：Skypeが使用する、プロキシのポート番号を設定する。 　• プロキシ認証：チェックすると、ユーザー名とパスワードによるプロキシ認証を行う。
プロフィール - 一般	• 画像変更：マイピクチャーを設定する。 • 時刻を表示：チェックすると、相手の画面に自分の時間を表示する。 • タイムゾーン：タイムゾーンを設定できる。＜空白 / GMT ＋12 ～ －12＞ • コンタクト数を表示：チェックすると、コンタクトリストに登録されている人数を表示する。
プロフィール - パーソナル情報	• Skype表示名：コンタクトリストに表示される名前を設定する。 • 性別：性別を以下から選択できる。＜空白 / 男性 / 女性＞ • 生年月日：誕生日を設定する。 • ホームページ：ホームページのURLを設定する。
プロフィール - 自己紹介	• 自己紹介：自己紹介を設定する。
プロフィール - 場所	• 国・地域：国や地域を設定する。 • 都道府県：都道府県を設定する。 • 市区町村：市区町村を設定する。 • 言語：言語を設定する。
プロフィール - 電話番号	• 自宅電話：自宅の電話番号を設定する。 • 会社電話：会社の電話番号を設定する。 • 携帯電話：携帯電話の電話番号を設定する。
プロフィール - E-mail	• E-mail 1：1つめの電子メールアドレスを設定する。 • E-mail 2：2つめの電子メールアドレスを設定する。 • E-mail 3：3つめの電子メールアドレスを設定する。
アカウント - アカウント情報	• Skypeクレジット：現在使用できるSkypeクレジットについての情報を表示する。 • ボイスメール：ボイスメールを使用可能かどうかを表示する。＜有効 / 無効＞ • SkypeIn：SkypeInを使用可能かどうかを表示する。＜有効 / 無効＞
アカウント - 詳細	• アカウント管理ページへ：Webが起動し、アカウントの管理をするページを表示する。 • パスワードの変更：Skypeにサインインするパスワードを変更する。
Skype について	Skypeのソフトに関する情報、著作権表示、ご注意などを表示する。

Communication
— Google Talk

Google Talkを楽しむ前に

本機で楽しめるGoogle Talkの機能

- 他のGoogle Talkユーザーとチャットする
- Gmailのサイトにジャンプする

ご注意

- 本機は、コンタクトリストに301人以上登録されているGmail アカウントに対応していません。
- xxxxx@gmail.com形式以外のメールアドレスには対応していません。

ワイヤレスネットワーク接続の準備をする

Google Talkを楽しむには、事前にワイヤレスネットワーク接続の準備をする必要があります（☞ 32ページ）。

ご注意

- 公衆ワイヤレスLANアクセスポイントに接続する場合、Webを使うなどの方法でログインが必要になることがあります（☞ 32ページ）。

Gmail アカウントを取得する

Gmail アカウントをすでにお持ちの場合は、「Google Talkを起動する」（☞ 82ページ）に進みます。
お持ちでない場合または新たに登録する場合は、サインイン画面で「新規作成」を選択すると、Webが起動しアカウントを作成できるページが表示されるので、そこでGmail アカウントを新規作成します。

Google Talkを起動する

サインインする

サインイン画面で、ユーザー名（Gmail アカウント）とパスワードを入力し、「サインイン」を選択します。

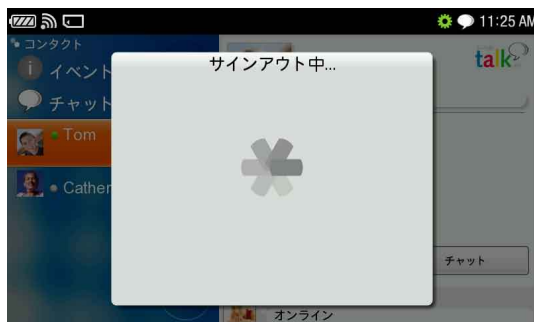
自動的にGoogle Talkにサインインするには

サインイン画面で「自動サインイン」と「パスワードの保存」をチェックします。
ワイヤレスネットワークに接続すると、自動的にGoogle Talkにサインインします。

ヒント

- 一度使用したユーザー名は本機に3件まで記憶されます。ユーザー名のプルダウンメニューを使って選びます。
- Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「システム」で「設定のリセット」を実行すると、記憶されたユーザー名はすべて削除されます（☞ 141ページ）。
- プロキシの設定が必要なときは、サインイン画面でOPTIONメニューから「接続設定」を選択して設定します。

サインアウトする

サインアウトするには、OPTIONメニューから「サインアウト」を選択します。

ご注意

- ワイヤレスネットワーク接続が切れると、自動的にサインアウトされます。

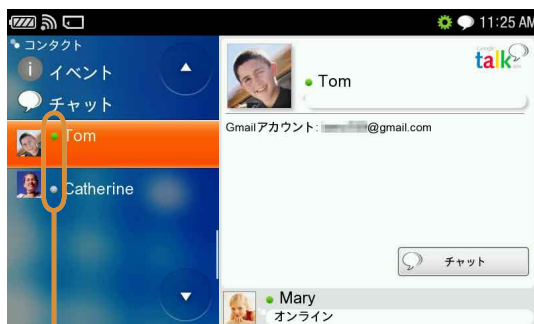
終了する

終了するには、OPTIONメニューから「終了」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Google Talkの主な画面とアイコン

コンタクト画面とアイコン

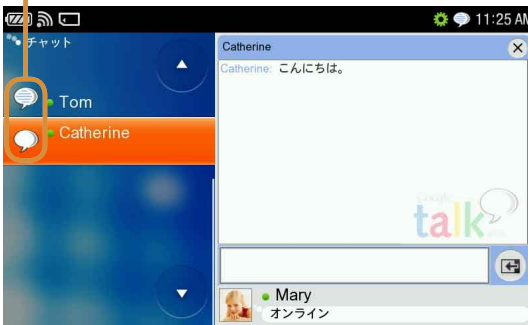
Google Talkにサインインすると、コンタクト画面が表示されます。
この画面には、登録してあるコンタクト（☞ 87ページ）がすべて表示されます。
フォーカスするとコンタクトの詳細が表示されます。

ステータスアイコン

ステータスアイコン	意味
（オンライン）	Google Talkにサインインしている。
（オフライン）	Google Talkにサインインしていない。
（アイドル）	Google Talkにサインインしているが、しばらく操作していない。
（取り込み中）	Google Talkにサインインしているが、ステータスを「取り込み中」に設定している。
ー（招待中）	相手があなたからの登録リクエストを承認していない。

次のページにつづく

チャット画面とアイコン

コンタクト画面で、「チャット」を選択すると、チャット画面が表示されます。
この画面には、現在進行中のチャットがすべて表示されます。
現在進行中のチャットが99件を超えたときは、古いチャットから削除されます。
チャットをフォーカスすると、そのチャットの内容が表示されます。

チャットアイコン

チャットアイコン	意味
	未読のメッセージがあるチャット
	未読のメッセージがないチャット

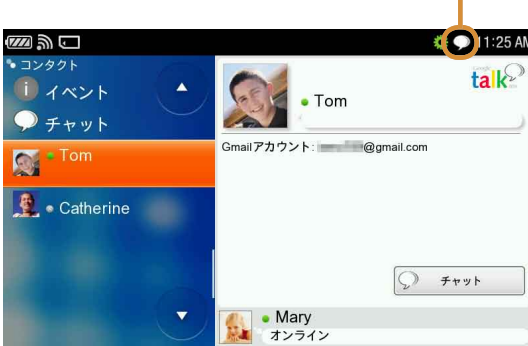
イベント画面

コンタクト画面で、「イベント」を選択すると、イベント画面が表示されます。
この画面には、コンタクトの登録リクエストが表示されます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

ステータスバーとアイコン

Google Talkにサインインすると、(オンライン)がステータスバーに表示されます。
なにかイベントが起こると、(オンライン)が下表のアイコンに変わります。
他のアプリケーションが表示されているときに未読チャット数と未読イベント数を確認したいときは、INFOパネルを開きます。
Google Talkからサインアウトすると、(オフライン)が表示されます。

ステータスバーアイコン	意味
	新着のイベント
	新着チャットメッセージ
	新着メール

Gmailを使うには

コンタクト画面で、「Gmail」を選択すると、Webが起動し、Gmailのページが表示されます。

自分のステータスを設定する

自分のオンライン状態やマイピクチャーを設定する

マイステータスバーエリアを押すか、OPTIONメニューから「自分のステータス」を選択し、設定後「保存」を選択します。

設定項目	意味	
ステータス	自分のステータスを選択する。	
	アイコン	**意味**
	(オンライン)	サインインしていることを知らせる。
	(取り込み中)	チャット可能な状態でないことを知らせる。
カスタムメッセージ	自己紹介や友人へのメッセージなど簡単なコメントを入力する。入力したメッセージは、他のユーザーに公開される。	
画像変更	マイピクチャーを変更する。*	
曲タイトルの表示	チェックすると、再生している曲のタイトルがカスタムメッセージとして他のユーザーに公開される。	

* PhotoのOPTIONメニューにある「マイピクチャー一覧に追加」を利用することで、ここで選択できる画像を追加できます。

Google Talkコンタクトリストに他のユーザーを登録する

チャットなどGoogle Talkの機能を使うには、あらかじめ友人をGoogle Talkのコンタクトリストに追加する必要があります。

登録リクエストを送信する

コンタクト画面で、OPTIONメニューから「コンタクトの追加」を選択し、追加したいユーザーのGmail アカウントを入力後、「次へ」－「OK」の順に選択します。

相手が承認すれば、そのユーザー名の横にステータスアイコンが表示されます（☞ 83ページ）。

ご注意

- 本機で扱えるのは、Gmail アカウントのみです。xxxxx@gmail.com形式以外のメールアドレスには対応していません。

登録リクエストを再送するには

ユーザー名の横にステータスアイコン（☞ 83ページ）が表示されていないユーザーは、登録リクエストをまだ承認していません。
コンタクト画面で、ユーザーを選択し、OPTIONメニューから「登録リクエストの送信」を選択します。

他のGoogle Talkユーザーからの登録リクエストに回答する

他のユーザーが登録リクエストを送ってきたとき、ⓘがステータスバーに表示されます（☞ 85ページ）。
イベント画面から新しい登録リクエストを選択します。

回答	意味
はい	相手のユーザーをコンタクトリストに追加する。
いいえ	登録リクエストを無視する。

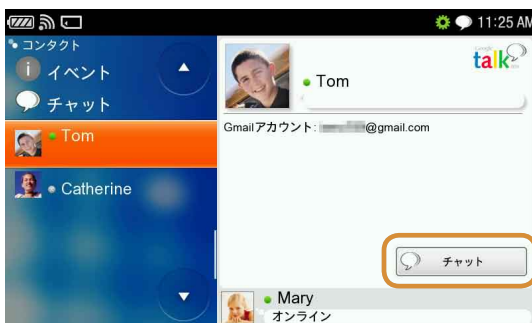
コンタクトを削除する

コンタクト画面で、コンタクトを選択し、OPTIONメニューから「削除」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

チャットを楽しむ

チャットを開始する

コンタクト画面で、チャットしたいコンタクトを選択し、「チャット」を選択します。

メッセージを送信する

メッセージ入力部に送信したいメッセージを入力し、Enterキーを押すと、相手にメッセージが送信されます。

ヒント

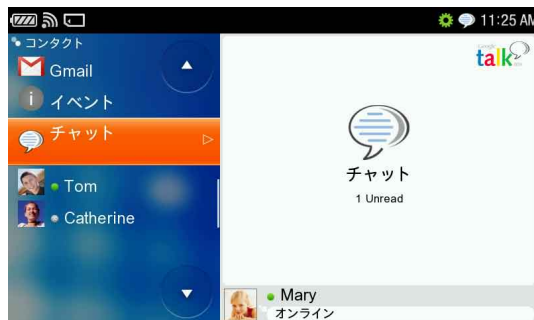
- 改行するときは、Fnキーを押してからEnterキーを押します。
- を押すと、チャット画面が全画面で表示され、チャットしている相手の画像が画面左に表示されます。
- チャット履歴にURLが表示されているときは、そのURLをタップするとWebが起動し指定したWebページが表示されます。
- チャット履歴の一部をコピーしたいときは、コピーしたい範囲をドラッグして反転させ、ポップアップメニューから「コピー」を選択します。

次のページにつづく

チャットに答える

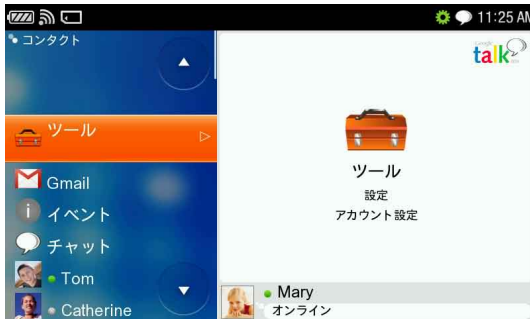
他のユーザーが新しくメッセージを送ってくると、 がステータスバーに表示されます（☞ 85ページ）。
チャット画面で、新しいチャットを選択します。

進行中のチャットを開く

コンタクト画面で、「チャット」を選択し、開きたいチャットを選択します。

チャットを終了する

チャット画面の ✕ を押します。

Google Talkの設定を変更する

コンタクト画面で、「ツール」を選択し、設定したい項目を選択します。

設定項目	設定内容
設定 - 一般設定	• 効果音：チェックすると、新しいイベントが起こったときアラームが鳴る。 • 曲タイトルの表示：チェックすると、再生している曲の情報が他のユーザーに公開される。 • タイムスタンプ：チェックすると、チャット中にメッセージを送信した時刻がメッセージごとに表示される。
設定 - 接続設定	• プロキシ：以下の設定をする画面が表示される。 　• プロキシ：プロキシの設定を以下から選択できる。＜自動 / 設定しない / プロキシを使用＞ 　• ホスト：Google Talkが使用する、プロキシサーバーのアドレスを設定する。 　• ポート：Google Talkが使用する、プロキシサーバーのポート番号を設定する。
アカウント設定	• アカウント管理ページへ：Webが起動し、アカウント設定のページを表示する。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Music

パソコンから音楽ファイルを転送する

対応音楽転送ソフト

以下のソフトウェアで音楽ファイルをパソコンから転送できます。
転送方法など詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- Windowsエクスプローラ（ドラッグ&ドロップ）
- Windows Media Player 10, 11
- SonicStage CP（SonicStage Ver.4.4）（付属）

対応フォーマット

- MP3
- ATRAC
- WMA
- AAC

ヒント
- 対応しているフォーマットについて詳しくは、「主な仕様」（☞ 245ページ）をご覧ください。

ご注意
- "メモリースティック デュオ"に保存されている著作権保護された音楽ファイルは、本機では再生できません。
- AACの拡張子は、「.m4a」と「.m4b」のみに対応しています。
- 本機は、インターネットの音楽ダウンロードサービスには対応していません。音楽ファイルは、必ずパソコンから転送してください。

USBモードを切り換える

本機をパソコンに接続する前に、音楽ファイルの転送に使うソフトウェアに合わせてUSBモードを設定します。

USB モード	ソフトウェア	転送先
MSC（Mass Storage Class）	SonicStage CP	内蔵メモリー
	Windowsエクスプローラ	内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"
MTP（Media Transfer Protocol）	Windowsエクスプローラ	内蔵メモリー
	Windows Media Player 10, 11	

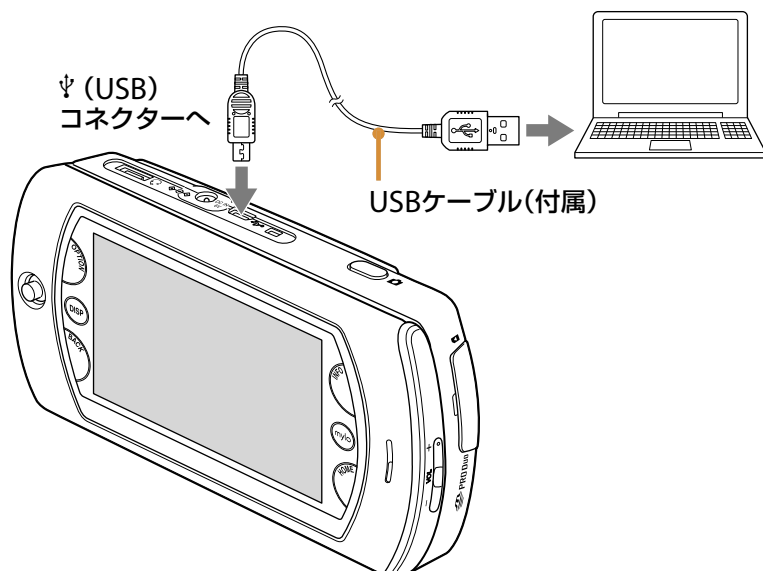
USBモードを切り換えるには、Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「USBモード」を選択します。
「USBモード」の ◯ を選択して ◉ にし、「MSC」または「MTP」を選択します。

次のページにつづく

本機をパソコンに接続する

USBケーブル(付属)で本機とパソコンを接続します。

パソコンとの接続中は、本機の液晶画面にUSB接続を示す画面が表示されます。
転送が終わったら、本機の画面に「USB接続を切らないでください」と表示されていないのを確認してからパソコンでハードウェアの安全な取り外しの操作を行い、本機からUSBケーブルをはずします。

ご注意

- パソコンとの接続中は、本機の操作はできません。
- 音楽ファイルの転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- USBケーブルで本機とパソコンが接続されているときは、本機のバッテリーを取り出さないでください。本機に保存されているデータが失われるおそれがあります。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。

次のページにつづく

Windowsエクスプローラを使う（ドラッグ&ドロップ）

Windowsエクスプローラ上のドラッグ&ドロップで、曲（音楽ファイル）を本機に転送できます。
音楽ファイルを転送する前に、本機のUSBモードを「MSC」に設定してから（☞ 92ページ）、パソコンに接続します（☞ 93ページ）。
音楽ファイルを転送するには、フォルダ階層の一番上に表示されている「MUSIC」フォルダへ、転送したい音楽ファイルをドラッグ&ドロップします。

ヒント

- 本機のUSBモードが「MSC」のとき、本機の内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”はリムーバブルディスクとして表示されます。

ご注意

- “メモリースティック デュオ”に音楽ファイルを転送するときは、あらかじめWindowsエクスプローラで“メモリースティック デュオ”上に「MUSIC」フォルダを作成してください。

Windows Media Player 10, 11を使う

Windows Media Playerを使って、パソコン上の曲（音楽ファイル）やプレイリストを、本機に転送できます。
音楽ファイルを転送する前に、本機のUSBモードを「MTP」に設定してから（☞ 92ページ）、パソコンに接続します（☞ 93ページ）。

音楽ファイルを転送するには、 Windows Media Playerを起動し、ウィンドウの上部にある「同期」をクリックして、右側のウィンドウで本機を選択します。
本機がPersonal Communicatorとして表示されるので、左側のウィンドウで、転送したい音楽ファイルを選択し、「同期の開始」をクリックします。

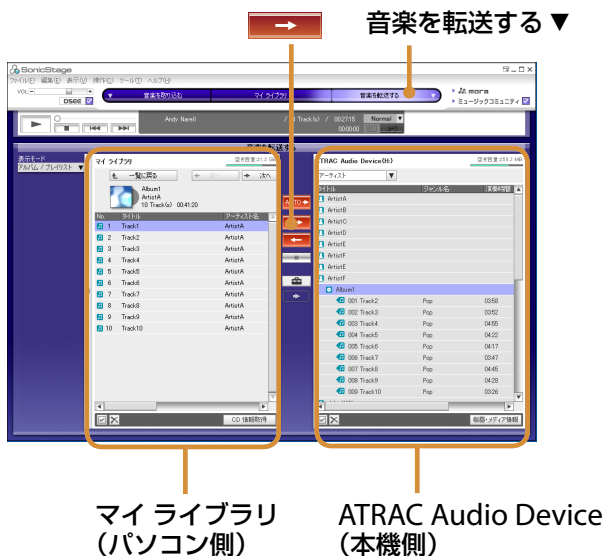
ヒント

- 転送された音楽ファイルは、「MUSIC」フォルダ内に保存されます（☞ 168ページ）。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

SonicStage CPを使う

SonicStage CPの「マイ ライブラリ」に保存されている曲（音楽ファイル）やプレイリストを、本機に転送できます。
音楽ファイルを転送する前に、本機のUSBモードを「MSC」に設定してから（☞ 92ページ）、パソコンに接続します（☞ 93ページ）。

音楽ファイルを転送するには、SonicStage CPを起動し、「音楽を転送する▼」にマウスを合わせて、プルダウンメニューから「ATRAC Audio Device」を選択します。
マイ ライブラリの転送したいアルバム／曲／プレイリストをクリックし、→ をクリックします。
転送が完了すると、そのアルバム／曲／プレイリストがATRAC Audio Deviceに表示されます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

保存フォルダについて

本機の内蔵メモリーと"メモリースティック デュオ"の保存フォルダは以下のとおりです。
音楽ファイルは、ファイルを転送するソフトウェアや機能によって、以下のように異なるフォルダに保存されます。

内蔵メモリーの保存フォルダについて

ソフトウェア／機能	保存先
SonicStage CP	「OMGAUDIO」フォルダ
Windows Media Player	「MUSIC」フォルダ＊
Windowsエクスプローラ	「MUSIC」フォルダ＊
Skypeのファイル転送機能	「DROPBOX」フォルダ
Webでのダウンロード	「DROPBOX」フォルダ

＊ 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図（☞ 168ページ）もご覧ください。

"メモリースティック デュオ"の保存フォルダについて

ソフトウェア／機能	保存先
Windowsエクスプローラ	「MUSIC」フォルダ＊

＊ 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図（☞ 169ページ）もご覧ください。

ご注意

- SonicStage CPを使って、本機に挿入した"メモリースティック デュオ"に音楽ファイルを転送することはできません。
- SonicStage CPを使って"メモリースティック デュオ"に転送した音楽ファイルは、本機では再生できません。

音楽ファイルを再生する

本機のスピーカー、またはヘッドセットで楽しめます。

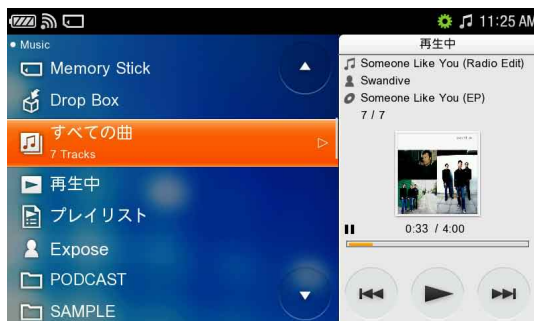
ヒント

- ヘッドセットをつながず、内蔵スピーカーで音楽を楽しむこともできます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

再生する曲を選択する

Homeメニューから「Music」を選択します。

以下のいずれかの項目を選択します。

選択項目	表示される曲
Memory Stick	"メモリースティック デュオ"の「MUSIC」フォルダに保存されているすべての曲
Drop Box	Skypeのファイル転送機能(☞ 75ページ)で転送され、内蔵メモリーの「DROPBOX」フォルダに保存されている曲
すべての曲	内蔵メモリーの対応フォルダに保存されているすべての曲
再生中	再生中の曲
プレイリスト	マイプレイリスト(☞ 101ページ)や、パソコンから転送されたプレイリストの曲
アーティスト名	SonicStage CPでパソコンから転送された、特定のアーティストの曲
フォルダ名	Windows Media PlayerやWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)でパソコンから転送された、特定のフォルダの曲
曲名	Windows Media PlayerやWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)でパソコンから転送された曲
PODCAST	RSS/Podcastで取得され、内蔵メモリーの「MUSIC」フォルダ内の「PODCAST」フォルダに保存されている曲

再生したいアルバムやフォルダ、プレイリスト、または「すべての曲」をフォーカスし、キーボードの ►II を押すか、再生したい曲を選択すると再生が始まります。

ヒント

- 選択した項目によって、再生する曲が決まります(☞ 100ページ)。

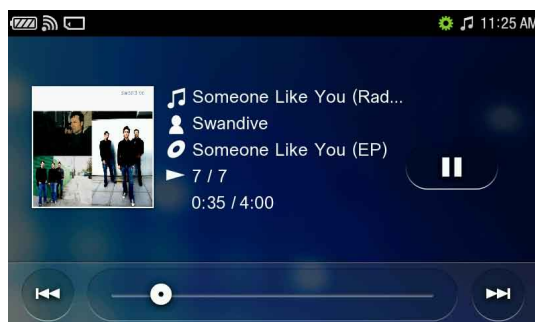
ご注意

- Podcast(音声)コンテンツは、RSS/Podcastで「Musicプレーヤーに登録」を行い、Musicを起動し直すなどの方法でAVデータベースを更新しないと、リストに表示されません。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

再生画面について

再生画面では、再生中の曲の情報が表示されます。

ヒント

- 他のアプリケーションを使用中でも、INFOパネルを開くと再生中の曲情報が表示されます。

基本操作

こんなときは	タッチパネル操作
再生する	► を押す。前回停止した場所から再生が始まります。
一時停止する	❚❚ を押す。
音量を調節する	本機の右側にあるVOL +/－ボタンを押す。
再生中の曲の先頭に戻る	⏮ を押す。
前の曲の先頭に戻る	希望の曲になるまで何度か ⏮ を押す。
次の曲の先頭に進む	⏭を押す。
先の曲の先頭に進む	希望の曲になるまで何度か ⏭を押す。
早戻しする	⏮ を押したままにする。
早送りする	⏭を押したままにする。

ヒント

- キーボードやオペレーションキーでも操作できます。

ご注意

- キーボード上の ⏮、►❚❚、⏭ は、「Music」が起動していない状態では無効です。

再生を再開するには

前回停止した曲のサムネイルが、画面右側に表示されます。

再生を再開するには、► を押します。

ご注意

- リジュームは、他の曲を再生したり、電源を切ったりすると解除されます。“メモリースティック デュオ”に保存されている曲の場合は、“メモリースティック デュオ”を抜いても解除されます。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

再生モード(再生方法)を変える

OPTIONメニューから「再生モード」を選択します。
再生モード(再生方法)を以下から選択します。
＜ノーマル / リピート / 1曲リピート / シャッフルリピート＞

音質を変える(イコライザー)

OPTIONメニューから「イコライザー」を選択します。
プリセットサウンド設定またはカスタムサウンド設定を以下から選択します。
＜Off / Rock / Pop / Jazz / R&B / Classical / Electronic / Bass Boost 1 / Bass Boost 2 / カスタム1 / カスタム2＞

「カスタム1」か「カスタム2」を選択するとカスタムイコライザーが表示されます。
各周波数のバーを動かし、サウンドレベルを設定したあと、「OK」を選択します。

再生する曲の範囲

フォーカスされている項目によって、再生する曲が変わります。

フォーカスされている項目	再生範囲
(Memory Stick)	"メモリースティック デュオ"の「MUSIC」フォルダ内に保存されているすべての曲
(Drop Box)	「Drop Box」内の全曲
(すべての曲)	内蔵メモリーに保存されているすべての曲
(プレイリスト)	そのプレイリストの全曲
(アーティスト名) ／ アーティストフォルダ内の (All)	そのアーティストの全曲
アーティストフォルダ内の (アルバム名)	そのアルバムの全曲
(フォルダ名)	そのフォルダ内の全曲
(フォルダ内の曲)	そのフォルダの全曲
(第1階層の曲)	第1階層に見えている全曲

ご注意

- 内蔵メモリーと"メモリースティック デュオ"に保存されている曲は、同じ再生範囲には含まれません。
- と は、アーティスト情報を持つ音楽データを、SonicStage CPを使って転送したときのみ表示されます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Musicのプレイリストを作成する

「マイプレイリスト」とは、本機上で作成するプレイリストのことで、本機の内蔵メモリーに保存されている曲を登録/削除できます。

ヒント
- その他のプレイリストは、パソコンから転送します。

再生中の曲をマイプレイリストへ追加するには

再生画面で、OPTIONメニューから「マイプレイリストへ追加」を選択します。

一覧画面からマイプレイリストへ追加するには

一覧の中にある曲をフォーカスし、OPTIONメニューから「マイプレイリストへ追加」を選択します。

マイプレイリストから削除するには

削除する曲をフォーカスしてOPTIONメニューから「削除」を選択するか、OPTIONメニューから「選択削除」を選択して削除する曲を選択します。

ご注意
- 選択した曲は、マイプレイリストからは削除されますが、ファイルそのものは内蔵メモリーからは削除されません。ファイルそのものを削除したいときは、本機をパソコンと接続し、音楽ファイルの管理に使っているソフトウェアで削除してください。
- "メモリースティック デュオ"に保存されている曲はマイプレイリストには登録できません。

マイプレイリストを再生する

Homeメニューから「Music」を選択し、「プレイリスト」を選択して、「マイプレイリスト」を選択します。

曲を選択すると再生が始まります。

Photo

パソコンから画像ファイルを転送する

対応フォーマット

- JPEG
- PNG
- BMP

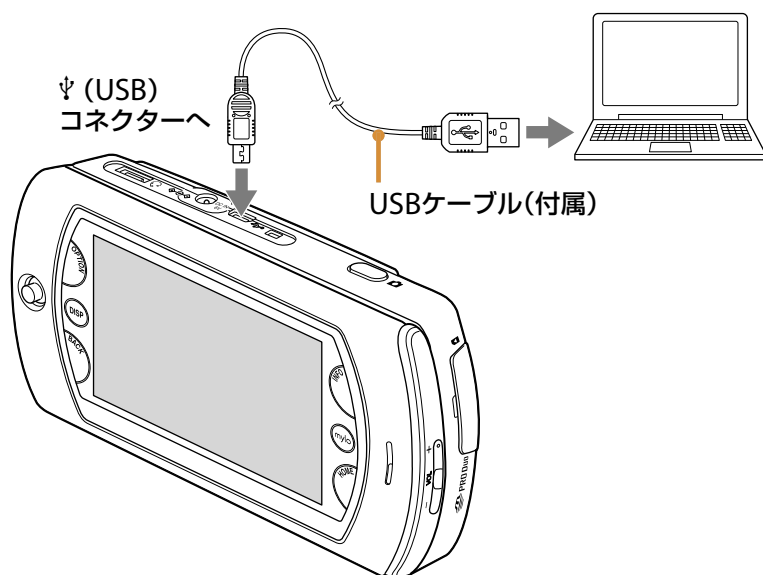
USBモードを切り換える

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択します。
「USBモード」で「MSC」を選択します。

本機をパソコンに接続する

USBケーブル(付属)で本機とパソコンを接続します。

パソコンとの接続中は、本機の液晶画面にUSB接続を示す画面が表示されます。
転送が終わったら、本機の画面に「USB接続を切らないでください」と表示されていないのを確認してからパソコンでハードウェアの安全な取り外しの操作を行い、本機からUSBケーブルをはずします。

ご注意

- パソコンとの接続中は、本機の操作はできません。
- 画像ファイルの転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- USBケーブルで本機とパソコンが接続されているときは、本機のバッテリーを取り出さないでください。本機に保存されているデータが失われるおそれがあります。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Windowsエクスプローラを使う(ドラッグ&ドロップ)

Windowsエクスプローラ上のドラッグ&ドロップで、画像ファイルを本機に転送できます。
画像ファイルを転送するには、フォルダ階層の一番上に表示されている「PICTURE」フォルダへ、転送したい画像ファイルをドラッグ&ドロップします。

ご注意

- “メモリースティック デュオ”に画像ファイルを転送するときは、あらかじめWindowsエクスプローラで“メモリースティック デュオ”上に「PICTURE」フォルダを作成してください。

保存フォルダについて

本機の内蔵メモリーと“メモリースティック デュオ”の保存フォルダは以下のとおりです。
画像ファイルは、ファイルを転送するソフトウェアや機能によって、以下のように異なるフォルダに保存されます。

内蔵メモリーの保存フォルダについて

ソフトウェア/機能	保存先
Windowsエクスプローラ	「PICTURE」フォルダ *
Skypeのファイル転送機能	「DROPBOX」フォルダ
Webでのダウンロード	
本機での撮影	「DCIM」フォルダ

* 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図(☞ 168ページ)もご覧ください。

“メモリースティック デュオ”の保存フォルダについて

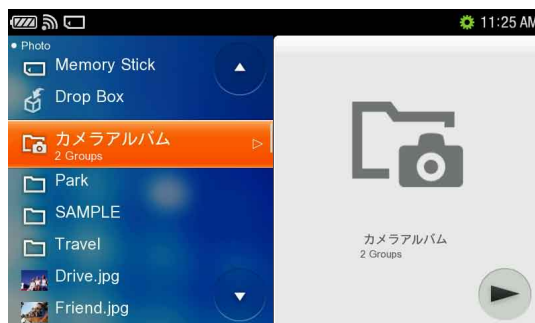
ソフトウェア/機能	保存先
Windowsエクスプローラ	「PICTURE」フォルダ *
本機や他のデジタルカメラでの撮影	「DCIM」フォルダ

* 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図(☞ 169ページ)もご覧ください。

画像ファイルを表示する

表示する画像を選択する

Homeメニューから「Photo」を選択します。

以下のいずれかの項目を選択します。

選択項目	表示される画像
編集中のファイル	編集中の画像
Memory Stick	“メモリースティック デュオ”に保存されている画像
Drop Box	Skypeのファイル転送機能（☞ 75ページ）を使って受信したり、Webでダウンロードしたりして、内蔵メモリーの「DROPBOX」フォルダに保存されている画像
カメラアルバム	本機で撮影した画像
フォルダ名	Windowsエクスプローラ（ドラッグ&ドロップ）でパソコンから転送された、特定のフォルダ
ファイル名	Windowsエクスプローラ（ドラッグ&ドロップ）でパソコンから転送された画像

フォルダをフォーカスし、▶を押すと、スライドショーが始まります。

ヒント

- JPEG形式は最大700万画素（3,072 × 2,304）まで、PNG形式／ BMP形式は最大500万画素（2,560 × 1,920）まで対応しています。

ご注意

- ファイルサイズが5MB以上の画像には対応していません。
- 本機が対応している画素数の画像でも、使用状況や設定により表示できない場合があります。

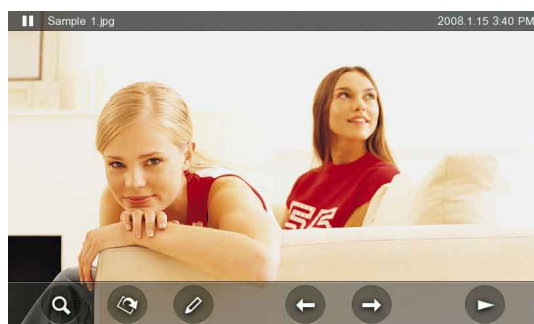
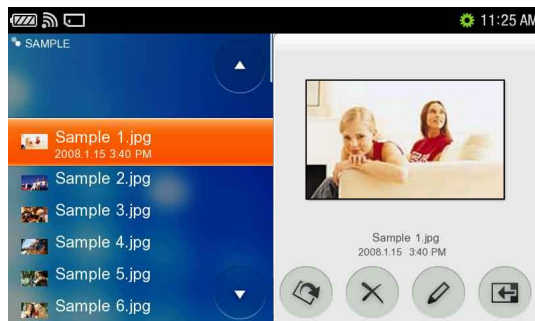
次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

基本操作

画面によって表示されるボタンは異なります。

ヒント

- OPTIONメニューからも同様の操作ができます。

ボタン	意味
	スライドショー（連続再生）をする（☞ 105ページ）。 画面の中央を押すと、スライドショーが終了する。 BACKボタンを押すと、リスト画面に戻る。
	画面を右に90度回転する。 **ご注意** • 表示画面で、Exif情報が存在するJPEGファイルを回転した場合は、Exif情報のみを書き換えます。（画像ファイル自体は変更されません。）
	画像を削除する。
	画像を編集する（☞ 108ページ）。
	全画面表示する。
/	前／次の画像を表示する。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

ボタン	意味
(虫眼鏡アイコン)	画像を拡大／縮小表示する。

ボタン	意味
(拡大アイコン)	画像を拡大表示する。
(縮小アイコン)	画像を縮小表示する。
(全画面アイコン)	画像を拡大または縮小して、画面いっぱいに表示する。
(原寸アイコン)	オリジナルの大きさで画像を表示する。 画面より小さい画像は余白に黒帯が入った状態、画面より大きな画像ははみ出した状態で、画面の中央に画像が表示される。

画像ファイルを並べ換えるには

一覧画面で、OPTIONメニューから「並べ替え」や「日付でグループ化」を選択し、並べ換えかたを選択します。

ヒント

- 「日付でグループ化」は、カメラアルバムを選んでいるときにのみ表示されます。

画面表示モードを切り換える

DISP（ディスプレイ）ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。
リスト画面を表示しているときはサムネイル画面に、サムネイル画面を表示しているときはリスト画面に切り替わります。
画像を表示しているときは、操作ボタンの表示／非表示が切り替わります。

画像をマイピクチャーリストに追加する

SkypeやGoogle Talkのプロフィール用の画像やMy Contacts Widget（☞ 42ページ）用の画像を追加できます。
画像をマイピクチャーリストに追加するには、追加したい画像を表示している画面で、OPTIONメニューから「マイピクチャー一覧に追加」を選択します。

画像を壁紙リストに追加する

画像を壁紙リストに追加するには、追加したい画像を表示している画面で、OPTIONメニューから「壁紙に設定」を選択します。

ヒント

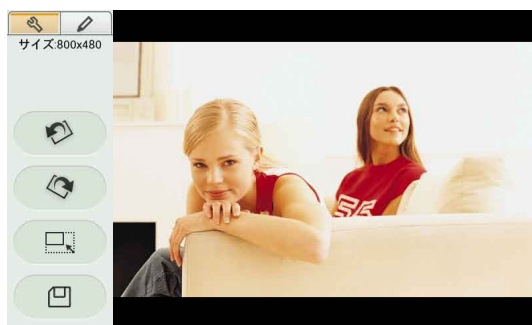
- 拡大表示すると、その状態のままマイピクチャーや壁紙のリストに登録できます。
- 画像を壁紙に設定する方法は、☞ 137ページをご覧ください。
- 本機で撮影した写真をそのまま壁紙に設定すると、左右に黒い帯がでます。OPTIONメニューから「表示モード」を選択し、「フルスクリーン表示」を選択したあと壁紙に設定してください。

画像ファイルを編集する

画像を表示している画面で [編集] を選択すると、その画像ファイルを編集する画面が表示されます。

ヒント

- ツールバーを切り換えるときは、画面左上の [ツール] または [編集] を押すか、DISP（ディスプレイ）ボタンを押してください。

エディットツールバー

ボタン	意味
[左回転]	画像を左に90度回転する。
[右回転]	画像を右に90度回転する。
[サイズ変更]	画像サイズを変更する。
[保存]	編集した画像を保存する。 **ご注意** • 編集画面で保存したファイルには、Exif情報は書き込まれません。

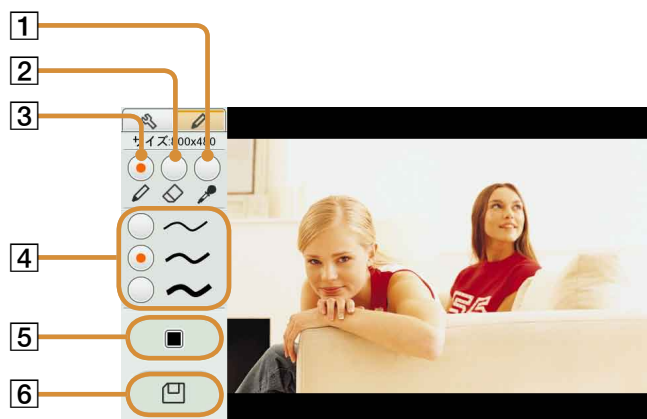
ヒント

- 表示画面（☞ 106ページ）で画像を回転させると、Exif情報のみが変わり、画像ファイル自体は回転しませんが、この編集画面で画像を回転させると、画像ファイル自体が回転します。

ご注意

- SXGA（1,280×1,024）より大きい画像は編集できません。

次のページにつづく

ペイントツールバー

画像の上でスタイラスを動かすと、下記で設定したペンの太さや色で画像に書き込みができます。

	意味
1	ペンの色を触れた部分の色にする。
2	画像の上でスタイラスを動かし、画像に書き込んだ線を消す。
3	画像の上でスタイラスを動かし、画像に線を書き込む。
4	ペンや消しゴムの太さを変更する。
5	カラーパレットを表示し、ペンの色を変更する。
6	編集した画像を保存する。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Video

パソコンからビデオファイルを転送する

対応フォーマット

- MPEG-4
- AVC（Baseline Profile）
- WMV

ヒント
- 対応しているフォーマットについて詳しくは、「主な仕様」（☞ 244ページ）をご覧ください。
- 拡張子は「.mp4」「.wmv」に対応しています。
- データの種類によっては再生できないものがあります。
- パソコンからの転送には、Image Converter 2以降（別売）の使用を推奨します。

ご注意
- Image Converter 2とImage Converter 2 plusは、AVC（Baseline Profile）に対応していません。AVC（Baseline Profile）で転送するときは、Image Converter 3をお使いください。

USBモードを切り換える

本機をパソコンに接続する前に、ビデオファイルの転送に使うソフトウェアに合わせてUSBモードを設定します。

USB モード	ソフトウェア	転送先
MSC（Mass Storage Class）	Image Converter 2以降	内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”
	Windowsエクスプローラ	
MTP（Media Transfer Protocol）	Windowsエクスプローラ	内蔵メモリー
	Windows Media Player 10, 11	

USBモードを切り換えるには、Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「USBモード」を選択します。
「USBモード」の ◯ を選択して ◉ にし、「MSC」または「MTP」を選択します。

次のページにつづく

目次 mylo Widget Web RSS/Podcast Skype Google Talk Music Photo Video Camera Tools 索引

本機をパソコンに接続する

USBケーブル（付属）で本機とパソコンを接続します。

パソコンとの接続中は、本機の液晶画面にUSB接続を示す画面が表示されます。
転送が終わったら、本機の画面に「USB接続を切らないでください」と表示されていないのを確認してからパソコンでハードウェアの安全な取り外しの操作を行い、本機からUSBケーブルをはずします。

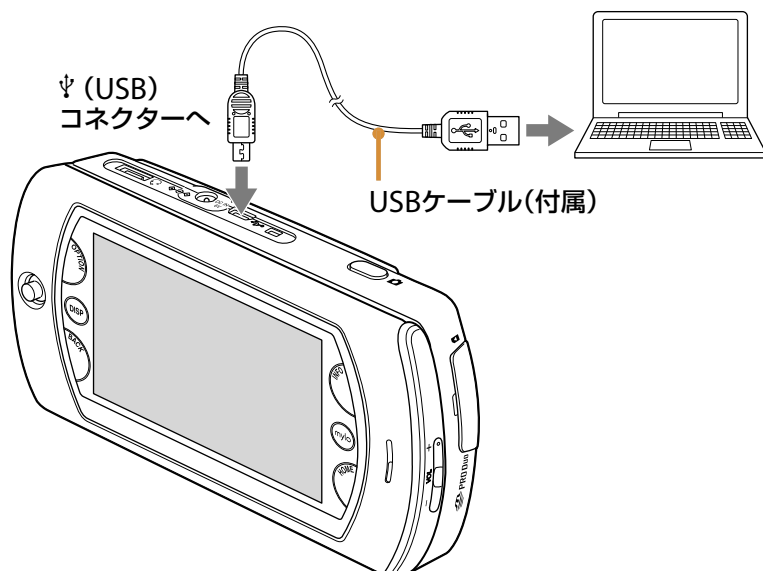
ご注意

- パソコンとの接続中は、本機の操作はできません。
- ビデオファイルの転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- USBケーブルで本機とパソコンが接続されているときは、本機のバッテリーを取り出さないでください。本機に保存されているデータが失われるおそれがあります。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。

Image Converterを使う

Image Converter 2以降（別売）を使って、パソコン上のビデオファイルを本機に適したフォーマットに変換してから（☞ 244ページ）、本機の内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”に転送できます。

ヒント

- 転送されたビデオファイルは、「MP_ROOT」フォルダ内に保存されます（☞ 168、169ページ）。

次のページにつづく

Windows Media Player 10, 11を使う

Windows Media Playerを使って、パソコン上のビデオファイルやプレイリストを、本機に転送できます。
ビデオファイルを転送する前に、本機のUSBモードを「MTP」に設定してから（☞ 111ページ）、パソコンに接続します（☞ 112ページ）。

ビデオファイルを転送するには、Windows Media Playerを起動し、ウィンドウの上部にある「同期」をクリックして、右側のウィンドウで本機を選択します。
本機がPersonal Communicatorとして表示されるので、左側のウィンドウで、転送したいビデオファイルを選択し、「同期の開始」をクリックします。

ヒント

- 転送されたビデオファイルは、「VIDEO」フォルダ内に保存されます（☞ 168ページ）。

Windowsエクスプローラを使う（ドラッグ&ドロップ）

Windowsエクスプローラ上のドラッグ&ドロップで、拡張子が「.mp4」または「.wmv」のビデオファイルを本機に転送できます。
ビデオファイルを転送する前に、本機のUSBモードを「MSC」に設定してから（☞ 111ページ）、パソコンに接続します（☞ 112ページ）。
ビデオファイルを転送するには、フォルダ階層の一番上に表示されている「VIDEO」フォルダへ、転送したいビデオファイルをドラッグ&ドロップします。

ヒント

- 本機のUSBモードが「MSC」のとき、本機の内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”はリムーバブルディスクとして表示されます。

ご注意

- 拡張子が「.mp4」「.wmv」のビデオファイルでも、再生できない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”にビデオファイルを転送するときは、あらかじめWindowsエクスプローラで“メモリースティック デュオ”上に「VIDEO」フォルダを作成してください。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

保存フォルダについて

本機の内蔵メモリーと“メモリースティック デュオ”の保存フォルダは以下のとおりです。
ビデオファイルは、ファイルを転送するソフトウェアや機能によって、以下のように異なるフォルダに保存されます。

内蔵メモリーの保存フォルダについて

ソフトウェア／機能	保存先
Image Converter 2以降	「MP_ROOT」フォルダ
Windows Media Player	「VIDEO」フォルダ *
Windowsエクスプローラ	「VIDEO」フォルダ *
Skypeのファイル転送機能	「DROPBOX」フォルダ
Webでのダウンロード	「DROPBOX」フォルダ

* 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図（☞ 168ページ）もご覧ください。

“メモリースティック デュオ”の保存フォルダについて

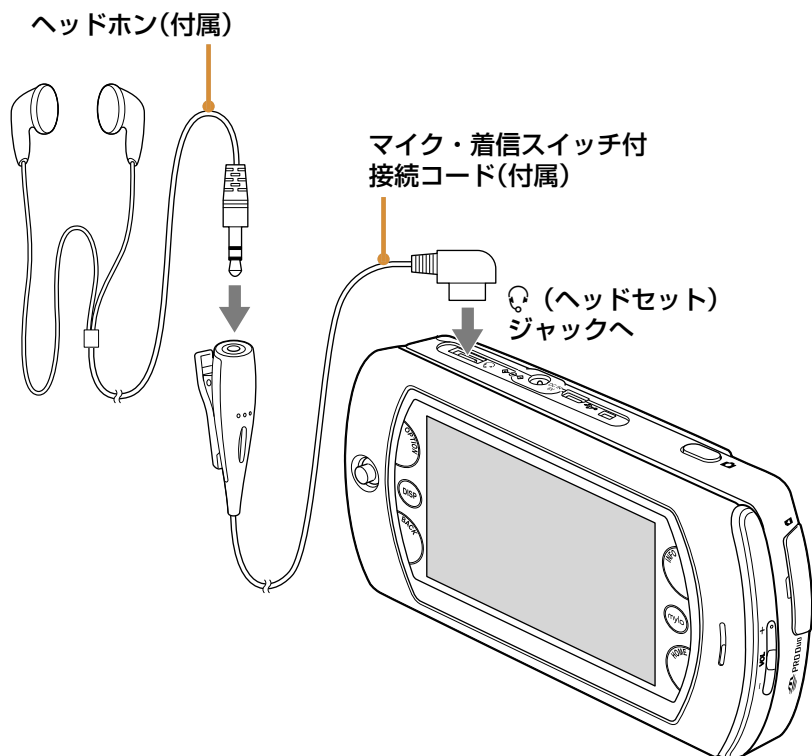
ソフトウェア／機能	保存先
Image Converter 2以降	「MP_ROOT」フォルダ
Windowsエクスプローラ	「VIDEO」フォルダ *

* 5階層までのサブフォルダに対応します。

フォルダ構成図（☞ 169ページ）もご覧ください。

ビデオファイルを再生する

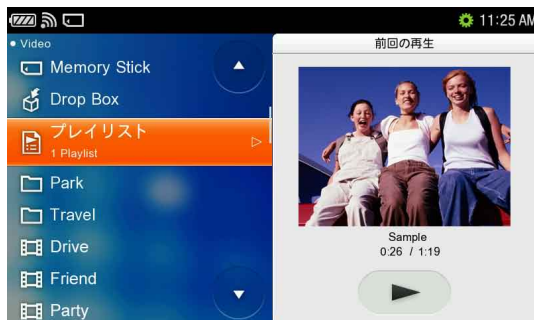
音声は、本機のスピーカー、またはヘッドセットで聞くことができます。

ヒント

- ヘッドセットをつながず、内蔵スピーカーでビデオの音声を楽しむこともできます。

再生するビデオを選択する

Homeメニューから「Video」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

以下のいずれかの項目を選択します。

選択項目	表示されるビデオ
Memory Stick	"メモリースティック デュオ"の対応フォルダに保存されているビデオ
Drop Box	Skypeのファイル転送機能(☞ 75ページ)で転送されたり、Webでダウンロードしたりして、内蔵メモリーの「DROPBOX」フォルダに保存されているビデオ
プレイリスト	マイプレイリスト(☞ 118ページ)や、パソコンから転送されたプレイリストのビデオ
フォルダ名	Windows Media PlayerやWindowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)でパソコンから転送された、特定のフォルダのビデオ
タイトル	Image Converter 2以降、Windows Media Player、Windowsエクスプローラ(ドラッグ&ドロップ)でパソコンから転送されたビデオ

基本操作

ビデオ再生には、以下の2つのモードがあります。
モードを切り換えるには、OPTIONメニューから「操作モード」を選択します。
- モードA:テレビ番組や映画など、長いビデオに適しています。
- モードB:連続再生するため、ミュージックビデオなど短いビデオに適しています。

こんなときは	操作
再生する	ビデオファイルを選択する。▶ が付いている場合、前回停止した場所から再生が始まる。 モードAでは、再生中のビデオが終わると、再生が一時停止する。モードBでは、再生中のビデオが終わると、次のビデオの再生が始まる。
一時停止する	オペレーションキーを押す。
音量を調節する	VOL +/−ボタンを押す。(全画面表示のときは、オペレーションキーを上下に傾けても、操作できる。)
早送りする	モードA:オペレーションキーを右に傾ける。 モードB:オペレーションキーを右に傾けたままにする。
次のビデオを頭出しする	モードA:キーボードの「M」キーを押す。 モードB:キーボードの「M」キーを押すか、オペレーションキーを右に傾ける。
早戻しする	モードA:オペレーションキーを左に傾ける。 モードB:オペレーションキーを左に傾けたままにする。
再生中のビデオ/前のビデオの頭出しをする	モードA:キーボードの「N」キーを押す。 モードB:キーボードの「N」キーを押すか、オペレーションキーを左に傾ける。

次のページにつづく ⟶

こんなときは	操作
5分後にジャンプする	キーボードの「L」キーを押す。
5分前にジャンプする	キーボードの「K」キーを押す。
前方にスキップ（＋約30秒の位置に移動）する	キーボードの「P」キーを押す。
後方にスキップ（－約30秒の位置に移動）する	キーボードの「O」キーを押す。
一覧に戻る	BACKボタンを押す。
スロー再生する	再生一時停止中にオペレーションキーを右に傾ける。

ヒント

- キーボードの ⏮、▶II、⏭ などを使って操作することもできます。

再生を再開するには

前回停止したビデオのサムネイルが、画面右側に表示されます。
再生を再開するには、► を押します。

ヒント

- ビデオファイル一覧で、前回停止したビデオに ▮▶▮ が表示されます。

ご注意

- リジュームは、他のビデオを再生したり、電源を切ったりすると解除されます。“メモリースティック デュオ”に保存されているビデオの場合は、“メモリースティック デュオ”を抜いても解除されます。

画面表示モードを切り換えるには

DISP（ディスプレイ）ボタンを押すと、以下のように画面の表示が切り替わります。

ノーマル ➡ ワイド* ➡ 操作ボタン表示（➡ ノーマル）

* OPTIONメニューの「表示モード」で「拡大」を選択していて、ビデオの幅と高さの比が3：2より縦長のときのみ有効です。

ビデオファイルを削除するには

OPTIONメニューから「削除」を選択します。

ヒント

- ビデオファイルをフォーカスした状態か再生中に、OPTIONメニューから「プロパティ」を選択すると、ビデオの詳細情報が表示されます。
- OPTIONメニューの「表示モード」で「オリジナル」を選択すると、オリジナルの大きさで表示し、「拡大」を選択すると、ウィンドウに合わせた大きさで表示します。
- 全画面表示中に、OPTIONメニューから「ジャンプ」を選択すると、選択した内容に合わせてジャンプします。
- OPTIONメニューから「音声設定」を選択すると、「主＋副（ステレオ）」、「主音声（左）」、「副音声（右）」が選べます。

Videoのプレイリストを作成する

「マイプレイリスト」とは、本機上で作成するプレイリストのことで、本機の内蔵メモリーに保存されているビデオを登録/削除できます。

ヒント

- その他のプレイリストは、パソコンから転送します。

再生中のビデオをマイプレイリストへ追加するには

ビデオ再生画面で、OPTIONメニューから「マイプレイリストへ追加」を選択します。

一覧画面からマイプレイリストへ追加するには

ビデオ一覧やプレイリストから、追加したいビデオをフォーカスし、OPTIONメニューから「マイプレイリストへ追加」を選択します。

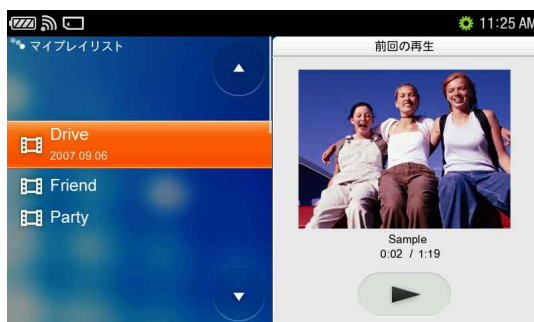
マイプレイリストから削除するには

削除するビデオをフォーカスしてOPTIONメニューから「削除」を選択するか、OPTIONメニューから「選択削除」を選択して削除するビデオを選択します。

ご注意

- 選択したビデオは、マイプレイリストからは削除されますが、ファイルそのものは内蔵メモリーから削除されません。ファイルそのものを削除したいときは、削除するファイルをビデオ一覧でフォーカスし、OPTIONメニューから「削除」を選択します。
- "メモリースティック デュオ"に保存されているビデオはマイプレイリストには登録できません。

マイプレイリストを再生する

Homeメニューから「Video」を選択し、「プレイリスト」を選択して、「マイプレイリスト」を選択します。

ビデオを選択すると再生が始まります。

ヒント

- 操作モードを「モードB」に設定すると、プレイリストに登録されているビデオを連続再生できます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Camera

撮影する

Homeメニューから「Camera」を選択し、カメラ画面を表示させます。
レンズを被写体に向け、液晶画面を見ながらシャッターボタンを押します。
撮影した写真が右下にサムネイル表示されます。

ヒント
- シャッターボタンを長押しすることでもカメラ画面を表示できます。
- シャッターボタンの代わりにオペレーションキーを押すことでも撮影できます。
- 撮影した写真は、保存先として指定した内蔵メモリー／"メモリースティック デュオ"の「DCIM」フォルダの中に保存されます。

ご注意
- スピーカーから出るシャッター音は消せません。
- 手振れにご注意ください。本機が動かないようにしっかり持って撮影してください。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画面が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。

撮影をする前に

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

ズーム、露出補正を調節する

ズーム、露出補正の調節は、カメラ画面で行います。

ヒント
- 近接撮影（マクロ撮影）をするときは、マクロスイッチを に合わせます（☞ 14ページ）。

ズーム画面

露出補正画面が表示されているときは、DISP（ディスプレイ）ボタンを押します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ボタン		意味
ズーム	1 （望遠）	ズームの倍率を大きくする。
	2 （広角）	ズームの倍率を小さくする。
クイックレビュー	3	クイックレビュー画像が表示される（☞ 123ページ）。

ヒント

- ズームの調節は、オペレーションキーを上下に傾けることでも行えます。

露出補正画面

ズーム画面が表示されているときは、DISP（ディスプレイ）ボタンを押します。

ボタン		意味
露出補正	1	露出を＋方向に補正する。
	2	露出を－方向に補正する。
クイックレビュー	3	クイックレビュー画像が表示される（☞ 123ページ）。

ヒント

- 露出補正の調節は、オペレーションキーを左右に傾けることでも行えます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

設定を変更する

カメラ画面で、OPTIONメニューから以下の項目を選択します。

項目	意味 / 設定項目
撮影モード	画像サイズと画質(圧縮率)を以下から選択できる。 <1280 x 1024ドット(SXGA)高画質モード / 1280 x 1024ドット(SXGA) / 640 x 480ドット(VGA)高画質モード / 640 x 480ドット(VGA) / 320 x 240ドット(QVGA)>
ホワイトバランス	ホワイトバランスの設定を以下から選択できる。 <オート / 太陽光 / 曇天 / 蛍光灯 / 電球>
保存先	撮影した画像の優先保存先を以下から選択できる。 <Memory Stick / 内蔵メモリー>
シャッター音	シャッター音を以下から選択できる。 <シャッター音1 / シャッター音2 / シャッター音3>
オートレビュー	オートレビューするかどうか選択する。 <On / Off>

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

撮影した画像を見る

カメラ画面で、右下のサムネイルを押すと、クイックレビュー画面に切り替わり、サムネイル表示されていた写真が表示されます。

ボタン	意味
(Photoボタン)	Photoが起動し、クイックレビュー画面で表示中の画像を表示する（☞ 106ページ）。
×	表示されている画像を削除する。
(カメラボタン)	カメラ画面に戻る。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Tools

ファイルマネージャー – ファイルを操作する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「ファイルマネージャー」を選択します。

「内蔵メモリー」または「Memory Stick」を選択し、ファイルまたはフォルダをフォーカスして、「コピー」「移動」「削除」「開く」のいずれかを選択します。
ファイルがフォーカスされているときに「開く」を選択すると、そのファイルに関連づけられているアプリケーションが起動して、ファイルが開きます。

ご注意

- 本機のアプリケーションに関連づけられていないファイルは開けません。
- Skypeのファイル転送機能を使って受信したり、Webでダウンロードしたりした音楽ファイルは、Musicのファイルリストに表示されないことがあります。その場合は、Musicを起動し直すなどの方法でAVデータベースを更新してください。

ヒント

- mylo Widgetファイルを開くと、Widgetインストーラーが起動し、mylo Widgetをインストールできます（☞ 39ページ）。

リネーム／フォルダの作成をするには

OPTIONメニューからそれぞれの機能を選択します。

ご注意

- 本機ではファイルの拡張子は変更できません。

複数のファイルやフォルダを選択するには

「複数選択」を選択し、ファイルやフォルダを選択してチェックし、「コピー」「移動」「削除」のいずれかを選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

Drop Box ー ダウンロードしたファイルの保存先

ダウンロードしたり、転送したりしたファイルを確認するには、Homeメニューから「Tools」を選択し、「Drop Box」を選択します。
ファイル操作については、ファイルマネージャーをご覧ください(☞ 125ページ)。

テキストメモ – テキストファイルを作成／表示する

テキストファイルを作成する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「テキストメモ」を選択して、「新規作成」を選択します。

テキストの編集が終わったら、OPTIONメニューから「名前を付けて保存」または「保存」を選択して、テキストファイルを保存します。

パソコンからテキストファイルを転送する

USBモードを切り換える

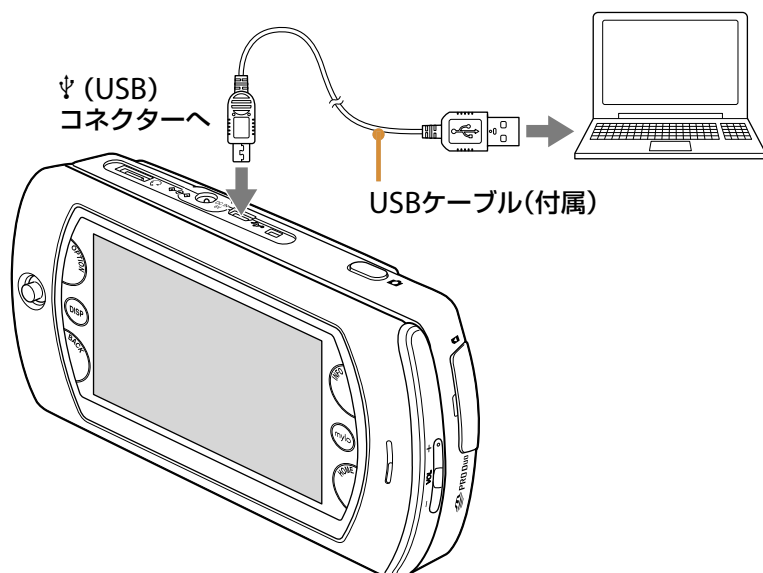
Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択します。
「USBモード」で「MSC」を選択します。

本機をパソコンに接続する

USBケーブル（付属）で本機とパソコンを接続します。

次のページにつづく

パソコンとの接続中は、本機の液晶画面にUSB接続を示す画面が表示されます。
転送が終わったら、本機の画面に「USB接続を切らないでください」と表示されていないのを確認してからパソコンでハードウェアの安全な取り外しの操作を行い、本機からUSBケーブルをはずします。

ご注意

- パソコンとの接続中は、本機の操作はできません。
- テキストファイルの転送中は、USBケーブルを抜かないでください。
- USBケーブルで本機とパソコンが接続されているときは、本機のバッテリーを取り出さないでください。本機に保存されているデータが失われるおそれがあります。
- USBハブを経由した接続には対応していません。USBケーブルは直接パソコンに接続してください。

Windowsエクスプローラを使う（ドラッグ&ドロップ）

Windowsエクスプローラ上のドラッグ&ドロップで、テキストファイル（.txt）を本機に転送できます。
テキストファイルを転送するには、フォルダ階層の一番上に表示されている「DOCUMENT」フォルダへ、転送したいテキストファイルをドラッグ&ドロップします。

ヒント

- 本機のUSBモードが「MSC」のとき、本機の内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”はリムーバブルディスクとして表示されます。

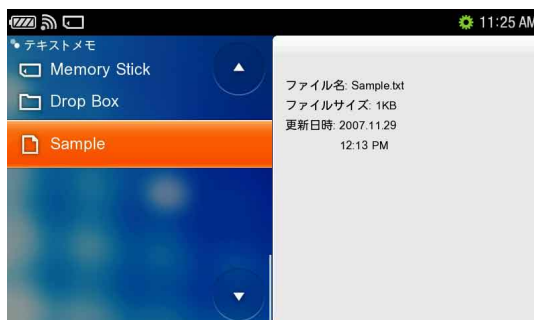
ご注意

- “メモリースティック デュオ”にテキストファイルを転送するときは、あらかじめWindowsエクスプローラで“メモリースティック デュオ”上に「DOCUMENT」フォルダを作成してください。
- テキストメモで開けるのは、拡張子が「.txt」のテキストファイルのみです。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

テキストファイルを開く

Homeメニューから「Tools」を選択し、「テキストメモ」を選択して、テキストファイルを選択します。

テキストファイルを選択するとテキストが表示されます。

ヒント

- 開いたファイルが文字化けなどで正しく表示されない場合は、OPTIONメニューから「文字コード」を選択してみてください。

ご注意

- 編集後は文字コードの変更はできません。

他のユーザーから転送されたテキストファイルを表示する（Drop Box）

Skypeのファイル転送機能を使って受信したテキストファイルや、Webでダウンロードしたテキストファイルを表示するには、一覧画面で「Drop Box」を選択します。
テキストファイルを選択するとテキストが表示されます。

ご注意

- Webで「DROPBOX」フォルダや「DOCUMENT」フォルダ以外にダウンロードしたテキストファイルは、テキストメモのリストには表示されません。ファイルマネージャーを使って選択してください。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ネットワーク設定 ー ワイヤレスネットワーク接続の設定を変更する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「ネットワーク設定」を選択して、設定したい項目を選択します。

設定項目	設定内容
ワイヤレス接続	フォーカスすると、接続中のワイヤレスネットワークの表示名が、画面の右側に表示される。 選択すると、ワイヤレス接続画面が表示される（☞ 下記）。
詳細設定	• 省電力モード：チェックすると、消費電力を抑える。
現在の接続状態	接続しているワイヤレスネットワークの表示名が表示される。 • 暗号化方式：接続しているワイヤレスネットワークの暗号化の種類が表示される。 • IPアドレス：接続しているワイヤレスネットワークのIPアドレス、DNSアドレス、ゲートウェイアドレスが表示される。 • MACアドレス：本機のMACアドレスが表示される。

ワイヤレス接続画面

ヒント

• ワイヤレス接続画面は、INFOパネルから「ワイヤレス接続」を選択することでも表示できます。

次のページにつづく

設定項目／ボタン	設定内容／意味
スキャン	表示されているワイヤレスネットワークの一覧を最新の状態に更新する。
手動登録	新しいワイヤレスネットワークを登録する。
閉じる	ワイヤレス接続画面を閉じる。

ワイヤレスネットワークの設定方法は、以下の3通りです。

① 新たに登録するワイヤレスネットワークがワイヤレス接続画面に表示されているとき

ワイヤレス接続画面で、一覧から登録したいワイヤレスネットワークを選択すると、ネットワークの設定画面が表示されます。必要な設定項目を入力して「接続」を選択すると、ワイヤレスネットワークが登録され、そのワイヤレスネットワークに接続します。

ご注意

- SSIDとWEP/WPAは、自動的に設定されます。ただし、WEP（共有キー）の場合は「WEP」として設定されてしまいますので、手動で設定してください。
- 登録するワイヤレスネットワークが暗号化を使用しない場合、ネットワークの設定画面は表示されず、そのままワイヤレスネットワークに接続します。

② すでに登録しているワイヤレスネットワークの設定を変更するとき

ワイヤレス接続画面で、すでに登録しているワイヤレスネットワークをフォーカスし、OPTIONメニューから「編集」を選択すると、ネットワークの設定画面が表示されます。設定項目を変更して「保存」を選択すると、ワイヤレスネットワークの設定が変更されます。

ご注意

- ワイヤレス接続画面で一覧表示されているワイヤレスネットワークを直接タップすると、接続しているワイヤレスネットワーク接続が切断され、選択したワイヤレスネットワークに接続し直します。
- ワイヤレスネットワークにフォーカスを合わせたいだけの場合は、オペレーションキーを使ってください。

③ 新たに登録するワイヤレスネットワークがワイヤレス接続画面に表示されていないとき

ワイヤレス接続画面で「手動登録」を選択するとネットワークの設定画面が表示されます。必要な設定項目を入力して「保存」を選択すると、新たなワイヤレスネットワークが登録されます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

設定項目	設定内容
表示名	ワイヤレスネットワーク一覧に表示される名前を設定する。
SSID	ワイヤレスネットワークを識別するための名前。(一覧から選択して登録する場合は、自動的に取得されます。)
WEP/WPA	暗号化方式を以下から選択できる。 ＜使用しない / WEP / WEP (共有キー) / WPA - PSK (TKIP) / WPA-PSK (AES)＞
SSID非通知	チェックすると、SSIDを通知しないように設定されたアクセスポイントにも接続を試みる。
キー	セキュリティーの暗号キーを入力する。
IP アドレス	• 以下のIPアドレスを使用する：チェックすると、指定したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを使用する。チェックをはずすと、DHCPサーバーから取得した値を使用する。 • 以下のDNSを使用する:チェックすると、指定した優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを使用する。チェックをはずすと、DHCPサーバーから取得したDNSを使用する。
プロキシ	• 以下のプロキシを使用する：チェックすると、指定したIPアドレス(またはホスト名)、ポート番号を使用する。
オートログイン	提携プロバイダ用の設定を行う。このボタンは、SSIDが提携プロバイダ指定のものの場合のみ選択できる(☞ 146、147ページ)。オートログイン機能を使うかどうか設定したり、必要に応じてIDやパスワードを入力したりする。

自動接続時の接続順を変更する

本機は表示順(上から順)に、登録済みワイヤレスネットワークへの接続を試みます。
優先順位を変更したいときは、Homeメニューから「Tools」を選択し、「ネットワーク設定」を選択して、「ワイヤレス接続」を選択します。
順番を変えたい登録済みのワイヤレスネットワークをフォーカスし、OPTIONメニューから「上へ」または「下へ」を選択すると接続の優先順位が変わります。

ヒント

• ワイヤレス接続画面は、INFOパネルから「ワイヤレス接続」を選択することでも表示できます。

PlaceEngine設定 － Wi-Fi情報送信の設定をする

PlaceEngineを起動していると、PetaMap Widget（☞ 44ページ）や、PlaceEngineに対応しているWebページで、現在地の住所や緯度経度が取得できます。
PlaceEngineは、本機の周囲にあるアクセスポイントの電波強度などの情報（Wi-Fi情報）を元に、現在地を取得する機能です。
この機能を使用するには、位置情報を利用するアプリケーションやWebサイトごとに、PlaceEngineを用いて位置情報の取得や送信をするかどうか設定する必要があります。
PlaceEngine設定では、サイトのセキュリティールールの変更／登録、PlaceEngineの終了／起動ができます。

ヒント

- PlaceEngineについて詳しくは、以下のサイトをご覧ください。
  http://www.placeengine.com/

ご注意

- PlaceEngineの仕様上の制限により、正しい住所や緯度経度が取得できない場合があります。
- 日付と時刻の設定が間違っていると正しく動作しない場合があります。正しい日時を設定してください（☞ 137ページ）。
- インターネット接続していないと、Wi-Fi情報を送信したり、現在地の住所や緯度経度を取得したりできません。

確認画面が表示されたときには

表示されているサイトにWi-Fi情報の収集を許可するかどうか選択します。Wi-Fi情報の取得を許可すると、それを元にサイトは位置情報を得ることができます。

選択項目	意味
許可	サイトがWi-Fi情報を収集し、位置情報を得ることを許可する。
禁止	サイトがWi-Fi情報を収集することを禁止する。（サイトは位置情報を得ることができない。）
選択した設定を保存する	チェックすると、上記で選択した設定がこのサイトのセキュリティールールとして登録され、次回から確認画面が表示されない。

ヒント

- 「選択した設定を保存する」をチェックしたサイトのセキュリティールールは、「PlaceEngine設定」で変更できます（☞ 134ページ）。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ご注意

- Wi-Fi情報の確認画面は、見知らぬサイトが勝手に位置情報を取得することを防ぐために設けてあります。信頼できるサイトかどうか確認してから、「許可」を選択してください。
- 「選択した設定を保存する」をチェックして「許可」を選択すると、確認画面が表示されず、常にWi-Fi情報が送信されるようになります。

サイトのセキュリティールールを変更／登録するには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「PlaceEngine設定」を選択します。

ヒント

- PlaceEngineが起動しているときは、INFOパネルから「PlaceEngine設定」を選択することでもこの画面を表示できます。
- 「位置を教える」を選択すると、Webが起動し、本機の位置を入力する画面が表示されます。PlaceEngineは、正しい位置を利用者が入力しあうことで、住所や緯度経度の検索精度が上がるしくみになっています。

設定を変更する項目を選択するか、「新規登録」を選択すると、セキュリティー編集画面が表示されます。

設定項目	設定内容
アドレス	設定するサイトのURLを入力する。
ルール	サイトからWi-Fi情報送信のリクエストがあったときの設定を、以下から選択できる。 • 許可：確認画面を表示せず、常にWi-Fi情報を送信する。 • 確認：Wi-Fi情報を送信するかどうか確認する画面を表示する。 • 禁止：確認画面を表示せず、常にWi-Fi情報を送信しない。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ヒント

- 前記の設定をしていないサイトからWi-Fi情報送信のリクエストがあったときは、「デフォルト」の設定が適用されます。
- mylo WidgetからWi-Fi情報送信のリクエストがあったときは、常に確認画面が表示されます。mylo Widgetのセキュリティールールを変更することはできません。

ご注意

- 「デフォルト」の設定を「許可」にすると、信頼できないサイトにもWi-Fi情報を収集され、位置情報を取得される恐れがあります。セキュリティーには、充分ご注意ください。

PlaceEngineを終了するには

OPTIONメニューから「終了」を選択します。

ご注意

- PlaceEngineを終了すると、mylo WidgetやWebページで位置情報の取得が行えなくなります。
- PlaceEngineが起動していない状態で電源を切ると、電源を入れ直しても自動的には起動しません。

PlaceEngineを起動するには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「PlaceEngine設定」を選択します。

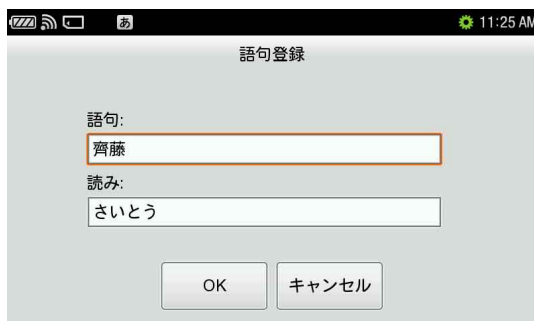
ヒント

- PlaceEngineが起動している状態で電源を切ると、電源を入れたとき自動的に起動します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

ユーザー辞書 － かな漢字変換の語句を登録する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「ユーザー辞書」を選択します。

新しい語句を登録するときは、「新規登録」を選択します。
登録している語句を修正するときは、語句を選択します。

設定 ― 設定を変更する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、設定したい項目を選択します。

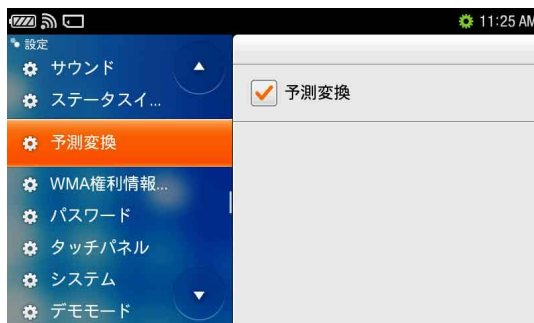
設定項目	設定内容
日付と時刻	• 日時：日付と時刻を変更する。 • タイムゾーン：タイムゾーンを変更する。「夏時間の調整」をチェックすると、時刻を1時間早める。 • 日付表示形式：日付の表示方法を以下から選択できる。 ＜YYYY.MM.DD / MM.DD.YYYY / DD.MM.YYYY＞ • 時刻表示形式：時刻の表示方法を以下から選択できる。 ＜12時間制 / 24時間制＞
壁紙	• 変更：登録した画像ファイルやプリセットされているファイルの中から、壁紙を変更できる。
USBモード	USBモードを以下から選択できる。 ＜MSC（Mass Storage Class）/ MTP（Media Transfer Protocol）＞
バックライト	• 明るさ（AC）：ACアダプター使用時の液晶画面の明るさを、1（暗い）から5（明るい）まで調節できる。 • 明るさ（バッテリー）：バッテリー使用時の液晶画面の明るさを、1（暗い）から5（明るい）まで調節できる。 • キーボードバックライト：チェックすると、周囲が暗くなったとき、自動的にキーボードのバックライトが点灯する。チェックをはずすと、周囲が暗くなっても、キーボードのバックライトが点灯しない。
省電力設定	• オートバックライトオフ：チェックすると、2分間操作をしないと自動的にバックライトが暗くなり、4分間操作をしないと消灯する。ただし、ACアダプター接続中は、バックライトが暗くなったり消えたりしない。 • オートパワーオフ：操作していないとき自動的に電源が切れるまでの時間を以下から選択できる。 ＜無効 / 5分 / 10分 / 15分＞ 「インスタントメッセンジャーにサインイン時は無効にする。」をチェックすると、Skypeなどのインスタントメッセンジャーにサインインしているときにはオートパワーオフが無効。 「ACアダプター接続時は無効にする。」をチェックすると、ACアダプター使用時にはオートパワーオフが無効。

次のページにつづく

設定項目	設定内容
サウンド	• キー操作音：チェックすると、操作をするたびに音が鳴る。チェックをはずすと、カメラのシャッター音以外は音が鳴らない。 • AVLS（最大音量の制限）：チェックすると、音楽再生時に大きな音で聴力に悪い影響を与えないように最大音量が制限される。（AVLSは、Automatic Volume Limiter Systemの略。）
ステータスインジケーター	• ステータスインジケーター：チェックすると、ステータスインジケーターが状況に合わせた点灯・点滅を行う。
予測変換 （☞ 139ページ）	• 予測変換：チェックすると、テキスト入力時に予測変換を行う。
WMA権利情報の初期化	• 初期化：WMAファイルの権利情報を初期化する。（WMAファイルが再生できないときに使用する。初期化後、ファイルをパソコンからもう一度転送する。）
パスワード （☞ 139ページ）	• パスワードロック：チェックすると、電源をONにしたときに数字4桁のパスワード入力が必要になる。 • パスワード変更：パスワードを変更する。
タッチパネル	• タッチパネル調整：タッチパネルの位置補正を行う。表示されるターゲットを、画面の指示に従いスタイラスでタッチ（タップ）することで、タッチパネルのずれを補正する。
システム （☞ 140ページ）	• 設定のバックアップ：本機のシステム領域に保存されている設定、Webのブックマーク、インストールされているmylo Widgetなどをバックアップする（☞ 140ページ）。 • 設定の復元：バックアップした設定、Webのブックマーク、mylo Widgetなどを本機に読み込む。 • 設定のリセット：パスワードロック用のパスワードとmylo Widgetを除く、「設定のバックアップ」でバックアップされる対象すべてを初期状態に戻す（☞ 141ページ）。 • 内蔵メモリーの初期化：内蔵メモリーを初期化する。保存しているファイルやフォルダがすべて消去される。 **ご注意** • 「設定のリセット」「内蔵メモリーの初期化」を実行する前に、設定やデータのバックアップをとることを強くお勧めします（☞ 141ページ）。
デモモード	• デモモード：チェックすると、本機がデモモード（1分間操作しないと、すべてのアプリケーションを終了して、デモビデオを再生するモード）になる。

次のページにつづく

予測変換機能を使う

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「予測変換」を選択します。

「予測変換」をチェックすると、予測変換機能が使えるようになります。
予測変換機能を使うと、全角ひらがなモードのとき、入力した文字から始まる変換候補が画面下部に表示されます。
変換候補を選択するには、Space/変換キーか⬆/⬇キーを押します。

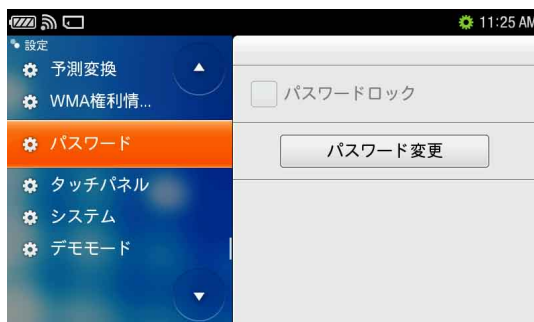
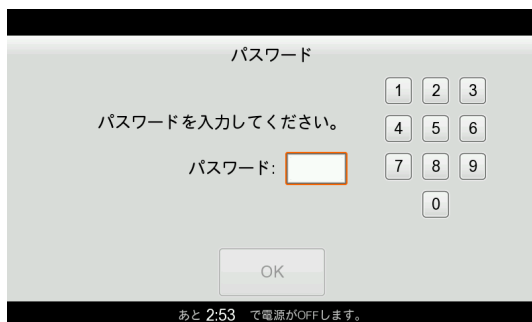
本機をパスワードで保護する

盗難や紛失に備え、本機をパスワードで保護することができます。
設定したパスワードを忘れると、本機を起動できなくなります。
本機とは別の場所にパスワードを書き留めたメモを保管するなどして、絶対に忘れないようにしてください。

パスワードで保護するには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「パスワード」を選択します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

「パスワードロック」をチェックすると、電源をONにしたときに数字4桁のパスワード入力が必要になります。

ご注意

- USBケーブル（付属）で本機を充電するときは、パスワードを入力してロックを解除してください。ロックを解除しないと充電できません。

パスワードを登録／変更するには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「パスワード」を選択します。「パスワード変更」を選択して、パスワードを登録／変更します。

パスワードを忘れたときは

万が一パスワードを忘れてしまったときは、「マスターリセット」が必要になります（☞ 161ページ）。

本機の設定情報や音楽ファイルなどのデータをバックアップする

設定情報をバックアップするには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「システム」を選択します。「設定のバックアップ」を選択し、本機の設定情報のバックアップファイルを作成します。

ヒント

- 作成されたバックアップファイルは、以下に保存されます。
  内蔵メモリー：¥BACKUP ¥backup.mylob
  Memory Stick：¥MYLO ¥BACKUP ¥backup.mylob
- この操作でバックアップされるのは、パスワードロック用のパスワードを除く本機の設定、かな漢字変換用の学習辞書／ユーザー辞書、インストールされたmylo Widget、壁紙登録した画像、Skypeなどのインスタントメッセンジャーの ID ／パスワードとマイピクチャーに追加した画像、WebのCookie ／ブックマーク／保存したパスワード、ネットワーク設定（セキュリティーの暗号キーを含む）などです。音楽ファイルなどのデータは別途バックアップしてください（☞ 141ページ）。

作成したバックアップファイル（backup.mylob）は、パソコンなど他の機器にコピーまたは移動して保管してください。

次のページにつづく ⟶

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

音楽ファイルなどのデータをバックアップするには

音楽ファイル、ビデオファイル、画像ファイルなど内蔵メモリーに保存されているデータは、USBケーブルで本機とパソコンを接続し、Windowsエクスプローラを使ってコピーします（ドラッグ&ドロップ）。

ご注意

- コピー／移動が禁止されている著作権保護技術で保護された音楽ファイルやビデオファイルは、正しくコピーできません。
- SonicStageなどで転送した著作権保護つきのファイルは、転送したときのソフトウェアを使ってパソコンに戻してください。
- Webで保存したページや画像、RSS/Podcastで設定したフィード、配信された記事やダウンロードしたコンテンツなども内蔵メモリー内に保存されるため、「設定のバックアップ」ではバックアップされません。バックアップするには、Windowsエクスプローラを使ってパソコンなどにコピーする必要があります。

設定情報をリストアするには

事前に「設定のバックアップ」を行っていれば、そのバックアップファイルを使って設定などを復元できます。
Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「システム」を選択します。
「設定の復元」を選択し、バックアップファイルから設定などを復元します。

設定を初期化するには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「システム」を選択します。
「設定のリセット」を選択し、本機の設定値やシステム領域に保存されている情報を初期化します（パスワードロック用パスワードの設定、mylo Widgetの設定を除く）。

ご注意

- 音楽ファイルなど内蔵メモリーに保存されているデータは削除されませんので、これらをすべて一括削除したい場合は内蔵メモリーを初期化してください（☞ 142ページ）。
- この操作を行うと、パスワードロック用のパスワードを除く本機の設定、かな漢字変換用の学習辞書／ユーザー辞書、壁紙登録した画像、SkypeなどのインスタントメッセンジャーのID／パスワードとマイピクチャーに追加した画像、WebのCookie／ブックマーク／保存したパスワード、ネットワーク設定（セキュリティーの暗号キーを含む）などがすべて初期化（削除）されます。
- 本機のパスワードを消すには、「マスターリセット」を実行してください（☞ 161ページ）。
- この操作でMy Contacts Widgetの設定はすべて初期化されますが、その他のmylo Widgetの設定は初期化されません。その他のmylo Widgetの設定を変更するときは、mylo ScreenのWidget設定モードで行ってください。
- mylo Widget自体を削除するときは、Widgetインストーラーで削除してください（☞ 40ページ）。

ヒント

- mylo Widgetは、付属のCD-ROMにも入っています。必要に応じてインストールしてください。
- 最新のmylo Widgetの情報は下記のサイトで確認できます。
  http://www.sony.co.jp/mylo

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

内蔵メモリーをフォーマットするには

Homeメニューから「Tools」を選択し、「設定」を選択して、「システム」を選択します。
「内蔵メモリーの初期化」を選択し、内蔵メモリーをフォーマットします。

ご注意

- 内蔵メモリーに保存されているすべてのデータ（音楽ファイル、ビデオファイル、画像ファイル、テキストファイル、Webで保存したデータ、RSS/Podcastの登録フィード・記事・コンテンツなど）が削除されます。

ヒント

- サンプルデータは付属のCD-ROMにも入っています。

システムアップデート ― ソフトウェアをアップデートする

パソコンで以下のサイトにアクセスし、最新のシステムソフトウェアをダウンロードします。
http://www.sony.co.jp/mylo/support
本機のUSBモードを「MSC」に設定し（☞ 137ページ）、USBケーブル（付属）で本機とパソコンを接続してから、ダウンロードしたシステムソフトウェアを内蔵メモリーの一番上の階層にコピーします。
パソコンとの接続中は、本機の液晶画面にUSB接続を示す画面が表示されます。
インストールが終わったら、本機の画面に「USB接続を切らないでください」と表示されていないのを確認してからパソコンでハードウェアの安全な取り外しの操作を行い、本機からUSBケーブルをはずします。
Homeメニューから「Tools」を選択し、「システムアップデート」を選択して、画面の指示に従い操作します。

ヒント

- ときどき上記のサイトにアクセスして、最新のシステムソフトウェアがリリースされているかどうか確認してください。システムソフトウェアを常に最新の状態に保つことは、セキュリティーの面でも、機能向上の面でも重要です。
- アップデートが正常に行えないときは、ネットトコミュニケーションカスタマーリンクにお問い合わせください（☞ 149ページ）。
- “メモリースティック デュオ”を使ってソフトウェアをアップデートする場合は、その“メモリースティック デュオ”の一番上の階層にシステムソフトウェアを置いてください。
- アップデートが終わったら、ダウンロードしたシステムソフトウェアは削除しても構いません。

ご注意

- アップデート中は、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”を抜いたり（“メモリースティック デュオ”の中のシステムソフトウェアでアップデートしているとき）、絶対にしないでください。

システム情報 ー システム情報を表示する

Homeメニューから「Tools」を選択し、「システム情報」を選択します。

本機のMACアドレスやシステムソフトウェアのバージョンが表示されます。

その他

オートログインガイド

本機には、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社の「ホットスポット」サービス、ソフトバンクテレコム株式会社の「BBモバイルポイント」サービスのワイヤレスネットワークの設定が、あらかじめ登録されています。
ログインIDとパスワードを入力し、オートログインを有効にすると、これらのアクセスポイントで自動的にログインできるようになります。

「ホットスポット」サービス ー オートログインガイド

INFOパネルから「ワイヤレス接続」を選択して、「ホットスポット(NTTCom)」をフォーカスし、OPTIONメニューから「編集」を選択します。

「オートログイン」を選択して、「以下のアカウントを使用してオートログインする」をチェックし、「ログインID」と「パスワード」を入力します。

「ホットスポット」サービスのアカウントを持っていない場合には、mylo専用の「ホットスポット キャンペーンID」でオートログインすることもできます。
「ホットスポット キャンペーンID」については、以下のサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/mylo/support

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

「BBモバイルポイント」サービス – オートログインガイド

INFOパネルから「ワイヤレス接続」を選択して、「BBモバイルポイント」をフォーカスし、OPTIONメニューから「編集」を選択します。

「オートログイン」を選択して、「以下のアカウントを使用してオートログインする」をチェックし、「ログインID」と「パスワード」を入力します。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

タスクマネージャー

空きメモリーが少なくなり、アプリケーションが起動できないとき、アプリケーションの中の特定の機能が正常に動作しないと判断されたときに、タスクマネージャーが起動することがあります。

リストに表示されている起動中のアプリケーションのいずれかをチェックし、「終了」を選択してアプリケーション終了させてください。
アプリケーションが起動できるようになったり、アプリケーションの中の機能が正常に動作できるようになったりします。

ご注意

- 複数のアプリケーションを終了させる必要がある場合があります。
- タスクマネージャーでの操作が終わったあと、直前の操作はキャンセルされます。改めてアプリケーションの起動などの操作を行ってください。
- 表示されているメモリー使用量はあくまで目安です。そのアプリケーションを終了させても、表示されているメモリー量が確実に空くとは限りません。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

故障かな？と思ったら

困ったときは、以下の流れに従って、確認を行ってください。

1 以下の項目を確認する。

コンテンツの転送に使用しているソフトウェアのヘルプも参照し、状態を確認してください。

2 mylo公式ホームページで確認する。

myloに関する最新サポート情報、よくあるお問合せと回答を確認いただけます。
http://www.sony.co.jp/mylo/support

3 それでも問題が解決しない場合は、ネットコミュニケーションカスタマーリンクにお問合せください。

ネットコミュニケーションカスタマーリンク修理相談窓口：
0120-37-9922（フリーダイヤル）
※携帯電話、PHS、一部のIP電話、海外などからは、0466-30-3080

- 担当オペレーターが対応し、修理が必要と判断された場合は、引取修理をさせていただきます。

電源

症状	原因/処置
電源が入らない。	→ バッテリーが正しく挿入されているか確認してください（☞ 7ページ）。 → バッテリーが充電されていない。ACアダプターを接続して確認してください。 → スタイラスを使ってRESETボタンを押し、再起動してください（☞ 14ページ）。
バッテリーが充電されない。または満充電されない。	→ ACアダプターが、本機とコンセントに正しく接続されているか確認してください。 → 内蔵スピーカーで音楽やビデオを再生しているため、充電されない。再生を停止するか、ヘッドホンを使用してください。 → 充電中に本機を使用しているため、充電に時間がかかっている。本機の使用をやめ、本機の電源を切ってください。 → バッテリーが寿命に達した。新しいバッテリーと交換してください。 → パスワードを設定しているときにUSBケーブルで充電しようとしている。パスワードを入力してロックを解除してください。 → 推奨温度の範囲内で充電してください（☞ 8、9ページ）。

次のページにつづく

症状	原因/処置
バッテリーの持続時間が短い。	→ バッテリーが寿命に達した。新しいバッテリーと交換してください。 → バッテリー残量が早く減る設定になっている。「オートバックライトオフ」をチェックし、「オートパワーオフ」を「無効」以外に設定してください(☞ 137ページ)。 → 周囲の温度が高すぎる、または低すぎる。推奨温度の範囲内で操作してください(☞ 243ページ)。 → 再起動後、日付と時刻設定画面が表示されている状態では、オートパワーオフしません。日付と時刻設定画面で放置せず、次の画面に進んでください。
POWER/HOLDスイッチで電源が切れない。	→ 起動画面が表示されている。起動画面が消えてから、電源を切ってください。 → USBケーブルで本機とパソコンを接続している。本機からUSBケーブルをはずしてください。 → バックアップなどの処理を行っている。処理が終わるまで待ってください。 → スタイラスを使ってRESETボタンを押し、再起動してください(☞ 14ページ)。 → バッテリー、ACアダプター、USBケーブルを、本機から取りはずしてください。再度電源を入れる際は、数分後にバッテリー、ACアダプターの順番で本機に接続し直してください。
自動的に電源が切れる。	→ 省電力設定項目の「オートパワーオフ」が「無効」以外に設定されている。 → バッテリー残量がない。バッテリーを充電してください(☞ 8、9ページ)。

画面

症状	原因 / 処置
画面に何も表示されない。	→ 「オートバックライトオフ」にチェックを入れている。何かボタンを押すと、バックライトが点灯し、画面が表示されます。
画面が突然暗くなる。	→ 「オートバックライトオフ」にチェックを入れている。何かボタンを押すと、バックライトが点灯します。
画面が固まって動かない。	→ POWER/HOLDスイッチがHOLDになっている。POWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドして、HOLDを解除してください(☞ 14ページ)。 → POWERインジケーターが消灯するまでPOWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドしてください。完全に電源が切れたら、もう一度電源を入れてください。 → スタイラスを使ってRESETボタンを押し、再起動してください(☞ 14ページ)。 → バッテリー、ACアダプター、USBケーブルを、本機から取りはずしてください。再度電源を入れる際は、数分後にバッテリー、ACアダプターの順番で本機に接続し直してください。

次のページにつづく

ワイヤレスネットワーク

症状	原因 / 処置
ワイヤレスネットワークに接続しない。	➔ WIRELESS LANスイッチが「OFF」になっている。 ➔ ワイヤレスネットワークに接続し直してください(☞ 130ページ)。 ➔ アクセスポイントに接続するために、暗号化キー(WEP/WPA)やその他の特別な設定(固定IPアドレス、プロキシ設定など)が必要か確認してください(☞ 132ページ)。 ➔ アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしている。その場合、ネットワークの一覧に表示されないことがあります。表示されないときは、アクセスポイント側で設定を解除するか、「SSID非通知」を有効にしてください(☞ 132ページ)。 ➔ 公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントでは、Webを使うなどの方法でログインIDやパスワードなどを入力しないとインターネットを使用できない場合がある。接続しているワイヤレスネットワークのサービスを確認してください。 ➔ アクセスポイントの設定が、本機でサポートしていないセキュリティー設定になっている。ネットワーク管理者に確認してください。 ➔ アクセスポイント側にMACアドレスの追加が必要。Homeメニューから「Tools」を選択し、「システム情報」を選択して、本機のMACアドレスを確認します。アクセスポイント側にそのMACアドレスを登録後、接続してください。 ➔ アクセスポイント側の設定が正しくない。アクセスポイントの取扱説明書や、ネットワーク管理者に確認して、設定し直してください(☞ 132ページ)。 ➔ ワイヤレスネットワークの通信範囲外にいる。通信範囲内に移動してください。 ➔ 本機とワイヤレスネットワークの間に、壁や金属、コンクリートなどの障害物がある。違う場所で接続してください。 ➔ 2.4GHz帯の周波数を使用する機器(コードレス電話や電子レンジ、Bluetoothを使用するコンピュータ機器など)が近くにある。その機器を遠くへ置くか、その機器の電源を切ってください。 ➔ ネットワークサービスが、一時的に使用できない状態か、不安定な状態になっている。ネットワーク管理者に状況を確認してください。
アクセスポイントが近くにあるのに、ワイヤレス接続画面にアンテナが1本も表示されない。	➔ ワイヤレス接続画面の電波強度は、ワイヤレス接続の起動時、または「スキャン」を選択したときに更新される。「スキャン」を選択して、電波強度の表示を更新してください。

次のページにつづく ⟶

症状	原因 / 処置
接続したいワイヤレスネットワーク以外のワイヤレスネットワークに、自動接続しようとしている。	➔ 接続したいワイヤレスネットワークの自動接続時の順番が、一覧で後の方になっている。ワイヤレス接続画面で、接続順を変更してください(☞ 132ページ)。 ➔ 接続したいワイヤレスネットワークが登録されていない。ワイヤレス接続画面で登録してください(☞ 131ページ)。 ➔ アクセスポイント側でSSIDを隠す設定をしている。アクセスポイント側で設定を解除するか、「SSID非通知」を有効にしてください(☞ 132ページ)。
オートログインできない。	➔ オートログインが設定されていない。オートログインの設定が間違っている(☞ 146、147ページ)。 ➔ 本機のオートログインに対応していないプロバイダーに接続しようとした。対応プロバイダーは以下のサイトをご覧ください。 http://www.sony.co.jp/mylo ➔ 日付と時刻の設定が間違っている。正しい日時を設定してください(☞ 137ページ)。
特定のアプリケーションがワイヤレスネットワークを使えない。	➔ 公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントは、Webを使うなどの方法でログインIDやパスワードなどを入力しない状態では自社サイトの一部のみ閲覧可能など、サービスを制限している場合がある。接続しているワイヤレスネットワークのサービスを確認してください。 ➔ 公衆ワイヤレスLANのアクセスポイントでは、使用できるサービスを制限している場合がある(利用できるポートの制限など)。本機で使うポート番号を変更するか、違うアクセスポイントに接続し直してください(☞ 79、90ページ)。

mylo Widget

症状	原因/処置
My Contacts WidgetにIDが追加できない。	➔ 追加しようとしているユーザーのIDが、アプリケーション(Skype、Google Talk)のコンタクトリストに登録されていない。 ➔ 登録したいIDのアプリケーション(Skype、Google Talk)に、サインインしていない。My Contacts Widgetにユーザーを登録するには、あらかじめそのアプリケーションにサインインしておく必要があります(☞ 61、82ページ)。 ➔ 1つのボックスに6つ以上のIDを登録しようとしている。1つのボックスに登録できるIDは5つまでです。
mylo Widgetが何も表示されない。	➔ 一時的に動作が不安定になっている。OPTIONメニューから「mylo Screenの再起動」を選択してください。 ➔ mylo Widgetが1つも配置されていない(☞ 36ページ)。

次のページにつづく

症状	原因/処置
mylo Widgetの挙動がおかしくなった。	→ 一時的に動作が不安定になっている。OPTIONメニューから「mylo Screenの再起動」を選択してください。 → mylo Widget関連ファイルの保存領域を圧迫している。以下の方法で保存領域を増やしてください。 • mylo Widgetが作成した一時データを削除する(☞ 41ページ)。 • 不要なmylo Widgetをアンインストールする(☞ 40ページ)。 → 日付と時刻の設定が間違っている。正しい日時を設定してください(☞ 137ページ)。
PetaMap Widgetで現在地の住所や緯度経度が取得できない。	→ PlaceEngineが起動していない。Homeメニューから「Tools」を選択し、「PlaceEngine設定」を選択してPlaceEngineを起動してください。 → ワイヤレスネットワークに接続していない。ワイヤレスネットワークに接続してください。
PetaMap Widgetで取得した現在地の住所や緯度経度が間違っている。	→ PlaceEngineの仕様上の制限により、正しい住所や緯度経度が取得できないことがある。INFOパネルから「PlaceEngine設定」を選択し、「位置を教える」を選択してください。(PlaceEngineは、正しい位置を利用者が入力しあうことで、住所や緯度経度の検索精度が上がるしくみになっています。)

Skype

症状	原因 / 処置
コンタクトリストが正しく表示されない。	→ コンタクトリストに301名以上のコンタクトが登録されているSkype名で、サインインした。本機では、登録コンタクトが301名以上になるSkype名のコンタクトリストは表示できません。登録コンタクトが300名以下のSkype名を使うか、新たにSkypeアカウントを作成してください。 → 初めて本機のSkypeを起動した。サインアウトし、もう一度サインインし直してください。 → 登録されているコンタクトのオンライン状態はすぐに反映されない場合がある。しばらく待つか、ログインし直してください。
「サインイン中...」と表示されたままになる。	→ ネットワークの状況に応じて、Skypeにサインインするのに時間がかかる場合があります。
「パスワードの保存」と「Skype起動時に自動サインイン」をチェックしているのに、自動サインインせず、サインイン画面が表示される。	→ 自動サインインを設定していても、必要に応じてサインイン画面が表示されることがあります。
エモーティコンが正しく表示されない。	→ エモーティコンの前に半角スペースを入れてください。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

症状	原因 / 処置
サインインできない。	→ プロキシが正しく設定されていない。プロキシの設定内容がわからないときは、アクセスポイントを設定した方／管理者／プロバイダーにご確認ください。 → ワイヤレスネットワークに接続していない。オートログインも含め、ワイヤレスネットワーク接続の設定を確認してください。
通話の音声が聞こえにくい。	→ ネットワークの状態により、通話品質が悪くなることがあります。
コンタクトを追加したらアプリケーションが起動できなくなった。	→ アプリケーションの動作に必要なメモリー量が増えた。起動中の他のアプリケーションを終了してから起動してください。または、コンタクトの数を減らしてください。

Google Talk

症状	原因 / 処置
コンタクトリストが正しく表示されない。	→ コンタクトリストに301名以上のコンタクトが登録されているGmail アカウントで、サインインした。本機は、コンタクトリストに301名以上登録されているGmail アカウントに対応していません。
「サインイン中...」と表示されたままになる。	→ ネットワークの状況に応じて、Google Talkにサインインするのに時間がかかる場合があります。
「パスワードの保存」と「自動サインイン」をチェックしているのに、自動サインインせず、サインイン画面が表示される。	→ 自動サインインを設定していても、必要に応じてサインイン画面が表示されることがあります。
サインインできない。	→ プロキシが正しく設定されていない。プロキシの設定内容がわからないときは、アクセスポイントを設定した方／管理者／プロバイダーにご確認ください。 → ワイヤレスネットワークに接続していない。オートログインも含め、ワイヤレスネットワーク接続の設定を確認してください。
Gmailにアクセスできない。	→ 日付と時刻の設定が間違っている。正しい日時を設定してください(☞ 137ページ)。
コンタクトを追加したらアプリケーションが起動できなくなった。	→ アプリケーションの動作に必要なメモリー量が増えた。起動中の他のアプリケーションを終了してから起動してください。または、コンタクトの数を減らしてください。

次のページにつづく

Web

症状	原因 / 処置
特定のWebページが正しく表示されない。	→ Webページを作成する基準や技術は多岐にわたるため、全ページが正しく表示されないことがありますのでご了承ください。 → 日付と時刻の設定が間違っている。正しい日時を設定してください(☞ 137ページ)。 → ユーザーエージェントの設定を変更すると、表示できることがあります。ユーザーエージェントの設定を変更するには、OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、「ユーザーエージェント」を選択してください。 → JavaScriptが無効になっている。有効にすると表示されることがあります。 → Flashプラグインが無効に設定されている。OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、「詳細設定」を選択して、「Adobe Flashを有効にする」をチェックし、Flashプラグインを有効にしてください。
オペレーションキーでリンクのフォーカスが移動できない。	→ Webページによっては、オペレーションキーでうまく操作できない場合がある。スクロールモードが「ページスクロール」になっている場合も、オペレーションキーでリンクのフォーカス移動はできない。その場合は、タッチパネルを使ってください。
Webブラウザーのアップデートを促す画面が表示される。	→ Webページによっては、アップデートを促す画面が表示されることがある。OPTIONメニューから「Web設定」を選択し、「ユーザーエージェント」を選択して変更してみてください。
保存した特定のWebページが正しく表示されない。	→ Webページによっては、保存するとオンライン中と同じように表示されないものがあります。
PlaceEngineに対応しているWebページで現在地の住所や緯度経度が取得できない。	→ PlaceEngineが起動していない。Homeメニューから「Tools」を選択し、「PlaceEngine設定」を選択してPlaceEngineを起動してください。
PlaceEngineに対応しているWebページで取得した現在地の住所や緯度経度が間違っている。	→ PlaceEngineの仕様上の制限により、正しい住所や緯度経度が取得できないことがある。INFOパネルから「PlaceEngine設定」を選択し、「位置を教える」を選択してください。(PlaceEngineは、正しい位置を利用者が入力しあうことで、住所や緯度経度の検索精度が上がるしくみになっています。)

RSS/Podcast

症状	原因 / 処置
フィードが更新されない。	→ ワイヤレスネットワーク接続が切れていた。ワイヤレスネットワーク接続をしたうえで、更新を行ってください。 → 内蔵メモリーの空き容量が足りない。不要なファイルを削除してください(☞ 56ページ)。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

症状	原因 / 処置
フィードは取得できたが、コンテンツがダウンロードできなかった。	→ 内蔵メモリーがいっぱいで保存できなかった。以下の方法で保存領域を増やしてください。 • 「巡回設定」の最大保存容量を増やす。 • RSS/Podcastでダウンロードしたコンテンツを削除する(☞ 56ページ)。 • 不要なフィードを削除する。 • ファイルマネージャーなどで内蔵メモリー内の不要なファイルを削除する。 • 保存先を変更する。 充分な空き容量がある"メモリースティック デュオ"を用意し、保存先を"メモリースティック デュオ"に変更してください。(その場合、内蔵メモリーに保存していたコンテンツは、RSS/Podcastで見えなくなります。)
RSS Widgetに登録しているフィードの未読記事が、閲覧する前に既読に変わっている。	→ RSS Widget上で「更新」を選択したり、OPTIONメニューから「更新」を選択したりすると、既読に変わります。

Music

症状	原因 / 処置
音楽が再生できない。	→ 有効期限や再生可能回数が設定されている曲は再生できないことがあります。
音楽データを認識しない。	→ 音楽データが正しいフォルダに保存されているか確認してください(☞ 96ページ)。 → 対象の音楽データが、本機の対応条件を満たしていない(☞ 245ページ)。 → "メモリースティック デュオ"に転送したATRAC形式の音楽データは再生できません。 → AVデータベースが更新されていない。Skypeのファイル転送機能を使って受信したり、Webでダウンロードしたりした音楽ファイルを「DROPBOX」フォルダや、Musicが対応しているフォルダに保存した場合、次にAVデータベースが更新されるまで、Musicから認識されません。以下の方法でAVデータベースを更新してください。 • Musicを起動し直す。Musicが起動している場合は、OPTIONメニューから「終了」を選択してMusicを終了させ、改めてHomeメニューから「Music」を選択する。 • RSS/PodcastでダウンロードしたPodcast(音声)コンテンツを認識しない場合は、RSS/Podcastで「Musicプレーヤーに登録」を実行してから(☞ 58ページ)、Musicを起動し直す。 • スタイラスを使ってRESETボタンを押し、本機を再起動する(☞ 14ページ)。
音楽データを削除できない。	→ SonicStageから転送された音楽はmylo上では削除できません。SonicStageを使用してください。

次のページにつづく ⟶

症状	原因 / 処置
音が出ない。またはノイズしか出ない。	➔ボリュームがゼロに設定されている。ボリュームを上げてください(☞ 99ページ)。 ➔ヘッドセットが正しく接続されていない。接続を確認してください(☞ 97ページ)。 ➔ヘッドセットのプラグが汚れている。柔らかくて乾いた布で、ヘッドセットのプラグを拭いてください。
WMAファイルが再生できない。	➔Windows Media Player 9の著作権保護によって保護された音楽ファイルは、本機へ転送できますが、再生はできません。
ボリュームを上げられない。	➔「AVLS (最大音量の制限)」がチェックされている。チェックをはずしてください(☞ 138ページ)。
突然音楽の再生が停止する。	➔バッテリー残量が不充分。充電してください(☞ 8、9ページ)。 ➔本機での再生に対応していない音楽ファイルを再生しようとしている(☞ 245ページ)。他の曲を選択してください。
「□」がタイトルの一部に表示される。	➔本機では表示できない文字がタイトルに含まれている。パソコンのソフトウェアを使って、適切な文字のタイトルに名前を変更してください。

Photo

症状	原因 / 処置
画像ファイルを表示するのに時間がかかる。	➔サイズが大きい。大きいサイズの画像ファイルを表示するとき、時間がかかることがあります。
特定の画像を表示できない。	➔データまたは画像サイズが大きすぎる。ファイルサイズが5MB以上の画像には対応していません。対応している画像サイズは、JPEG形式の場合は最大700万画素(3,072 × 2,304)、PNG形式/ BMP形式の場合は最大500万画素(2,560 × 1,920)です。 ➔サムネイル画像を読み込み中である。サムネイル画像の読み込みが完了してから表示し直してください。 ➔本機が対応している画素数の画像でも、使用状況や設定により表示できない場合がある。Photoを起動し直すか、起動中の他のアプリケーションを終了させた上でPhotoを起動し直し、画像を表示してください。 ➔画像ファイルの拡張子が、実際の画像フォーマットと異なっている。 ➔画像ファイルの形式が、プログレッシブJPEGフォーマットになっている。パソコンで通常のJPEGフォーマットとして保存し直すと、表示できるようになる場合があります。 ➔パソコンを使って編集した画像は、本機では表示できないことがあります。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

症状	原因 / 処置
画像ファイルを画像ファイルとして認識しない。／画像が一覧に表示されない。	→ データが、内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”の正しいフォルダに保存されていることを確認してください(☞ 104ページ)。 → パソコンを使って名前を変更したり、移動したファイルやフォルダは、本機では認識できなくなることがあります。 → 対象の画像データが、本機の対応条件を満たしていない(☞ 244ページ)。 → 画像ファイルの拡張子が、実際の画像フォーマットと異なっている。
リスト表示をしているときや全画面表示をしているときに画像を回転させたが、回転した状態で保存されない。	→ Exif情報がないJPEGファイルを回転させた。編集画面で画像を回転させて保存してください。

Video

症状	原因 / 処置
ビデオファイルの再生が開始されるまでに時間がかかる。	→ サイズが大きい。
ビデオが再生できない。	→ 対象のビデオデータが、本機の対応条件を満たしていない(☞ 244ページ)。
再生が一時停止する。	→ ビデオファイルの再生モードが「モードA」になっている。「モードA」では、最後まで再生すると、再生が一時停止します。BACKボタンを押すと、ビデオファイル一覧に戻ります。
ビデオファイルをビデオファイルとして認識しない。	→ パソコンを使って名前を変更したり、移動したファイルやフォルダは、本機では認識できなくなることがあります。 → 対象のビデオデータが、本機の対応条件を満たしていない(☞ 244ページ)。
1分間操作しないと勝手にデモビデオが再生される。	→ 「デモモード」のチェックをはずしてください(☞ 138ページ)。

Camera

症状	原因 / 処置
実際の被写体と画像の色味が異なる。	→ 本機のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合や、明るさにムラが出る場合があります。撮影する際、露出補正、ホワイトバランスの設定をご利用ください。
シャッター音が消せない。	→ 「キー操作音」のチェックをはずしている場合でも、シャッター音は消えません。音量も変えられません。 → ヘッドセットを使用しているときも、シャッター音は本体スピーカーから出ます。音量も変えられません。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

テキストメモ

症状	原因 / 処置
テキストファイルを開けない。	→ データが、内蔵メモリーや“メモリースティック デュオ”の正しいフォルダに保存されていることを確認してください。
見覚えのないファイルがある。	→ 保存する前の編集中のファイルがある状態で、INFOボタンなどでテキストメモのアプリケーションを終了すると、数字の名前のファイルが残ることがあります。ファイルを開いて確認し、不要なら削除してください。

パソコンとの接続

症状	原因 / 処置
USBケーブルでパソコンと接続したとき、myloにパソコンとの接続を示すメッセージが表示されない。	→ USBケーブルが正しく接続されていない。USBケーブルの接続を確認してください。 → 接続に、USBハブを使用している。USBハブ経由の接続は、サポート対象外です。USBケーブルで、直接パソコンと接続してください。 → パソコンで起動している他のアプリケーションが、myloとの接続に干渉している。USBケーブルを抜き、数分後にもう一度接続してください。それでも問題が解決しない場合、USBケーブルを抜いた後、パソコンを再起動してから接続し直してください。 → myloがパソコンを認識していない。myloからUSBケーブルを抜き、myloの電源を入れ直してください。Homeメニューが表示されたら、もう一度USBケーブルを接続してください。
パソコンに接続したときに、本機が認識されない。	→ USBケーブルが正しく接続されていない。USBケーブルの接続を確認してください。 → USBハブが使われている。USBハブ経由の接続は、サポート対象外です。USBケーブルで、直接パソコンと接続してください。
パソコンに接続したときに、動作が不安定になる。	→ USBハブかUSB延長ケーブルを使用している。USBハブやUSB延長ケーブルを使用した接続は、サポート対象外です。USBケーブル(付属)で、直接パソコンと接続してください。
パソコンから本機へファイルを転送できない。	→ USBケーブルが正しく接続されていない。USBケーブルの接続を確認してください。 → 本機の内蔵メモリーに充分な空き容量がない。不要なファイルをパソコンに転送、またはパソコン上で削除して、空き容量を増やしてください。 → USBモードが違う。転送するソフトウェアに合わせてUSBモードを設定してください(☞ 92、103、111、127、143ページ)。
複数のファイルを転送しようとしているとき、一部のファイルしか転送できない。	→ 本機の内蔵メモリーに充分な空き容量がない。不要なファイルをパソコンに転送、またはパソコン上で削除して、空き容量を増やしてください。

次のページにつづく

症状	原因 / 処置
付属のソフトウェアが正しく動作しない。	→ 本機に、初期設定画面が表示されているときは、付属のソフトウェアは正しく動作しません。本機からUSBケーブルを抜き、画面の指示に従って初期設定を完了してから、もう一度本機をパソコンに接続してください。
パソコンのスタンバイやスリープ、休止が働かない。	→ パソコンがスタンバイ状態、スリープ状態、休止状態から復旧したとき、パソコンと本機との接続は同時に復旧しないことがあります。パソコンの電源設定を自動的にスタンバイ状態、スリープ状態、休止状態にならないモードに設定しておくことをおすすめします。
パソコンがスタンバイ状態、スリープ状態、休止状態になっても、本機が通常のモードに戻らず、USBモードのままになる。	→ 本機をパソコンから取りはずしてください。
パソコンの電源が切れているときに本機を接続し、パソコンを起動すると、「boot from CD」と表示されてパソコンがフリーズする。	→ パソコンが起動したあとに本機を接続してください。

その他

症状	原因 / 処置
HOMEボタンが働かない。	→ ダイアログが表示されている。「OK」「キャンセル」「閉じる」などを選択してダイアログウィンドウを閉じてください。
本機が正しく動作しない。	→ 静電気やそれに類似した現象が本機の動作に影響を与えている可能性がある。バッテリーやACアダプターをはずし、数分後にもう一度電源を入れてください。 → スタイラスを使ってRESETボタンを押し、再起動してください(☞ 14ページ)。
本機やACアダプターが温かい。	→ 使用中に、本機やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。ACアダプターが極端に熱くなっているときは、使用をやめ、コンセントからACアダプターを抜いてください。
電源を入れても動作しない。	→ 起動画面が表示されているときは、ボタンやスイッチはいずれも反応しません。 → POWER/HOLDスイッチがHOLDになっている。POWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドして、HOLDを解除してください(☞ 14ページ)。 → POWERインジケーターが消灯するまでPOWER/HOLDスイッチを矢印の方向へスライドしてください。完全に電源が切れたら、もう一度電源を入れてください。 → スタイラスを使ってRESETボタンを押し、再起動してください(☞ 14ページ)。 → バッテリー、ACアダプター、USBケーブルを、本機から取りはずしてください。再度電源を入れる際は、数分後にバッテリー、ACアダプターの順番で本機に接続し直してください。

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

症状	原因 / 処置
キーボードで入力できない。	→ POWER/HOLDスイッチがHOLDになっていないか確認してください(☞ 14ページ)。 → 修飾キー (Fnキー、Numキー、Symキー、Shiftキー)がロックされていないか確認してください(☞ 19ページ)。
タッチパネルが正常に動作しない。	→ 液晶保護シート、プライバシーフィルターが正常に貼り付けられていない。液晶画面の縁に乗っていたり、潜り込んでいるときは貼り直してください。ソニーの液晶保護シート(別売)以外を使用した場合、製品によってはタッチパネルの動作を妨げる場合があります。 → タッチパネルの調整が正しく行われていない。オペレーションキーを使ってHomeメニューから「Tools」を選択して、「設定」を選択し、「タッチパネル」を選択してタッチパネルの調整を行ってください(☞ 138ページ)。 → POWER/HOLDスイッチがHOLDになっていないか確認してください(☞ 14ページ)。
ボタンを押したときに、音が鳴らない。	→ 「キー操作音」がチェックされていることを確認してください(☞ 138ページ)。 → 音楽やビデオファイルを再生している。音楽やビデオファイル再生中は、「キー操作音」がチェックされていても、操作音を鳴らさない場合があります。
日付と時刻がリセットされた。	→ バッテリーの残量がなくなったり、バッテリーを交換したりしたとき、本機の日付と時刻設定がリセットされることがあります。画面の指示に従ってもう一度設定してください。 → RESETボタンが押された。画面の指示に従って、もう一度日時を設定してください。
ファイルの受信やダウンロードができない。	→ 内蔵メモリーの空き容量がない。次の方法で不要なファイルを削除してください。 • ファイルマネージャーなどで内蔵メモリーの不要なファイルを削除する。 • USBケーブル(付属)で本機とパソコンを接続し、パソコンで本機の内蔵メモリーの不要なファイルを削除する。
パスワードを忘れてしまった。	→ 「マスターリセット」をする必要があります。「マスターリセット」をするには、パスワード入力画面で、キーボードの「Fn」キー、「Sym」キー、「BS」キーを同時に5秒間押し続けてください。「マスターリセット」を行うと、「設定のリセット」と「内蔵メモリーの初期化」を行い、さらにmylo Widgetをすべて削除した上でパスワードロック用のパスワードを消去します(☞ 141、142ページ)。

本機についてわからないことがあるときは

以下のサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/mylo

使用上のご注意

使用／保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は、特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動する場所や不安定な場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

持ち運びについて

- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。
- 取り付けた付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイ保護のため、持ち運ぶときは本機を付属のポーチに入れてください。
  – ポーチは防水加工されていません。
    水に濡れた場合はすぐに拭き取ってください。
  – ポーチに対してベンジン・シンナーなどは使用しないでください。
- 本機を手に持って操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。また、取り付けた付属のストラップは、首にかけないでください。

液晶ディスプレイについて

- ディスプレイに重い物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 液晶ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- タッチパネルを操作する場合は、必ず指または付属のスタイラスを使用してください。ボールペンなどを使用すると、本機の画面が傷つくおそれがあります。

次のページにつづく

お手入れについて

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やごみが付いて汚れたときは、市販の液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

- 本機の動作温度は、約5℃～35℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所での使用はおすすめできません。
- 使用中や充電中は、本体やACアダプターが温かくなりますが、故障ではありません。ただし、使用状況によっては、温度が40℃以上になることがあります。この状態で長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となります。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴がつくことです。この状態で使用すると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。
特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

次のページにつづく

“メモリースティック デュオ”を破棄／譲渡するときのご注意

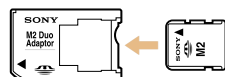
パソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリースティック デュオ”本体を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

“メモリースティック”について

本機で使用できる“メモリースティック”(別売)

本機で使用するIC記録メディアは“メモリースティック デュオ”(“Memory Stick Duo”)と“メモリースティック マイクロ”(“M2”)です。(“M2”は“メモリースティック マイクロ”の略称です。)
“メモリースティック”のサイズには3種類あります。

“メモリースティック デュオ”:本機で使用可能です。

“メモリースティック マイクロ”:デュオサイズの“M2”アダプター(別売)に入れると、本機で使用可能です。

M2 デュオ
アダプター

“メモリースティック”:本機では使用できません。

その他のメモリーカードは使用できません。

- “メモリースティック デュオ”について詳しくは、☞ 166ページをご覧ください。
- “メモリースティック マイクロ”について詳しくは、☞ 167ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター(別売)に入れると使用可能です。

メモリースティック
デュオ アダプター

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

“メモリースティック デュオ”について

“メモリースティック デュオ”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック デュオ”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック デュオ”の種類	記録・再生
メモリースティック デュオ(マジックゲート非対応)	◯ [1]
メモリースティック デュオ(マジックゲート対応)	◯ [2]
マジックゲート メモリースティック デュオ	◯ [1] [2]
メモリースティック PRO デュオ	◯ [2]
メモリースティック PRO-HG デュオ	◯ [2] [3]

1) パラレルインターフェースを利用した高速データ転送には対応していません。

2) マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

3) 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同様の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

“メモリースティック デュオ”(別売)使用上のご注意

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体にラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

次のページにつづく ⇀

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

メモリースティック デュオ アダプター(別売)使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- メモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。

“メモリースティック PRO デュオ”(別売)使用上のご注意

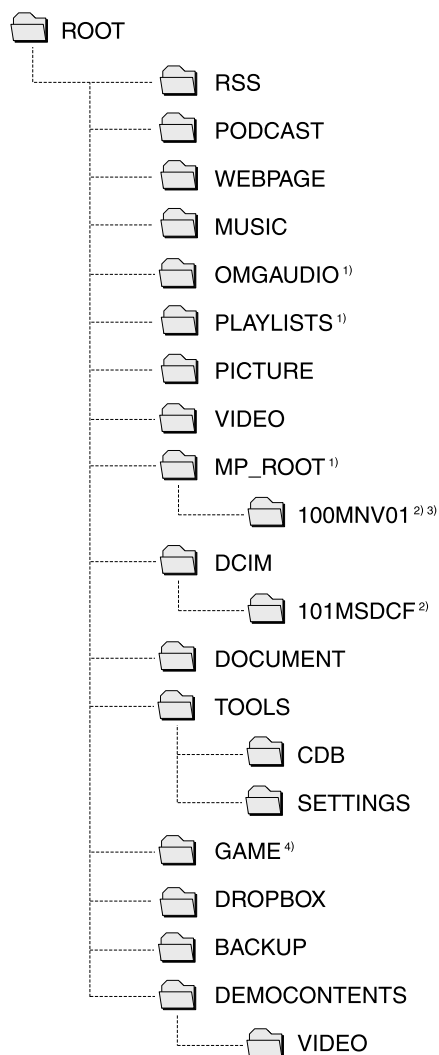
- 本機では、8GBまでのソニー製“メモリースティック PRO デュオ”で動作確認を行っています。ただし、すべての“メモリースティック”での動作を保証するものではありません。
- 記録・再生できるファイルのサイズは、“メモリースティック”で採用しているファイルシステムの仕様上、1ファイルにつき4GB未満です。

“メモリースティック マイクロ”(別売)使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズの“M2”アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズの“M2”アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック マイクロ”や“M2”アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむ恐れがあります。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、下記のサイトをご参照ください。
http://www.sony.co.jp/mylo/support

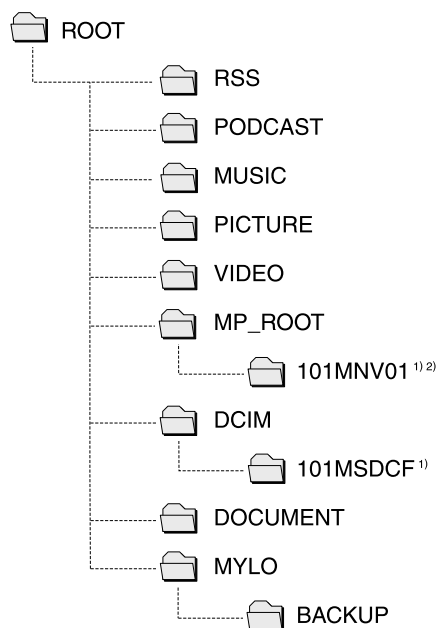
フォルダ構成について

内蔵メモリーのフォルダ構成

1) 工場出荷時は、このフォルダはありません。
2) フォルダ名称は例です。
3) メモリースティックビデオフォーマットの規則に従ってフォルダが作成されて名前が付けられます。
4) 本機に対応したFlashゲームをWebブラウザでダウンロードすると、自動的にこのフォルダに保存されます。

ご注意

- 上記フォルダのほか、システムが使うフォルダがあります。

次のページにつづく

“メモリースティック デュオ”のフォルダ構成

1) フォルダ名称は例です。

2) メモリースティックビデオフォーマットの規則に従ってフォルダが作成されて名前が付けられます。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

商標とソフトウェアについて

- "mylo"、mylo はソニー株式会社の商標です。
- "Memory Stick" ("メモリースティック")、"Memory Stick Duo" ("メモリースティック デュオ")、"MagicGate"（"マジックゲート"）、"MagicGate Memory Stick"（"マジックゲートメモリースティック"）、"Memory Stick PRO"（"メモリースティック PRO"）、"Memory Stick PRO Duo" ("メモリースティック PRO デュオ")、"Memory Stick PRO-HG" ("メモリースティック PRO-HG")、"Memory Stick Micro"（"メモリースティック マイクロ"）、"M2"、MEMORY STICK ™、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plus、ATRAC Advanced Losslessおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- SonicStage、およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、およびWindows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems Incorporatedが開発したAdobe® Flash® Lite™テクノロジーを搭載しています。 Copyright© 1995-2007 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved. Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびそのほかの国における商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、NetFront Browserは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。
  Copyright © ACCESS, 2008
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
  ACCESS NetFront™
- 本機はドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- Music recognition technology and related data are provided by Gracenote(r). Gracenote is the industry standard in music recognition technology and related content delivery. For more information visit www.gracenote.com.
  CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright (c) 2000-2007 Gracenote. Gracenote CDDB(r) Client Software, copyright 2000-2007 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523. Gracenote is a registered trademark of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- 本機はFraunhofer IIS and ThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているMPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

  (i) 消費者が個人的、非営利の使用目的で、MPEG-4 Visual規格に合致したビデオ信号(以下、MPEG 4 VIDEOといいます)にエンコードすること。

次のページにつづく

(ii) MPEG-4 VIDEO（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。

- 本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っている AVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（消費者が個人的に非営利目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードする用途に限りライセンスされています。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照下さい。
- This product contains an officially licensed Sorenson Spark optimized video decoder licensed from Sorenson Media, Inc.
- This product uses On2 TrueMotion® video technology. © 1992-2008 On2 Technologies, Inc. All Rights Reserved. For more information, visit: http://www.on2.com.
- This product contains embedded multimedia software licensed from Ingenient Technologies, Inc. (www.ingenient.com). Copyright (c) 2000-2008 Ingenient Technologies, Inc. All rights reserved.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary. Content providers are using the digital rights management technology for Windows Media contained in this device (“WM-DRM”) to protect the integrity of their content (“Secure Content”) so that their intellectual property, including copyright, in such content is not misappropriated. This device uses “WM-DRM software to play Secure Content (“WM-DRM Software”). If the security of the WM-DRM Software in this device has been compromised, owners of Secure Content (“Secure Content Owners”) may request that Microsoft revoke the WM-DRM Software's right to acquire new licenses to copy, display and/or play Secure Content. Revocation does not alter the WM-DRM Software's ability to play unprotected content. A list of revoked WM-DRM Software is sent to your device whenever you download a license for Secure Content from the Internet or from a PC. Microsoft may, in conjunction with such license, also download revocation lists onto our device on behalf of Secure Content Owners.
- 本製品には、Skypeソフトウェアが実装されています。
  Copyright © 2003-2008 Skype Limited
  特許出願中, Skype Limited
  Skype, SkypeIn, SkypeOut, Skypecasts, Skype Certified, Skype Me, Skype Pro, SkypeFind, Skype Prime, Skype To Go,
  関連する商標、ロゴと"S"の記号は、Skype Limitedの登録商標です。
  Portions Copyright © 2001-2008 Joltid™ Limited. 不許複製
  特許出願中, Joltid Limited. www.joltid.com
- YouTube is a trademark of Google Inc.
- 「PetaMap」および「ペタマップ」は、ソニースタイル・ジャパン株式会社の商標です。

次のページにつづく

- PlaceEngine は、クウジット株式会社の商標です。
  PlaceEngine は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所が開発し、クウジット株式会社がライセンスを行っている技術です。
- 「eyeVio」はソニー株式会社の登録商標です。
- Apache License
  Version 2.0, January 2004
  http://www.apache.org/licenses/

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal

次のページにつづく

Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

   (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and

   (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and

   (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

   (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy

次のページにつづく

of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages

次のページにつづく

or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

APPENDIX: How to apply the Apache License to your work.

To apply the Apache License to your work, attach the following boilerplate notice, with the fields enclosed by brackets "[]" replaced with your own identifying information. (Don't include the brackets!) The text should be enclosed in the appropriate comment syntax for the file format. We also recommend that a file or class name and description of purpose be included on the same "printed page" as the copyright notice for easier identification within third-party archives.

Copyright [yyyy] [name of copyright owner]

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

APACHE HTTP SERVER SUBCOMPONENTS:

The Apache HTTP Server includes a number of subcomponents with separate copyright notices and license terms. Your use of the source code for the these subcomponents is subject to the terms and conditions of the following licenses.

For the MD5 Message-Digest library component:

Copyright (C) 1995, Board of Trustees of the University of Illinois

****

(C) Copyright 1993,1994 by Carnegie Mellon University
All Rights Reserved.

次のページにつづく

次のページにつづく

"THE BEER-WARE LICENSE" (Revision 42):
<phk@login.dknet.dk> wrote this file. As long as you retain this notice you can do whatever you want with this stuff. If we meet some day, and you think this stuff is worth it, you can buy me a beer in return. Poul-Henning Kamp
----

For the expat-lite library component:

Copyright (c) 1998, 1999 James Clark. Expat is subject to the Mozilla Public License Version 1.1. Alternatively you may use expat under the GNU General Public License instead.

For the regex library component:

Copyright 1992, 1993, 1994 Henry Spencer. All rights reserved.
This software is not subject to any license of the American Telephone and Telegraph Company or of the Regents of the University of California.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose on any computer system, and to alter it and redistribute it, subject to the following restrictions:

1. The author is not responsible for the consequences of use of this software, no matter how awful, even if they arise from flaws in it.
2. The origin of this software must not be misrepresented, either by explicit claim or by omission. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
3. Altered versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
4. This notice may not be removed or altered.

For the expat xml parser library component:

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

次のページにつづく

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

For the mod_mime_magic component:

Copyright (c) 1996-1997 Cisco Systems, Inc.

This software was submitted by Cisco Systems to the Apache Group in July 1997. Future revisions and derivatives of this source code must acknowledge Cisco Systems as the original contributor of this module.
All other licensing and usage conditions are those of the Apache Group.

Some of this code is derived from the free version of the file command originally posted to comp.sources.unix. Copyright info for that program is included below as required.

Copyright (c) Ian F. Darwin, 1987. Written by Ian F. Darwin.

This software is not subject to any license of the American Telephone and Telegraph Company or of the Regents of the University of California.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose on any computer system, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The author is not responsible for the consequences of use of this software, no matter how awful, even if they arise from flaws in it.
2. The origin of this software must not be misrepresented, either by explicit claim or by omission. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
3. Altered versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software. Since few users ever read sources, credits must appear in the documentation.
4. This notice may not be removed or altered.

For the mod_imap component:

"macmartinized" polygon code copyright 1992 by Eric Haines, erich@eye.com

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

For the zb test and ab support components:

This program is Copyright (C) Zeus Technology Limited 1996.

This program may be used and copied freely providing this copyright notice is not removed.

This software is provided "as is" and any express or implied waranties, including but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Zeus Technology Ltd. be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damaged (including, but not limited to, procurement of substitute good or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on theory of liability. Whether in contract, strict liability or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

- LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

次のページにつづく

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

次のページにつづく

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence
[including the GNU Public Licence.]

- sudo
  Sudo is distributed under the following ISC-style license:

  Copyright (c) 1994-1996,1998-2005 Todd C. Miller <Todd.Miller@courtesan.com>

  Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

  Sponsored in part by the Defense Advanced Research Projects Agency (DARPA) and Air Force Research Laboratory, Air Force Materiel Command, USAF, under agreement number F39502-99-1-0512.

  Additionally, err.c, lsearch.c, fnmatch.c, getcwd.c, snprintf.c, strcasecmp.c, fnmatch.h, err.h, and fnmatch.3 bear the following UCB license:

  Copyright (c) 1987, 1989, 1990, 1991, 1993, 1994
  The Regents of the University of California. All rights reserved.

  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
  1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
  2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or

次のページにつづく

other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP license.
  The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

  Copyright (c) 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

  For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

  Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

  This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

  Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

  1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.

  2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a

次のページにつづく

standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

3. Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

- Wireless software
  Copyright (c) 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> and contributors

  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

  1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

  2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

  3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

  THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

次のページにつづく

- dbus
  D-Bus is licensed to you under your choice of the Academic Free License version 2.1, or the GNU General Public License version 2.
  Both licenses are included here. Some of the standalone binaries are under the GPL only; in particular, but not limited to,
  tools/dbus-cleanup-sockets.c and test/decode-gcov.c. Each source code file is marked with the proper copyright information - if you find a file that isn't marked please bring it to our attention.

  The Academic Free License
  v. 2.1

  This Academic Free License (the "License") applies to any original work of authorship (the "Original Work") whose owner (the "Licensor") has placed the following notice immediately following the copyright notice for the Original Work:

  Licensed under the Academic Free License version 2.1

  1) Grant of Copyright License. Licensor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive, perpetual, sublicenseable license to do the following:

     a) to reproduce the Original Work in copies;

     b) to prepare derivative works ("Derivative Works") based upon the Original Work;

     c) to distribute copies of the Original Work and Derivative Works to the public;

     d) to perform the Original Work publicly; and

     e) to display the Original Work publicly.

  2) Grant of Patent License. Licensor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive, perpetual, sublicenseable license, under patent claims owned or controlled by the Licensor that are embodied in the Original Work as furnished by the Licensor, to make, use, sell and offer for sale the Original Work and Derivative Works.

  3) Grant of Source Code License. The term "Source Code" means the preferred form of the Original Work for making modifications to it and all available documentation describing how to modify the Original Work. Licensor hereby agrees to provide a machine-readable copy of the Source Code of the Original Work along with each copy of the Original Work that Licensor distributes. Licensor reserves the right to satisfy this obligation by placing a machine-readable copy of the Source Code in an information repository reasonably calculated to permit inexpensive and convenient access by You for as long as Licensor continues to distribute the Original Work, and by publishing the

次のページにつづく

address of that information repository in a notice immediately following the copyright notice that applies to the Original Work.

4) Exclusions From License Grant. Neither the names of Licensor, nor the names of any contributors to the Original Work, nor any of their trademarks or service marks, may be used to endorse or promote products derived from this Original Work without express prior written permission of the Licensor. Nothing in this License shall be deemed to grant any rights to trademarks, copyrights, patents, trade secrets or any other intellectual property of Licensor except as expressly stated herein. No patent license is granted to make, use, sell or offer to sell embodiments of any patent claims other than the licensed claims defined in Section 2. No right is granted to the trademarks of Licensor even if such marks are included in the Original Work. Nothing in this License shall be interpreted to prohibit Licensor from licensing under different terms from this License any Original Work that Licensor otherwise would have a right to license.

5) This section intentionally omitted.

6) Attribution Rights. You must retain, in the Source Code of any Derivative Works that You create, all copyright, patent or trademark notices from the Source Code of the Original Work, as well as any notices of licensing and any descriptive text identified therein as an "Attribution Notice." You must cause the Source Code for any Derivative Works that You create to carry a prominent Attribution Notice reasonably calculated to inform recipients that You have modified the Original Work.

7) Warranty of Provenance and Disclaimer of Warranty. Licensor warrants that the copyright in and to the Original Work and the patent rights granted herein by Licensor are owned by the Licensor or are sublicensed to You under the terms of this License with the permission of the contributor(s) of those copyrights and patent rights. Except as expressly stated in the immediately proceeding sentence, the Original Work is provided under this License on an "AS IS" BASIS and WITHOUT WARRANTY, either express or implied, including, without limitation, the warranties of NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY OF THE ORIGINAL WORK IS WITH YOU. This DISCLAIMER OF WARRANTY constitutes an essential part of this License. No license to Original Work is granted hereunder except under this disclaimer.

8) Limitation of Liability. Under no circumstances and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, shall the Licensor be liable to any person for any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or the use of the Original Work including, without limitation, damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses. This limitation of liability shall not apply to liability for death or personal injury resulting from Licensor's negligence to the extent applicable law prohibits such limitation. Some jurisdictions do not allow

次のページにつづく

the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so this exclusion and limitation may not apply to You.

9) Acceptance and Termination. If You distribute copies of the Original Work or a Derivative Work, You must make a reasonable effort under the circumstances to obtain the express assent of recipients to the terms of this License. Nothing else but this License (or another written agreement between Licensor and You) grants You permission to create Derivative Works based upon the Original Work or to exercise any of the rights granted in Section 1 herein, and any attempt to do so except under the terms of this License (or another written agreement between Licensor and You) is expressly prohibited by U.S. copyright law, the equivalent laws of other countries, and by international treaty. Therefore, by exercising any of the rights granted to You in Section 1 herein, You indicate Your acceptance of this License and all of its terms and conditions.

10) Termination for Patent Action. This License shall terminate automatically and You may no longer exercise any of the rights granted to You by this License as of the date You commence an action, including a cross-claim or counterclaim, against Licensor or any licensee alleging that the Original Work infringes a patent. This termination provision shall not apply for an action alleging patent infringement by combinations of the Original Work with other software or hardware.

11) Jurisdiction, Venue and Governing Law. Any action or suit relating to this License may be brought only in the courts of a jurisdiction wherein the Licensor resides or in which Licensor conducts its primary business, and under the laws of that jurisdiction excluding its conflict-of-law provisions. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any use of the Original Work outside the scope of this License or after its termination shall be subject to the requirements and penalties of the U.S. Copyright Act, 17 U.S.C. § § 101 et seq., the equivalent laws of other countries, and international treaty. This section shall survive the termination of this License.

12) Attorneys Fees. In any action to enforce the terms of this License or seeking damages relating thereto, the prevailing party shall be entitled to recover its costs and expenses, including, without limitation, reasonable attorneys' fees and costs incurred in connection with such action, including any appeal of such action. This section shall survive the termination of this License.

13) Miscellaneous. This License represents the complete agreement concerning the subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable.

14) Definition of "You" in This License. "You" throughout this License, whether in upper or lower case, means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License. For legal entities,

次のページにつづく

"You" includes any entity that controls, is controlled by, or is under common control with you. For purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

15) Right to Use. You may use the Original Work in all ways not otherwise restricted or conditioned by this License or by law, and Licensor promises not to interfere with or be responsible for such uses by You.

This license is Copyright (C) 2003-2004 Lawrence E. Rosen. All rights reserved. Permission is hereby granted to copy and distribute this license without modification. This license may not be modified without the express written permission of its copyright owner.

--
END OF ACADEMIC FREE LICENSE. The following is intended to describe the essential differences between the Academic Free License (AFL) version 1.0 and other open source licenses:

The Academic Free License is similar to the BSD, MIT, UoI/NCSA and Apache licenses in many respects but it is intended to solve a few problems with those licenses.

* The AFL is written so as to make it clear what software is being licensed (by the inclusion of a statement following the copyright notice in the software). This way, the license functions better than a template license. The BSD, MIT and UoI/NCSA licenses apply to unidentified software.

* The AFL contains a complete copyright grant to the software. The BSD and Apache licenses are vague and incomplete in that respect.

* The AFL contains a complete patent grant to the software. The BSD, MIT, UoI/NCSA and Apache licenses rely on an implied patent license and contain no explicit patent grant.

* The AFL makes it clear that no trademark rights are granted to the licensor's trademarks. The Apache license contains such a provision, but the BSD, MIT and UoI/NCSA licenses do not.

* The AFL includes the warranty by the licensor that it either owns the copyright or that it is distributing the software under a license. None of the other licenses contain that warranty. All other warranties are disclaimed, as is the case for the other licenses.

* The AFL is itself copyrighted (with the right granted to copy and distribute without modification). This ensures that the owner of the copyright to the license will control changes. The Apache license contains a copyright notice, but the BSD,

次のページにつづく

MIT and UoI/NCSA licenses do not.

--

START OF GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

--

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to

次のページにつづく

know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that

次のページにつづく

you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1

次のページにつづく

and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the

次のページにつづく

Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

- dbus-glib
  D-BUS is licensed to you under your choice of the Academic Free License version 2.1, or the GNU General Public License version 2. Both licenses are included here. Some of the standalone binaries are under the GPL only; in particular, but not limited to, tools/dbus-cleanup-sockets.c and test/decode-gcov.c. Each source code file is marked with the proper copyright information.

次のページにつづく

次のページにつづく

embodiments of any patent claims other than the licensed claims defined in Section 2. No right is granted to the trademarks of Licensor even if such marks are included in the Original Work. Nothing in this License shall be interpreted to prohibit Licensor from licensing under different terms from this License any Original Work that Licensor otherwise would have a right to license.

5) This section intentionally omitted.

6) Attribution Rights. You must retain, in the Source Code of any Derivative Works that You create, all copyright, patent or trademark notices from the Source Code of the Original Work, as well as any notices of licensing and any descriptive text identified therein as an "Attribution Notice." You must cause the Source Code for any Derivative Works that You create to carry a prominent Attribution Notice reasonably calculated to inform recipients that You have modified the Original Work.

7) Warranty of Provenance and Disclaimer of Warranty. Licensor warrants that the copyright in and to the Original Work and the patent rights granted herein by Licensor are owned by the Licensor or are sublicensed to You under the terms of this License with the permission of the contributor(s) of those copyrights and patent rights. Except as expressly stated in the immediately proceeding sentence, the Original Work is provided under this License on an "AS IS" BASIS and WITHOUT WARRANTY, either express or implied, including, without limitation, the warranties of NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY OF THE ORIGINAL WORK IS WITH YOU. This DISCLAIMER OF WARRANTY constitutes an essential part of this License. No license to Original Work is granted hereunder except under this disclaimer.

8) Limitation of Liability. Under no circumstances and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, shall the Licensor be liable to any person for any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or the use of the Original Work including, without limitation, damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses. This limitation of liability shall not apply to liability for death or personal injury resulting from Licensor's negligence to the extent applicable law prohibits such limitation. Some jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so this exclusion and limitation may not apply to You.

9) Acceptance and Termination. If You distribute copies of the Original Work or a Derivative Work, You must make a reasonable effort under the circumstances to obtain the express assent of recipients to the terms of this License. Nothing else but this License (or another written agreement between Licensor and You) grants You permission to create Derivative Works based upon the Original Work or to exercise any of the rights granted in Section 1 herein, and any attempt to do so except under the terms of this License (or another written agreement

次のページにつづく

between Licensor and You) is expressly prohibited by U.S. copyright law, the equivalent laws of other countries, and by international treaty. Therefore, by exercising any of the rights granted to You in Section 1 herein, You indicate Your acceptance of this License and all of its terms and conditions.

10) Termination for Patent Action. This License shall terminate automatically and You may no longer exercise any of the rights granted to You by this License as of the date You commence an action, including a cross-claim or counterclaim, against Licensor or any licensee alleging that the Original Work infringes a patent. This termination provision shall not apply for an action alleging patent infringement by combinations of the Original Work with other software or hardware.

11) Jurisdiction, Venue and Governing Law. Any action or suit relating to this License may be brought only in the courts of a jurisdiction wherein the Licensor resides or in which Licensor conducts its primary business, and under the laws of that jurisdiction excluding its conflict-of-law provisions. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any use of the Original Work outside the scope of this License or after its termination shall be subject to the requirements and penalties of the U.S. Copyright Act, 17 U.S.C. § § 101 et seq., the equivalent laws of other countries, and international treaty. This section shall survive the termination of this License.

12) Attorneys Fees. In any action to enforce the terms of this License or seeking damages relating thereto, the prevailing party shall be entitled to recover its costs and expenses, including, without limitation, reasonable attorneys' fees and costs incurred in connection with such action, including any appeal of such action. This section shall survive the termination of this License.

13) Miscellaneous. This License represents the complete agreement concerning the subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable.

14) Definition of "You" in This License. "You" throughout this License, whether in upper or lower case, means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License. For legal entities, "You" includes any entity that controls, is controlled by, or is under common control with you. For purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

15) Right to Use. You may use the Original Work in all ways not otherwise restricted or conditioned by this License or by law, and Licensor promises not to interfere with or be responsible for such uses by You.

次のページにつづく

--
END OF ACADEMIC FREE LICENSE. The following is intended to describe the essential differences between the Academic Free License (AFL) version 1.0 and other open source licenses:

The Academic Free License is similar to the BSD, MIT, UoI/NCSA and Apache licenses in many respects but it is intended to solve a few problems with those licenses.

* The AFL is written so as to make it clear what software is being licensed (by the inclusion of a statement following the copyright notice in the software). This way, the license functions better than a template license. The BSD, MIT and UoI/NCSA licenses apply to unidentified software.

* The AFL contains a complete copyright grant to the software. The BSD and Apache licenses are vague and incomplete in that respect.

* The AFL contains a complete patent grant to the software. The BSD, MIT, UoI/NCSA and Apache licenses rely on an implied patent license and contain no explicit patent grant.

* The AFL makes it clear that no trademark rights are granted to the licensor's trademarks. The Apache license contains such a provision, but the BSD, MIT and UoI/NCSA licenses do not.

* The AFL includes the warranty by the licensor that it either owns the copyright or that it is distributing the software under a license. None of the other licenses contain that warranty. All other warranties are disclaimed, as is the case for the other licenses.

* The AFL is itself copyrighted (with the right granted to copy and distribute without modification). This ensures that the owner of the copyright to the license will control changes. The Apache license contains a copyright notice, but the BSD, MIT and UoI/NCSA licenses do not.
--
START OF GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
--

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

次のページにつづく

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

次のページにつづく

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

   Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

   You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

   a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

   b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

   c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

次のページにつづく

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

    a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

    b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

    c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or

次のページにつづく

binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

   Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and “any later version”, you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE

次のページにつづく

PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

次のページにつづく

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w' .
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c' ; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

- bzip2-libs
  This program, "bzip2" , the associated library "libbzip2" , and all documentation, are copyright (C) 1996-2005 Julian R Seward. All rights reserved.

  Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

  1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

  2. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

  3. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

  4. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

次のページにつづく

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR “AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Julian Seward, Cambridge, UK.
jseward@acm.org
bzip2/libbzip2 version 1.0.3 of 15 February 2005

- expat
  Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
  Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

  Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the Software), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

  The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

  THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

- libevent
  /*
  * Copyright (c) 2000-2004 Niels Provos <provos@citi.umich.edu>
  * All rights reserved.
  *
  * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
  * are permitted provided that the following conditions are met:
  * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list

次のページにつづく

```
*      of conditions and the following disclaimer.
* 2.  Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this
*      list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or
*      other materials provided with the distribution.
* 3.  The name of the author may not be used to endorse or promote products
*      derived from this software without specific prior written permission.
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR
* IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
* WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED.  IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT,
* INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES
* (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR
* SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN
* ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE
* POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
*/
```

- pcre
  PCRE LICENCE
  \-------------------

  PCRE is a library of functions to support regular expressions whose syntax and semantics are as close as possible to those of the Perl 5 language.

  Release 7 of PCRE is distributed under the terms of the “BSD” licence, as specified below. The documentation for PCRE, supplied in the “doc” directory, is distributed under the same terms as the software itself.

  The basic library functions are written in C and are freestanding. Also included in the distribution is a set of C++ wrapper functions.

  THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS
  \---

  Written by: Philip Hazel
  Email local part: ph10
  Email domain: cam.ac.uk

  University of Cambridge Computing Service,
  Cambridge, England.

次のページにつづく

目次 mylo Widget Web RSS/Podcast Skype Google Talk Music Photo Video Camera Tools 索引

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

End

- popt
  Copyright (c) 1998 Red Hat Software

  Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software,

次のページにつづく

and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE X CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the X Consortium shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the X Consortium.

- tcl
  This software is copyrighted by the Regents of the University of California, Sun Microsystems, Inc., Scriptics Corporation, ActiveState Corporation and other parties. The following terms apply to all files associated with the software unless explicitly disclaimed in individual files.

  The authors hereby grant permission to use, copy, modify, distribute, and license this software and its documentation for any purpose, provided that existing copyright notices are retained in all copies and that this notice is included verbatim in any distributions. No written agreement, license, or royalty fee is required for any of the authorized uses. Modifications to this software may be copyrighted by their authors and need not follow the licensing terms described here, provided that the new terms are clearly indicated on the first page of each file where they apply.

  IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR DISTRIBUTORS BE LIABLE TO ANY PARTY FOR DIRECT, INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, ITS DOCUMENTATION, OR ANY DERIVATIVES THEREOF, EVEN IF THE AUTHORS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

  THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS SPECIFICALLY DISCLAIM ANY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT. THIS SOFTWARE IS PROVIDED ON AN “AS IS” BASIS, AND THE AUTHORS AND DISTRIBUTORS HAVE NO OBLIGATION TO PROVIDE MAINTENANCE, SUPPORT, UPDATES, ENHANCEMENTS, OR MODIFICATIONS.

  GOVERNMENT USE: If you are acquiring this software on behalf of the U.S. government, the Government shall have only “Restricted Rights” in the software

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

and related documentation as defined in the Federal Acquisition Regulations (FARs) in Clause 52.227.19 (c) (2). If you are acquiring the software on behalf of the Department of Defense, the software shall be classified as “Commercial Computer Software” and the Government shall have only “Restricted Rights” as defined in Clause 252.227-7013 (c) (1) of DFARs. Notwithstanding the foregoing, the authors grant the U.S. Government and others acting in its behalf permission to use and distribute the software in accordance with the terms specified in this license.

- zlib

/* zlib.h -- interface of the ‘zlib’ general purpose compression library
version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided ‘as-is’, without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

*/

- libcap

Unless otherwise *explicitly* stated, the following text describes the licensed conditions under which the contents of this libcap release may be used and distributed:

Redistribution and use in source and binary forms of libcap, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain any existing copyright notice, and this entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of

次のページにつづく

warranties.

2. Redistributions in binary form must reproduce all prior and current copyright notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. The name of any author may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License, in which case the provisions of the GNU GPL are required INSTEAD OF the above restrictions. (This clause is necessary due to a potential conflict between the GNU GPL and the restrictions contained in a BSD-style copyright.)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- ncurses
  Copyright (c) 2001 by Pradeep Padala.

  Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, distribute with modifications, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

  The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE ABOVE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

- tcp_wrappers

- file

$File: LEGAL.NOTICE,v 1.15 2006/05/03 18:48:33 christos Exp $

次のページにつづく

INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE

- cyrus-sasl-lib

```
/* CMU libsasl
 * Tim Martin
 * Rob Earhart
 * Rob Siemborski
 */
/*
 * Copyright (c) 1998-2003 Carnegie Mellon University.  All rights reserved.
 *
 * Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
 * are permitted provided that the following conditions are met:
 *
 * 1.  Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list
 *     of conditions and the following disclaimer.
 *
 * 2.  Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this
 *     list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or
 *     other materials provided with the distribution.
 *
 * 3.  The name "Carnegie Mellon University" must not be used to endorse or
 *     promote products derived from this software without prior written permission.
 *     For permission or any other legal
 *              details, please contact
 *              Office of Technology Transfer
 *              Carnegie Mellon University
 *              5000 Forbes Avenue
 *              Pittsburgh, PA  15213-3890
 *              (412) 268-4387, fax: (412) 268-7395
 *              tech-transfer@andrew.cmu.edu
 *
 * 4.  Redistributions of any form whatsoever must retain the following
 *     acknowledgment:
 *     "This product includes software developed by Computing Services at Carnegie
 *     Mellon University (http://www.cmu.edu/computing/)."
 *
 * CARNEGIE MELLON UNIVERSITY DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO
 * THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY
 * AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL CARNEGIE MELLON UNIVERSITY BE LIABLE FOR
 * ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES
 * WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN
 * ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT
 * OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
 */
```

次のページにつづく

- pam
  Unless otherwise *explicitly* stated the following text describes the licensed conditions under which the contents of this Linux-PAM release may be distributed:

  Redistribution and use in source and binary forms of Linux-PAM, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

  1. Redistributions of source code must retain any existing copyright notice, and this entire permission notice in its entirety, including the disclaimer of warranties.

  2. Redistributions in binary form must reproduce all prior and current copyright notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

  3. The name of any author may not be used to endorse or promote products derived from this software without their specific prior written permission.

  ALTERNATIVELY, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License, in which case the provisions of the GNU GPL are required INSTEAD OF the above restrictions. (This clause is necessary due to a potential conflict between the GNU GPL and the restrictions contained in a BSD-style copyright.)

  THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS’’ AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR(S) BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- hesiod
  /* $Id: hesiod.h,v 1.2.2.1 1996/12/16 08:38:07 ghudson Exp $ */

  /*
   * Copyright (c) 1996 by Internet Software Consortium.
   *
   * Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with
   * or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and
   * this permission notice appear in all copies.
   *

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

* THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM
* DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL
* INTERNET SOFTWARE CONSORTIUM BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT,
* INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER
* RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF
* CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN
* CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
*/

- libxml2
  Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

  Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

  Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

  The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

  THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

  Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

- krb5-libs
  Copyright
  Copyright (c) 1985-2007 by the Massachusetts Institute of Technology.

  Export of software employing encryption from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

exporting.
WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software. M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

Individual source code files are copyright MIT, Cygnus Support, Novell, OpenVision Technologies, Oracle, Red Hat, Sun Microsystems, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (MIT). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of MIT.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the MIT trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

The following copyright and permission notice applies to the OpenVision Kerberos Administration system located in kadmin/create, kadmin/dbutil, kadmin/passwd, kadmin/server, lib/kadm5, and portions of lib/rpc:

Copyright, OpenVision Technologies, Inc., 1996, All Rights Reserved
WARNING: Retrieving the OpenVision Kerberos Administration system source code, as described below, indicates your acceptance of the following terms. If you do not agree to the following terms, do not retrieve the OpenVision Kerberos administration system.

You may freely use and distribute the Source Code and Object Code compiled from it, with or without modification, but this Source Code is provided to you "AS IS" EXCLUSIVE OF ANY WARRANTY, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR ANY OTHER WARRANTY, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED. IN NO EVENT WILL OPENVISION HAVE ANY LIABILITY FOR ANY LOST PROFITS, LOSS OF DATA OR COSTS OF PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES, OR FOR ANY SPECIAL, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THIS AGREEMENT, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE RESULTING FROM THE USE OF THE SOURCE CODE, OR THE FAILURE OF THE SOURCE CODE TO PERFORM, OR FOR ANY OTHER REASON.

OpenVision retains all copyrights in the donated Source Code. OpenVision also retains copyright to derivative works of the Source Code, whether created by

次のページにつづく

OpenVision or by a third party. The OpenVision copyright notice must be preserved if derivative works are made based on the donated Source Code.

OpenVision Technologies, Inc. has donated this Kerberos Administration system to MIT for inclusion in the standard Kerberos 5 distribution. This donation underscores our commitment to continuing Kerberos technology development and our gratitude for the valuable work which has been performed by MIT and the Kerberos community.

Portions contributed by Matt Crawford <crawdad@fnal.gov> were work performed at Fermi National Accelerator Laboratory, which is operated by Universities Research Association, Inc., under contract DE-AC02-76CHO3000 with the U.S. Department of Energy.
Portions of src/lib/crypto have the following copyright:

Copyright (c) 1998 by the FundsXpress, INC.
All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of FundsXpress. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. FundsXpress makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

The implementation of the Yarrow pseudo-random number generator in src/lib/crypto/yarrow has the following copyright:

Copyright 2000 by Zero-Knowledge Systems, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Zero-Knowledge Systems, Inc. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Zero-Knowledge Systems, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

次のページにつづく

ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTUOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The implementation of the AES encryption algorithm in src/lib/crypto/aes has the following copyright:

Copyright (c) 2001, Dr Brian Gladman <brg@gladman.uk.net>, Worcester, UK.
All rights reserved.
LICENSE TERMS

The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that:

distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
distributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other associated materials;
the copyright holder' s name is not used to endorse products built using this software without specific written permission.
DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explcit or implied warranties in respect of any properties, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

Portions contributed by Red Hat, including the pre-authentication plug-in framework, contain the following copyright:

Copyright (c) 2006 Red Hat, Inc.
Portions copyright (c) 2006 Massachusetts Institute of Technology
All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
Neither the name of Red Hat, Inc., nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

次のページにつづく

The implementations of GSSAPI mechglue in GSSAPI-SPNEGO in src/lib/gssapi, including the following files:

lib/gssapi/generic/gssapi_err_generic.et
lib/gssapi/mechglue/g_accept_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_acquire_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_canon_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_compare_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_context_time.c
lib/gssapi/mechglue/g_delete_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_dsp_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_dsp_status.c
lib/gssapi/mechglue/g_dup_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_exp_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_export_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_glue.c
lib/gssapi/mechglue/g_imp_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_imp_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_init_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_initialize.c
lib/gssapi/mechglue/g_inquire_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_inquire_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_inquire_names.c
lib/gssapi/mechglue/g_process_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_buffer.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_oid_set.c
lib/gssapi/mechglue/g_seal.c
lib/gssapi/mechglue/g_sign.c
lib/gssapi/mechglue/g_store_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_unseal.c
lib/gssapi/mechglue/g_userok.c
lib/gssapi/mechglue/g_utils.c
lib/gssapi/mechglue/g_verify.c
lib/gssapi/mechglue/gssd_pname_to_uid.c

次のページにつづく

lib/gssapi/mechglue/mglueP.h
lib/gssapi/mechglue/oid_ops.c
lib/gssapi/spnego/gssapiP_spnego.h
lib/gssapi/spnego/spnego_mech.c

are subject to the following license:

Copyright (c) 2004 Sun Microsystems, Inc.
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Kerberos V5 includes documentation and software developed at the University of California at Berkeley, which includes this copyright notice:

Copyright (c) 1983 Regents of the University of California.
All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF

次のページにつづく

次のページにつづく

The pkcs11.h file included in the PKINIT code has the following license:

- openldap
  The OpenLDAP Public License
  Version 2.8, 17 August 2003

次のページにつづく

3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

- openldap-servers
  The OpenLDAP Public License
  Version 2.8, 17 August 2003

  Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

  1. Redistributions in source form must retain copyright statements and notices,

  2. Redistributions in binary form must reproduce applicable copyright statements and notices, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution, and

  3. Redistributions must contain a verbatim copy of this document.

  The OpenLDAP Foundation may revise this license from time to time. Each revision

次のページにつづく

is distinguished by a version number. You may use this Software under terms of this license revision or under the terms of any subsequent revision of the license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENLDAP FOUNDATION AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENLDAP FOUNDATION, ITS CONTRIBUTORS, OR THE AUTHOR(S) OR OWNER(S) OF THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The names of the authors and copyright holders must not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealing in this Software without specific, written prior permission. Title to copyright in this Software shall at all times remain with copyright holders.

OpenLDAP is a registered trademark of the OpenLDAP Foundation.

Copyright 1999-2003 The OpenLDAP Foundation, Redwood City, California, USA. All Rights Reserved. Permission to copy and distribute verbatim copies of this document is granted.

- libpng
  This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

  COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

  If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

  libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.2.23, November 6, 2007, are Copyright (c) 2004, 2006-2007 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

  Cosmin Truta

  libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the

次のページにつづく

list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, “Contributing Authors” is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied “AS IS”. The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without

次のページにつづく

limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.

2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.

3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
November 6, 2007

- python
  A. HISTORY OF THE SOFTWARE
  ==========================

  Python was created in the early 1990s by Guido van Rossum at Stichting Mathematisch Centrum (CWI, see http://www.cwi.nl) in the Netherlands as a successor of a language called ABC. Guido remains Python's principal author, although it includes many contributions from others.

次のページにつづく

In 1995, Guido continued his work on Python at the Corporation for National Research Initiatives (CNRI, see http://www.cnri.reston.va.us) in Reston, Virginia where he released several versions of the software.

In May 2000, Guido and the Python core development team moved to BeOpen.com to form the BeOpen PythonLabs team. In October of the same year, the PythonLabs team moved to Digital Creations (now Zope Corporation, see http://www.zope.com). In 2001, the Python Software Foundation (PSF, see http://www.python.org/psf/) was formed, a non-profit organization created specifically to own Python-related Intellectual Property. Zope Corporation is a sponsoring member of the PSF.

All Python releases are Open Source (see http://www.opensource.org for the Open Source Definition). Historically, most, but not all, Python releases have also been GPL-compatible; the table below summarizes the various releases.

Release	Derived from	Year	Owner	GPL-compatible? (1)
0.9.0 thru 1.2		1991-1995	CWI	yes
1.3 thru 1.5.2	1.2	1995-1999	CNRI	yes
1.6	1.5.2	2000	CNRI	no
2.0	1.6	2000	BeOpen.com	no
1.6.1	1.6	2001	CNRI	yes (2)
2.1	2.0+1.6.1	2001	PSF	no
2.0.1	2.0+1.6.1	2001	PSF	yes
2.1.1	2.1+2.0.1	2001	PSF	yes
2.2	2.1.1	2001	PSF	yes
2.1.2	2.1.1	2002	PSF	yes
2.1.3	2.1.2	2002	PSF	yes
2.2.1	2.2	2002	PSF	yes
2.2.2	2.2.1	2002	PSF	yes
2.2.3	2.2.2	2003	PSF	yes
2.3	2.2.2	2002-2003	PSF	yes
2.3.1	2.3	2002-2003	PSF	yes
2.3.2	2.3.1	2002-2003	PSF	yes
2.3.3	2.3.2	2002-2003	PSF	yes
2.3.4	2.3.3	2004	PSF	yes
2.3.5	2.3.4	2005	PSF	yes
2.4	2.3	2004	PSF	yes
2.4.1	2.4.1	2005	PSF	yes
2.4.2	2.4.1	2005	PSF	yes
2.4.3	2.4.2	2006	PSF	yes
2.4.4	2.4.3	2006	PSF	yes
2.5	2.4	2006	PSF	yes

次のページにつづく

Footnotes:

(1) GPL-compatible doesn't mean that we're distributing Python under the GPL. All Python licenses, unlike the GPL, let you distribute a modified version without making your changes open source. The GPL-compatible licenses make it possible to combine Python with other software that is released under the GPL; the others don't.

(2) According to Richard Stallman, 1.6.1 is not GPL-compatible, because its license has a choice of law clause. According to CNRI, however, Stallman's lawyer has told CNRI's lawyer that 1.6.1 is "not incompatible" with the GPL.

Thanks to the many outside volunteers who have worked under Guido's direction to make these releases possible.

B. TERMS AND CONDITIONS FOR ACCESSING OR OTHERWISE USING PYTHON
===

PYTHON SOFTWARE FOUNDATION LICENSE VERSION 2
----

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Python Software Foundation ("PSF"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software ("Python") in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, PSF hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python alone or in any derivative version, provided, however, that PSF's License Agreement and PSF's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Python Software Foundation; All Rights Reserved" are retained in Python alone or in any derivative version prepared by Licensee.

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python.

4. PSF is making Python available to Licensee on an "AS IS" basis. PSF MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, PSF MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. PSF SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON FOR

次のページにつづく

ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between PSF and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use PSF trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By copying, installing or otherwise using Python, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

BEOPEN.COM LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 2.0

BEOPEN PYTHON OPEN SOURCE LICENSE AGREEMENT VERSION 1

1. This LICENSE AGREEMENT is between BeOpen.com (“BeOpen”), having an office at 160 Saratoga Avenue, Santa Clara, CA 95051, and the Individual or Organization (“Licensee”) accessing and otherwise using this software in source or binary form and its associated documentation (“the Software”).

2. Subject to the terms and conditions of this BeOpen Python License Agreement, BeOpen hereby grants Licensee a non-exclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use the Software alone or in any derivative version, provided, however, that the BeOpen Python License is retained in the Software, alone or in any derivative version prepared by Licensee.

3. BeOpen is making the Software available to Licensee on an “AS IS” basis. BEOPEN MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, BEOPEN MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE SOFTWARE WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

4. BEOPEN SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF THE SOFTWARE FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF USING, MODIFYING OR DISTRIBUTING THE SOFTWARE, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

5. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

次のページにつづく

6. This License Agreement shall be governed by and interpreted in all respects by the law of the State of California, excluding conflict of law provisions. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between BeOpen and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use BeOpen trademarks or trade names in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party. As an exception, the "BeOpen Python" logos available at http://www.pythonlabs.com/logos.html may be used according to the permissions granted on that web page.

7. By copying, installing or otherwise using the software, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

CNRI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 1.6.1
----

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Corporation for National Research Initiatives, having an office at 1895 Preston White Drive, Reston, VA 20191 ("CNRI"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using Python 1.6.1 software in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, CNRI hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python 1.6.1 alone or in any derivative version, provided, however, that CNRI's License Agreement and CNRI's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 1995-2001 Corporation for National Research Initiatives; All Rights Reserved" are retained in Python 1.6.1 alone or in any derivative version prepared by Licensee. Alternately, in lieu of CNRI's License Agreement, Licensee may substitute the following text (omitting the quotes): "Python 1.6.1 is made available subject to the terms and conditions in CNRI's License Agreement. This Agreement together with Python 1.6.1 may be located on the Internet using the following unique, persistent identifier (known as a handle): 1895.22/1013. This Agreement may also be obtained from a proxy server on the Internet using the following URL: http://hdl.handle.net/1895.22/1013".

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python 1.6.1 or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python 1.6.1.

4. CNRI is making Python 1.6.1 available to Licensee on an "AS IS" basis. CNRI MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, CNRI MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY

次のページにつづく

PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON 1.6.1 WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. CNRI SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON 1.6.1 FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON 1.6.1, OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. This License Agreement shall be governed by the federal intellectual property law of the United States, including without limitation the federal copyright law, and, to the extent such U.S. federal law does not apply, by the law of the Commonwealth of Virginia, excluding Virginia's conflict of law provisions. Notwithstanding the foregoing, with regard to derivative works based on Python 1.6.1 that incorporate non-separable material that was previously distributed under the GNU General Public License (GPL), the law of the Commonwealth of Virginia shall govern this License Agreement only as to issues arising under or with respect to Paragraphs 4, 5, and 7 of this License Agreement. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between CNRI and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use CNRI trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By clicking on the "ACCEPT" button where indicated, or by copying, installing or otherwise using Python 1.6.1, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

ACCEPT

CWI LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 0.9.0 THROUGH 1.2

- sqlite
  Copyright Release for
  Contributions To SQLite
  SQLite is software that implements an embeddable SQL database engine. SQLite is available for free download from http://www.sqlite.org/. The principal author and maintainer of SQLite has disclaimed all copyright interest in his contributions to SQLite and thus released his contributions into the public domain. In order to keep the SQLite software unencumbered by copyright claims, the principal author asks

次のページにつづく

others who may from time to time contribute changes and enhancements to likewise disclaim their own individual copyright interest.

Because the SQLite software found at http://www.sqlite.org/ is in the public domain, anyone is free to download the SQLite software from that website, make changes to the software, use, distribute, or sell the modified software, under either the original name or under some new name, without any need to obtain permission, pay royalties, acknowledge the original source of the software, or in any other way compensate, identify, or notify the original authors. Nobody is in any way compelled to contribute their SQLite changes and enhancements back to the SQLite website. This document concerns only changes and enhancements to SQLite that are intentionally and deliberately contributed back to the SQLite website.

For the purposes of this document, "SQLite software" shall mean any computer source code, documentation, makefiles, test scripts, or other information that is published on the SQLite website, http://www.sqlite.org/. Precompiled binaries are excluded from the definition of "SQLite software" in this document because the process of compiling the software may introduce information from outside sources which is not properly a part of SQLite.

The header comments on the SQLite source files exhort the reader to share freely and to never take more than one gives. In the spirit of that exhortation I make the following declarations:

I dedicate to the public domain any and all copyright interest in the SQLite software that was publicly available on the SQLite website (http://www.sqlite.org/) prior to the date of the signature below and any changes or enhancements to the SQLite software that I may cause to be published on that website in the future. I make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of my heirs and successors. I intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to the SQLite software under copyright law.

To the best of my knowledge and belief, the changes and enhancements that I have contributed to SQLite are either originally written by me or are derived from prior works which I have verified are also in the public domain and are not subject to claims of copyright by other parties.

To the best of my knowledge and belief, no individual, business, organization, government, or other entity has any copyright interest in the SQLite software as it existed on the SQLite website as of the date on the signature line below.

I agree never to publish any additional information to the SQLite website (by CVS, email, scp, FTP, or any other means) unless that information is an original work of authorship by me or is derived from prior published versions of SQLite. I agree never to copy and paste code into the SQLite code base from other sources. I agree never

次のページにつづく

to publish on the SQLite website any information that would violate a law or breach a contract.

Signature:

Date:
Name (printed):

- その他のシステム名、製品名は、一般的に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

Skype エンドユーザ ライセンス契約書

重要ーよくお読みください

契約内容をお読みになる前に、第 1 章の定義に使用されている基本用語についてあらかじめご理解ください。

緊急電話の不可: お客様はこの契約を結ぶことによって、Skype ソフトウェアが緊急電話のサポートや処理を目的としていないことを認め、同意するものとします。これについては、第 7 条も参照してください。

契約の締結: このエンド ユーザ ライセンス契約は、Skype ソフトウェアの使用に関して Skype Software S.a.r.l. とお客様すなわちユーザとの間で結ばれるもので、有効かつ拘束力を持ちます。Skype ソフトウェアをインストールして使用するためには、[同意する] ボタンをクリックして、この契約に同意していただく必要があります。このコンピュータにインストールした Skype ソフトウェアか、お客様または第三者が他のターミナルにインストールした Skype ソフトウェアかに関わらず、この契約はお客様の Skype ソフトウェアの使用全般に適用されます。さらに、Skype ソフトウェアをインストールして継続的に使用するためには、この契約と、今後の改訂版のすべての条項に拘束されることに同意していただく必要があります。

電子署名と契約: [同意する] ボタンか類似のボタンまたは Skype が指定したリンクをクリックするか、Skype ソフトウェアをダウンロードしてインストールすることによって、お客様は法的拘束力を持つ契約を結ぶことになります。これによってお客様は、契約書の署名、注文、その他の記録の作成に電子通信を使用すること、および通知、ポリシー、Skype ソフトウェアを使って開始または完了した取引の記録などを電子的に配信することに同意したことになります。さらに、裁判管轄内の法規に基づき、原本の署名や、電子形態でない記録の郵送や保管が求められる場合は、適用法で許可される範囲内で、その権利と要求を放棄することに同意するものとします。

裁判管轄区域の制限: インターネット アプリケーションの使用に年齢制限が設けられていたり、このような契約を結ぶことに年齢制限が設けられている裁判管轄区域に在住し、それらの制限が適用される場合は、本契約を結んで Skype ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用することができません。さらに、インターネット通信ソフトウェアの提供や使用が禁じられている裁判管轄区域に在住している場合も、この契約を結んで Skype ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用することはできません。この契約を締結すると、お客様自身の裁判管轄区域で Skype ソフトウェアを使用できることを確認したという明示的な表明になります。

第 1 条 定義

この契約書には以下の定義が適用されます。

1.1　**関連会社:** 直接または間接的に Skype を管理する、Skype によって管理される、または Skype と共通管理される企業、会社、またはその他の法人。この定義上、「管理」とはその企業、会社、または法人の発行済み議決権株式の 50% 以上を直接ないし間接的に所有することを意味します。

次のページにつづく

1.2 **契約:** このエンドユーザ ライセンス契約書は、随時更新、変更、または改正することができます。

1.3 **緊急電話サービス:** 各地域または国に適用される規制要件に基づいてユーザを緊急電話サービス担当者や公衆安全応答センターに接続するサービスを指します。

1.4 **マニュアル:** Skype がオンラインまたは他の方法で提供するマニュアル。

1.5 **発効日:** 前述の [同意する] ボタンをクリックするか、Skype ソフトウェアをダウンロード、インストール、(継続)使用することによって、この契約が締結される日付。

1.6 **知的所有権:** Skype のソフトウェア、マニュアル、Web サイト、販売促進資料などに含まれていたり、これらに関連する著作権、商標、特許、ノウハウや企業秘密を含むすべての知的所有権。

1.7 **パスワード:** お客様が指定したコードであり、ユーザ ID と組み合わせて使用することで、ご自分のユーザ アカウントにアクセスできます。

1.8 **Skype:** ルクセンブルグ大公国の法律に従って設立された会社、Skype Software S.a.r.l. (所在地: 15 rue Notre Dame, L-2240 Luxembourg, Luxembourg、登録番号: B100467、VAT 番号: LU20180239) を指します。

1.9 **Skype API:** Skype ソフトウェアが特定のプラットフォームまたはオペレーティング システムに機能を提供するために使用する一連のルーチンから成るアプリケーション プログラム インターフェース。Skype API は、Skype ソフトウェアに組み込まれているか、リンクされています。

1.10 **Skype オンライン資料:** Skype Web サイトからダウンロードできる Skype のバナー。Skype のロゴと Skype Web サイトへのリンクで構成されています。

1.11 **Skype 販売促進資料:** Skype が会社、製品、および営業促進のために所有し使用するあらゆる形態の商標、名称、標示、ロゴ、バナー、Skype オンライン資料、その他の資料。

1.12 **Skypeソフトウェア:** Skype が販売するインターネット通信ソフトウェア。Skype API、UI、マニュアルとその修正プログラム、アップデート、アップグレードなどを含みます。

1.13 **Skype のスタッフ:** Skype またはその関連会社の幹部、取締役、従業員、代理店や、Skype またはその関連会社が雇用したその他の人員。

1.14 **Skype Web サイト:** www.skype.com およびその他の URL で利用できる Web サイトのすべての要素、コンテンツ、およびルック アンド フィール。ここから Skype ソフトウェアをダウンロードできます。

1.15 **利用規約:** VoIP サービスの使用に関して Skype Communications S.a.r.l. とお客様との間で結ばれる契約を指します。

1.16 **UI:** Skype ソフトウェアのユーザ インターフェース。

1.17 **ユーザ アカウント:** Skype ソフトウェアを使用するため、お客様がユーザ ID とパスワードで定義したアカウントを指します。

1.18 **ユーザ ID:** お客様が選択した識別コードを指し、パスワードと組み合わせて使用することで、ご自分のユーザ アカウントにアクセスできます。

1.19 **VoIP サービス:** 利用規約に基づいて提供される有料サービスを指します。

1.20 **お客様:** Skype ソフトウェアのエンドユーザであるお客様。

第 2 条 ライセンスと制限

2.1 **ライセンス。**本契約の条項に従って、Skype は、Skype が提供するインターネット通信アプリケーションおよび Skype が明示的に提供する可能性のあるその他のアプリケーションを個人で使用することを目的として、お客様がコンピュータ、電話、または PDA に Skype ソフトウェアをダウンロード、インストール、使用するための限定的、個人的、非営利的、非独占的、サブライセンス不可、譲渡不可の無償ライセンスを供与します。

次のページにつづく

お客様は、本契約の条項に従って Skype ソフトウェアを勤務先で使用することを許可されています。

2.2 **第三者への権利委譲禁止。**お客様は、Skype ソフトウェアまたはその一部を販売、譲渡、賃貸、賃借、配布、輸出、輸入したり、その仲介者や提供者となったり、第三者に Skype ソフトウェアまたはその一部に関連する権利を与えてはなりません。

2.3 **変更の禁止。**お客様は、Skype ソフトウェアまたはその一部の変更、派生製品の作成、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、ハッキングを行ったり、他者に許可したり、その権限を与えてはなりません。

2.4 **サードパーティ。**お客様は、サードパーティが所有し管理しているソフトウェアやその他の技術に Skype ソフトウェアが組み込まれていたり、Skype ソフトウェア自体にそれらが組み込まれている可能性を認め、これに同意するものとします。そのようなサードパーティの組み込みソフトウェアや技術も、この契約の範囲に含まれます。Skype ソフトウェアと一緒に提供されるサードパーティのソフトウェアや技術は、お客様が明示的にそのサードパーティとのライセンス契約に同意することを前提とします。そのようなサードパーティのソフトウェアや技術に関する契約関係がお客様と Skype またはその関連会社との間に結ばれることはありません。お客様は権利を執行する上で、該当するサードパーティのみを対象とすることを認め、これに同意するものとします。

2.5 **Skype ソフトウェアの新しいバージョン。**Skype は、Skype ソフトウェアへの新機能の追加や、修正プログラムの提供、アップデート、アップグレードなどを Skype 独自の判断で行う権利を留保します。Skype ソフトウェアの新しいバージョンをお客様に提供する義務は Skype にはありません。また、Skype ソフトウェアの新しいバージョンをダウンロード、インストール、使用するには、この契約書の改訂版で再契約が必要になる場合があります。また、Skype は、基盤となる技術の修理、改善、アップグレードや、その他の正当な理由によって、任意のバージョンの Skype ソフトウェアに関連したお客様の使用権の修正、撤回、または停止や、お客様が既にアクセスまたはインストールした Skype ソフトウェアの無効化を予告なしに独自の判断で行うことがあります。ここでいう正当な理由には、お客様が本契約書の条項に違反していること、損害賠償の対象となりうる問題の原因となっていること、Skype のポリシー (www.skype.com/intl/ja/company/legal/terms/etiquette.html) に従っていないこと、または不正、非道徳的、違法な活動に関与していることが Skype によって判断される場合が含まれます。Skype は、(1) Skype ソフトウェアの新バージョンのリリースの有無、(2) Skype とお客様との間で結ばれたライセンスまたはこの契約の終了や解約に起因する直接的または間接的な損害に関連する責任を一切負わないものとします。

2.6 **有料サービス。**この契約は、Skype ソフトウェアの無料ダウンロード、インストール、使用に適用されます。Skype またはその関連会社が提供する有料サービスの使用は、Skype の Web サイトに掲載されている別のサービス条項に従います。

第 3 条 ライセンス制限と追加条項の定義

3.1 **Skype ソフトウェアの販売。**この契約の下では、Skype ソフトウェアの販売は禁じられています。販売権を得るには、Skype Web サイトに掲載されている「販売条項」に同意し、それに従う必要があります。

3.2 **Skype API の販売。**本契約の下では、お客様 (または第三者) が販売するアプリケーションまたは販売する予定であるアプリケーションに関連して Skype API を使用することは禁じられています。Skype API を使用したお客様ご自身のアプリケーションを販売するには、Skype Web サイトに掲載されている「API の利用規約」に同意し、それに従う必要があります。

次のページにつづく

3.3 **Skype API の使用。**Skype API は、以下の場合に限り、アプリケーションを Skype ソフトウェアに接続する目的のためだけに第 2.1 項のライセンス条件に従って使用できます。

3.3.1 Skype API の使用が正当な目的のために実行され、Skype ソフトウェアの機能または性能や Skype によって提供されるサービスを劣化するものではない。

3.3.2 UI を削除または隠したり、UI よりも目立ったりするなど、エンド ユーザが UI にアクセスできなくなったりしない。

3.3.3 Skype の Web サイトを監視し、当該法律文書が変更された場合に認識できるようにする。該当する法律文書の変更に同意しない場合は、ただちに Skype API の使用と関連する Skype ソフトウェアの使用を中止してください。

3.3.4 Skype API を使用する場合は、あくまでもお客様自身のリスクと責任において行う必要があります。

3.4 **その他の例外。**この契約または「販売条項」または「Skype API 利用規約」で許可されていないことを行いたい場合は、Skype から書面による承認を事前に受け、その他の (商業的) 条項に明示的に同意する必要があります。

3.5 **Skype 販促資料。**この契約によって、Skype の販促資料を使用する権利がお客様に付与されることはありません。

第 4 条 お客様のコンピュータの使用

4.1 **お客様のコンピュータの使用。**Skype ソフトウェアは、Skype ソフトウェアとユーザ間の通信だけを目的として、お客様のコンピュータ (またはその他のデバイス) のプロセッサおよび帯域幅を使用する場合があります。お客様はこれを了承するものとします。

4.2 **お客様のコンピュータ(リソース)の保護。**Skype ソフトウェアは、お客様のコンピュータ リソース (またはその他のデバイス) と通信のプライバシーと整合性を保護するために商業的に妥当な範囲内で努力をしますが、これに関する保証は提供していません。

第 5 条 秘密保持とプライバシー

5.1 **Skype の機密情報。**お客様は、Skype、その関連会社、Skype のスタッフ、Skype ソフトウェア、および知的所有権に関する情報の機密を保持するために妥当な措置をとることに同意するものとします。

5.2 **お客様の個人情報とプライバシー。**Skype は、お客様のプライバシーと個人情報の秘密厳守をお約束します。Skype の Web サイト (www.skype.com/go/privacy) に公示された「プライバシー ポリシー」は、お客様の個人情報、伝送データ、および通信内容に適用されます。Skype は、お客様からの明示的な同意を得ない限り、お客様の個人情報を第三者にマーケティング目的で販売またはレンタルせず、お客様の情報をプライバシー ポリシーの規定に従ってしか使用しません。お客様の情報はコンピュータに保存かつ処理されます。これらのコンピュータは、お客様の在住国以外の場所に所在する場合があり、セキュリティ関連の物理デバイスとテクノロジの両方によって保護されています。お客様は、プライバシー ポリシーに従って、これらの情報にアクセスし変更を加えることができます。ご自分の情報がここに記載する方法で転送または使用されることに同意できない場合は、Skype のサービスを使用しないでください。

次のページにつづく

第 6 条 知的財産権

6.1 **独占的所有権。**Skype ソフトウェアに起因する知的所有権はすべて現在も将来も Skype とそのライセンサーが独占的に所有するものとします。本契約の条項は、かかる知的所有権をお客様に譲渡または付与するものではありません。お客様は、本契約によって知的所有権を限定的に使用する権利のみが与えられます。知的所有権を危険にさらしたり、制限、妨害するような行動は禁じられています。知的所有権の不正使用は本契約の違反行為であり、著作権法および商標法を含む知的所有権の違反行為でもあることを認識し、これに同意するものとします。Skype ソフトウェアに含まれないが、Skype ソフトウェアを使用することによってアクセス可能な第三者コンテンツのすべての権原および知的所有権は、各コンテンツ所有者の所有物であり、著作権法をはじめとした知的財産関連の法律および条約で保護されている可能性があります。お客様はこれを認識し、了承するものとします。

6.2 Skype の知的所有権または Skype ソフトウェア (Skype API も含む) のライセンサーを除き、お客様は自分で作成したアプリケーション、素材、製品、またはプロセスのうち、Skype API に基づいているものや Skype API を利用しているものに対する知的所有権を留保します。お客様は、(a) 自分で開発した知的財産のうち、Skype API に基づくもの、Skype API を使用するもの、Skype API に関連したものに関する一切の損害、責任、訴因、判決、または請求、および (b) お客様が Skype API を使用、依存、または参照したことによって生じる一切の損害、責任、訴因、判決、または請求に関して、Skype、その関連会社、そのライセンシー、譲り受け人、または継承者に対して訴訟を起こさないことを約束するものとします。お客様と Skype の関係と同様に、Skype とそのライセンサーは、Skype またはそのライセンサーによって/のために作成された Skype ソフトウェア (Skype API を含む) および一切の派生物に対する知的所有権を留保します。

6.3 **著作権表示除去の禁止。**知的財産権および Skype の権利やその所有権に関する表示を削除または非表示にしたり、判読不能にしたり、変更を加えることは禁じられています。これらの表示を資料に追加したり、一部として含めるなど、関連付けの形態は問いません。

6.4 **翻訳。**発効日以前または以降に Skype の Web サイトに掲載されている情報や、そこからアクセス可能な情報をお客様が翻訳した場合や、Skype がお客様に翻訳を依頼した場合、その知的所有権は、お客様への補償なしに現在も将来も Skype の独占所有となります。

第 7 条 通信と Skype ソフトウェアの使用

7.1 **通信。**Skype ソフトウェアをインストールすることによって、お客様は他の Skype ソフトウェア ユーザとの通信が可能になります。

7.2 **保証の否認。**Skype は、お客様が他の Skype ソフトウェア ユーザと常に通信できること、中断や遅延その他の通信関連の障害なく通信できること、または通信メッセージが他の Skype ソフトウェア ユーザに必ず配信されることを保証するものではありません。Skype は、Skype ソフトウェアの使用中に発生するそのような中断や遅延その他の障害については責任を負いません。

7.3 **通信内容に関する責任の否認。**Skype ソフトウェアを使って伝播される通信内容に対する全責任は、かかる通信内容の発信者が負います。したがって、お客様は、無礼、未成年者にとって不適切、猥褻、または不愉快な内容にさらされる可能性もありますが、Skype は、Skype ソフトウェアを使って展開される通信内容に関しては一切責任を負いません。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

7.4 **緊急電話サービスの拒否。**Skype ソフトウェアは病院、警察、医療施設などへの緊急電話をサポートする目的で提供されていないことに、お客様は明示的に同意し、了解するものとします。Skype とその関連会社または Skype スタッフはそのような緊急電話については一切責任を負いません。

7.4.1 **別途の手続き。**お客様は、この契約に同意することにより、緊急電話サービスにアクセスするには追加の取り決めを結ぶ必要があることを了承するものとします。お客様は、緊急電話サービスにアクセスするには、それらのサービスへのアクセスを提供する従来型の固定電話または移動電話サービスを Skype ソフトウェアとは別に購入する必要があることを認識し、これに同意するものとします。

7.4.2 **緊急電話サービスの提供義務なし。**お客様は、地域や国に適用される規則、規制、法律などに基づき、緊急電話サービスを提供する義務が Skype にないことを認識し、了承するものとします。また、Skype が本来の電話サービスに取って代わるものではないことも了承するものとします。

7.5 **合法的な目的。**お客様は合法的な目的でのみ Skype ソフトウェアを使用することに同意し、了解するものとします。したがって、(a) お客様宛てでない通信を傍受、聴取、破損、または変更すること、(b) Skype ソフトウェアまたは通信の歪曲、消去、破損、分解を目的としたスパイダー、ウイルス、ワーム、トロイの木馬、メール爆弾などを使用すること、(c) 適用法で禁止されている営利的な迷惑メールを送信すること、(d) 無礼、未成年者にとって不適切、猥褻、または不愉快な内容を他のユーザに開示することは禁じられています。

第 8 条 契約期間と解約 (の結果)

8.1 **契約期間。**この契約は発効日から、以下に定める Skype またはお客様による解約時まで有効とします。

8.2 **Skype による解約。**Skype は、お客様が本契約書の条項に違反していること、損害賠償の対象となりうる問題の原因となっていること、Skype のポリシー (www.skype.com/intl/ja/company/legal/terms/etiquette.html) に従っていないこと、第三者の知的財産権を侵害していること、または不正、非道徳的、違法な活動に関与していると考えられる理由がある場合、本ライセンスおよび Skype ソフトウェアのお客様による使用の制限、停止、または解約、Skype Web サイトへのアクセスの禁止、ユーザ アカウントやユーザ ID の削除を即時行うことができます。これによって、当社が利用できる法的救済策が制限されることはありません。Skype は、お客様が指定した電子メール アドレスに通知を送るか、お客様のユーザ アカウントへのアクセスを阻止することで、この契約を解約できます。Skype は、1 年以上使用されていないユーザ アカウントをキャンセルする権利を留保します。

8.3 **お客様による解約。**お客様は、次項 8.4 に定める条件を満たす場合、理由の有無にかかわらず、この契約を随時解消できます。

8.4 **解約の結果。**この契約を解約すると、お客様は、(a) Skype ソフトウェアを使用するライセンスと権利が終了することを認め、(b) Skype ソフトウェアの使用を全面的に中止し、(c) ハード ドライブ、ネットワーク、その他の記憶媒体すべてから Skype ソフトウェアを削除して、所有または管理している Skype ソフトウェアのコピーをすべて破棄するものとします。

8.5 **免責。**Skypeは、この契約の解約に起因する損害については一切責任を負いません。

次のページにつづく

第 9 条 お客様の表明と保証、Skype の免責

9.1 **表明。**お客様はこの契約を締結して条項に従うことを表明し、保証するものとします。さらに、お客様は常にこの契約および Skype ソフトウェアの使用に適用されるすべての法律、規約、方針に従って義務を果たすことを表明し、保証するものとします。

9.2 **免責。**お客様による(a) この契約または適用法規制のいずれかの条項の違反や不履行、(b) 第三者の権利の侵害、(c) Skype ソフトウェアの使用や誤使用、(d) Skype API の使用や変更、(e) Skype ソフトウェアを使った通信の展開、などに起因または関連して当事者に発生した弁護士料を含むあらゆる責任と費用について、お客様は Skype、その関連会社、および Skype のスタッフを免責し、損害から保護することに同意するものとします。

9.3 **米国源泉徴収税。**(米国に拠点を置くエンド ユーザまたはカスタマーのみに適用されます) Skype および米国以外の国に拠点を置く Skype 関連会社 (Skype Software S.a.r.l.、Skype Technologies, S.A.、および Skype Communications S.a.r.l. を含むがこれに限らない) は、1986 年内国歳入法典と財務省規則に規定される米国連邦税法令を完全に順守するものとします。Skype, Inc. (米国に拠点を置く Skype の関連会社) は、お客様が Skype ソフトウェア、VoIP サービス、Skype API を使用した結果生じるすべての米国納税義務に、米国に拠点を置くすべてのエンド ユーザとカスタマーが従うことができるよう支援するよう指名されています。お客様は、内国歳入法典の第 3 章第 3406 項をはじめとした源泉徴収条項と、内国歳入法典の第 6 章の報告条項を目的として、Skype, Inc. をお客様の源泉徴収代理人に指名することにここに同意します。お客様が同意したことにより、米国租税法上のお客様の弁護権が変わり、米国以外の Skype 組織に対する支払いに関連した税金が免除されることはありません。米国連邦法に基づく所得税の納税責任または報告責任に関連したお客様の権利および義務、またはその他の関連情報 (W-8BEN フォーム (米国源泉課税に関する海外受益者の状況証明書) など) については、Skype (taxation@skype.net) までお問い合わせください。

9.4 **輸出規制。**お客様は、ソフトウェアの輸出を制限する国際規則が Skype ソフトウェアに適用される可能性があることを承諾するものとします。また、Skype ソフトウェアに適用されるあらゆる国際法および国内法に加え、各国政府によって施行されるエンドユーザ、最終使用、および輸出先に関する規制にも従うものとします。

第 10 条　保証の否認

10.1 **保証の否認。**Skype ソフトウェアは保証なしに「現状のまま」提供されます。Skype は明示、黙示、法定にかかわらず、品質保証、性能、権利の不侵害、商品性、特定目的への適合性を含め、Skype ソフトウェアに関する一切の保証や表明をいたしません。また、Skype ソフトウェアが常に入手可能またはアクセス可能であること、中断や遅延がないこと、安全、正確、完全であること、エラーがないこと、パケットを失わずに動作すること、などについても表明や保証をいたしません。さらに、Skype ソフトウェアを介したインターネットへの接続やインターネットからの転送、通話の品質についても保証いたしません。

10.2 **緊急電話サービスに関する免責。**Skype は、Skype ソフトウェアと共に緊急電話サービスを提供していません。Skype とその幹部や従業員は、いかなる請求、損害、または損失についても責任を問われることはありません。お客様は、緊急電話サービスの担当者に連絡するために Skype ソフトウェアを使用したことに起因または関連するいかなる請求や訴訟を起こす権利も放棄するものとします。お客様は、Skype ソフトウェアの

次のページにつづく

欠如、障害、停電などに関連してお客様が被ったいかなる請求、損失、損害、罰金、罰則、費用 (弁護士料を含むがこれに限らない) などからも、Skype、Skype のスタッフ、関連会社、代理店、Skype ソフトウェアに関連したサービスをお客様に提供するその他のサービス プロバイダを免除し、これを補償するものとします。これには、Skype が緊急電話サービスを提供していないことに起因する請求も含まれます。

10.3 **お客様のリスク。**Skype ソフトウェアの使用やパフォーマンスから生じるすべてのリスクは法律が許可する範囲内でお客様が負うものとします。

10.4 **裁判管轄区域の制限。**裁判管轄によっては、上述の除外や制限を認めていないため、一部の除外や制限がお客様に適用されない場合もあります。この場合、責任の限度は適用法令で認められる限りにおいて制限されます。

第 11 条　責任の制限

11.1 **免責。**Skype ソフトウェアはお客様に無料で提供されます。したがって、Skype とその関連会社、ライセンサー、および Skype のスタッフは、以下に述べる Skype ソフトウェアの使用に関連または起因する結果については一切責任を負わないものとします。

11.2 **責任制限。**契約、保証、不法行為(過失を含む)、製品責任、その他どのような形態の責任であれ、Skype ソフトウェアの使用または使用不能から生じた間接的、付随的、特別、派生的な損害(データの消失、中断、コンピュータの故障、金銭上の損失を含む)については、たとえ Skype とその関連会社、ライセンサー、または Skype のスタッフがそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、一切責任を負いません。

11.3 **救済。**Skype ソフトウェアに関するあらゆる問題や不満に関するお客様の唯一の権利または救済策は、Skype ソフトウェアをアンインストールして使用を中止することです。

11.4 **裁判管轄区域の制限。**裁判管轄によっては、上述の除外や制限を認めていないため、一部の除外や制限がお客様に適用されない場合もあります。この場合、責任の限度は適用法令で認められる限りにおいて制限されます。

第 12 条　一般規定

12.1 **契約の改訂版。**Skype は本契約書を随時変更する権利を留保します。そのような改訂版契約書は、お客様に提供するか Skype Web サイトに掲載します。改訂版の契約は、Web サイトで公開されるかお客様に配布されてから 30 日後に有効になります。ただし、30 日が経過する前にお客様が [同意する] ボタンをクリックして改訂版の契約の内容に明示的に同意した場合は、クリックした時点で有効になります。お客様が契約に明示的に同意するか、30 日間の通知期間が経過した後も Skype ソフトウェアを使用し続けた場合は、改訂版の契約条項に法的に拘束されることに同意したものとみなされます。この契約書の最新バージョンは、www.skype.com/company/legal/eula に掲載されています。Skype は、この契約を随時変更する権利を留保します。

12.2 **契約全体。**この契約の条項と条件は、お客様と Skype の間の完全な合意から成るもので、この件に関する従前のすべての認識や合意に取って代わるものとします。

12.3 **部分的な無効。**この契約の条項やその規定のいずれかが、あらゆる状況または特定の状況で無効または執行不可能とみなされた場合も、残りの条項や規定は引き続き完全な法的効力を有するものとします。

12.4 **放棄の否定。**Skype がある時点でこの契約の規定の実施を要求しなかった場合でも、書面によって明示的にその権利を放棄しない限り、後日その条項の実施を要求する権利に影響が及ぶことはありません。

次のページにつづく ⟹

12.5 **お客様による譲渡禁止。**お客様がこの契約またはこれに基づく権利を他者に譲渡することは禁じられています。

12.6 **Skype による譲渡。**Skype は独自の判断で、予告なしにこの契約またはこれに基づく権利を関連会社に譲渡することができます。

12.7 **適用法。**この契約には、ルクセンブルグ大公国またはお客様の在住国の法律や規定との抵触に関係なく、ルクセンブルグ大公国の法律が適用され、それに従って解釈されます。

12.8 **管轄裁判所。**この契約に起因または関連する訴訟手続きはすべて現在ルクセンブルグにあるルクセンブルグ大公国の法廷で管轄権に従うものとします。

12.9 **言語。**本契約書の英語の原版は、英語以外の言語に翻訳されています。本契約書の英語版と国際版の間に不一致または矛盾がある場合は、英語版が優先されるものとします。
http://www.skype.com/intl/ja/company/legal/eula/index.html
http://www.skype.com/intl/en/legal/

お客様は本契約書を読み、記載された権利、義務、条項、および条件を理解したことを明示的に認めるものとします。お客様は [同意する] ボタンをクリックするか、Skype ソフトウェアのインストールを継続することによって、その条項と条件に拘束され、ここに定める権利を Skype に与えることに明示的に同意したことになります。

主な仕様

本機

液晶ディスプレイ：
　3.5型、TFT駆動、800 × 480ドット、65,536色

内蔵メモリー：
　1 GB（ユーザー領域：約850 MB）[1)]
　SDRAM　128 MB

[1)] 一部をデータ管理領域として使用しています。内蔵メモリーにサンプルデータが保存されています。これらのデータを削除すると、内蔵メモリーの残量を増やせます（☞ 29ページ）。

インターフェース：
　DC IN 5.2 Vジャック
　ヘッドセットジャック（平型10ピン）
　Hi -Speed USB（mini-AB）コネクター
　"メモリースティック デュオ"スロット（マジックゲート非対応）
　ワイヤレスLAN（IEEE 802.11b/g対応）

外形寸法：
　130.8 × 20.7 × 64.6 mm（幅×高さ×奥行き）（突起部含まず）

質量：
　193 g（バッテリーを含む）

バッテリー使用時間[2)]：
　Webサイトの閲覧：最大約6時間
　インターネット電話：最大約6時間
　チャット・インターネット電話の待ち受け：最大約22時間
　音楽再生：最大約20時間
　ビデオ再生：最大約7時間

[2)] この数値は、以下の条件での数値です。
- ヘッドセットを使用
- 「オートバックライトオフ」を「有効」に設定
- バックライトの「明るさ（バッテリー）」を「3」に設定
- ネットワーク設定の「省電力モード」を「有効」に設定
- MusicとVideoの再生中は「WIRELESS LANスイッチ」を「OFF」
- Videoは「MPEG4 / 384 kbps / 15 fps」のファイルを再生

これらの数値は、本機の使用条件や設定、ネットワークの状況によって異なることがあります。

動作温度：
　5 ～ 35 ℃

次のページにつづく

ワイヤレスLAN

規格：

IEEE 802.11b/g

セキュリティー：

WEP（128ビット/64ビット、オープンシステム/共有キー）
WPA-PSK（TKIP/AES）

変調フォーマット：

DSSS方式（IEEE 802.11b準拠）
OFDM方式（IEEE 802.11g準拠）

通信範囲 [3]：

約50 m

[3] 通信範囲は、本機の使用条件や設定によって異なることがあります。

内蔵カメラ

マクロ機能(接写)付き 130万画素

画像

対応ファイル形式：

JPEG [4] [5]
PNG [5]
BMP [5]

画素数：

表示時： JPEG：3,072 × 2,304 ドット（約700万画素）（最大）
PNG/BMP：2,560 × 1,920 ドット（約500万画素）（最大）
編集時：1,280 × 1,024 ドット（約130万画素）（最大）

[4] プログレッシブJPEGには対応していません。
[5] ファイルサイズが5MB以上の画像には対応していません。

ビデオ

対応ファイル形式：

MP4 File Format
Memory Stick Video Format
ASF

対応ビデオコーデック：

MPEG-4（Simple Profile/Advanced Simple Profile）
AVC（Baseline Profile）
WMV9（VC-1）（Simple Profile）

ビットレート：768 kbps（最大）
フレームレート：30 fps（最大）
解像度：320 × 240（最大）

対応オーディオコーデック：

AAC-LC
対応ビットレート：8 ～ 320 kbps
対応サンプリング周波数：8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

WMA
対応ビットレート：256 kbps（最大）
対応サンプリング周波数：24/44.1/48 kHz

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

オーディオ

対応コーデック：

MP3
ATRAC（OpenMG対応）
WMA（Windows Media DRM対応）
AAC（AAC-LC）

対応ビットレート：

MP3：32 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）
ATRAC：32 ～ 352 kbps
WMA：32 ～ 355 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）
AAC：8 ～ 320 kbps（可変ビットレート（VBR）対応）

対応サンプリング周波数：

MP3：32/44.1/48 kHz
ATRAC：44.1 kHz
WMA：44.1 kHz
AAC：8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz

SN比：

80 dB以上

周波数特性：

20 ～ 20000 Hz（再生時、単信号測定）

本体の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

次のページにつづく

次のページにつづく

や行

ら行

わ行

アルファベット順

A

B

C

D

E

F

G

次のページにつづく

次のページにつづく

目次
mylo Widget
Web
RSS/Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引

次のページにつづく

Y

目次
mylo Widget
Web
RSS/ Podcast
Skype
Google Talk
Music
Photo
Video
Camera
Tools
索引